

高根沢町国民健康保険
第2期データヘルス計画

平成30年3月
高根沢町

I. 事業目的と背景		
1. 事業目的と背景		4
2. データヘルス計画の位置付け		4
3. 基本方針		5
4. 保険者の特性把握		7
(1) 基本情報		7
(2) 医療費等の状況		8
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		9
(4) 死因の状況		11
(5) 要介護認定者の状況		12
II. 現状分析と課題		
1. 医療費状況の把握		14
(1) 基礎統計		14
(2) 高額レセプトの件数及び要因		15
(3) 大分類による疾病別医療費		20
(4) 医療機関受診状況の把握		22
(5) 人工透析患者の実態		24
(6) 糖尿病性腎症重症化予防対象者分析		26
(7) 脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数		29
(8) ジェネリック医薬品の普及状況		31
(9) 特定保健指導事業		35
(10) 健康診査データにおけるCKD重症度分類		39
2. 分析結果と課題及び対策の設定		40
(1) 分析結果		40
(2) 課題及び対策の設定		44
III. 実施事業		
1. 実施事業の目的と概要		45
2. 全体スケジュール		49
3. データヘルス計画の見直し		49
(1) 評価		49
(2) 計画の見直し		49

IV. 事業内容		
1. 特定健康診査未受診者対策（特定健診受診率向上）		50
(1) 対象者の特定		50
(2) 実施計画と目標		51
(3) 実施要領		51
2. 特定保健指導事業		52
(1) 対象者の特定		52
(2) 実施要領		53
(3) 実施計画と目標		53
(4) 成果の確認方法		53
3. 生活習慣病予防事業		54
(1) 実施計画と目標		54
(2) 成果の確認方法		54
4. ジェネリック医薬品差額通知事業		55
(1) 保健事業の効果が高い対象者の特定		55
(2) 実施計画と目標		57
(3) 成果の確認方法		57
5. 受診行動適正化指導事業		58
(1) 保健事業の効果が高い対象者の特定		58
(2) 実施計画と目標		62
(3) 成果の確認方法		62
6. 糖尿病性腎症重症化予防事業		63
(1) 事業候補者の特定		63
(2) 実施計画と目標		64
(3) 成果の確認方法		64
7. 生活習慣病治療中断者事業		65
(1) 保健事業の効果が高い対象者の特定		65
(2) 実施計画と目標		68
(3) 成果の確認方法		68
V. その他		
1. データヘルス計画の公表・周知		69
2. 事業運営上の留意事項		69
(1) 各種検(健)診等の連携		69
(2) 健康づくり事業との連携		69
3. 個人情報の保護		69

-目次-

VI. 資料編		
1. 疾病別医療費統計		70
(1) 大分類による疾病別医療費統計		70
(2) 中分類による疾病別医療費統計		91
2. メンタル疾患の分析		108
(1) 医療費全体におけるメンタル疾患の割合		108
(2) 年齢階層別の有病率と医療費		109
3. COPD患者の実態		110
4. 健診異常値放置者の実態		114
5. 薬剤併用禁忌の実態		117
6. ロコモティブシンドロームの実態		119
巻末資料		
「指導対象者群分析」のグループ分けの見方		巻末資料

I. 事業目的と背景

1. 事業目的と背景

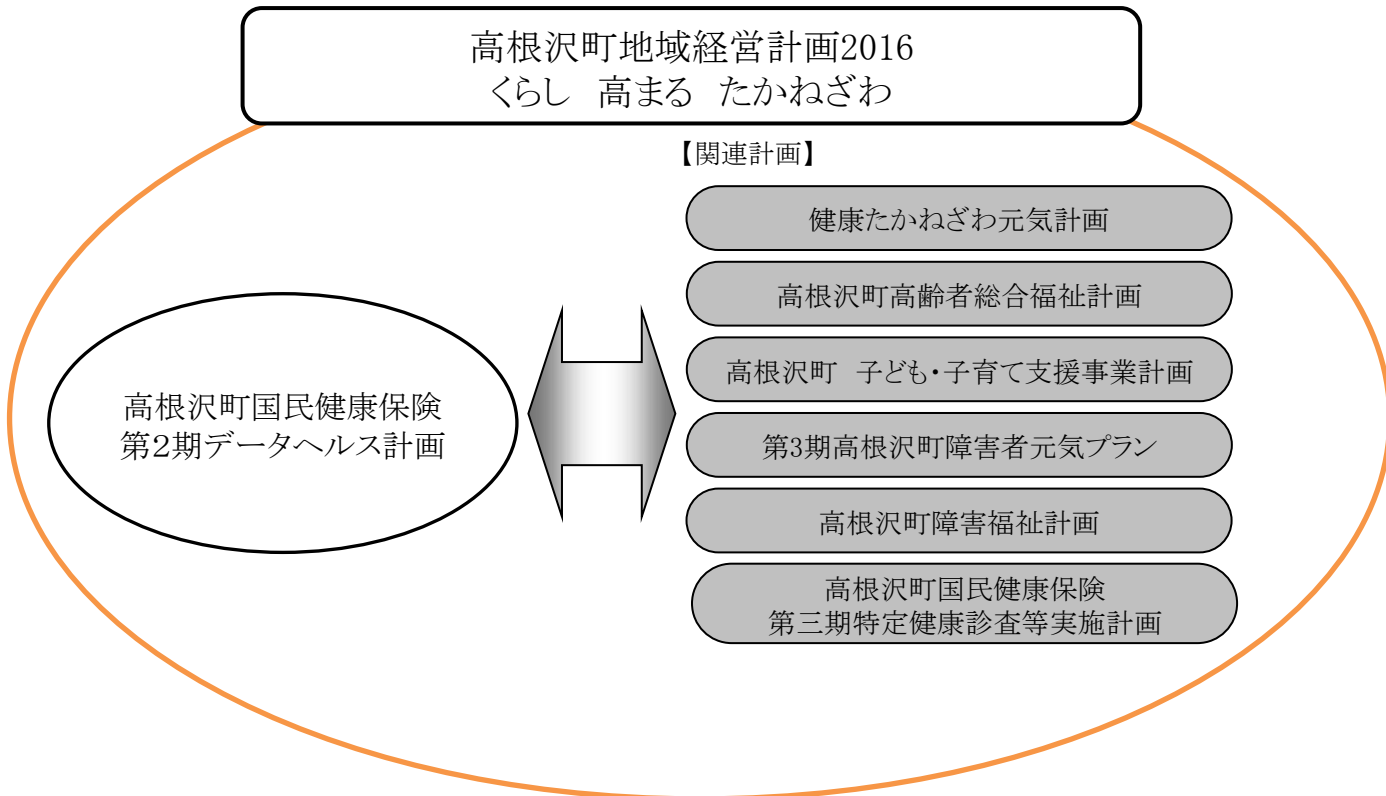
「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においては、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」としている。データヘルス計画には健康・医療情報(健康診査の結果や診療報酬明細書等から得られる情報、以下「診療報酬明細書等情報」という)を活用し、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すこととある。また、これら分析結果を踏まえ、直ちに取り組むべき健康課題、中長期的に取り組むべき健康課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行うこととしている。実施計画に基づく事業の実施に当たっては、費用対効果を考慮することや、診療報酬明細書等情報を活用し、生活習慣の改善により予防効果が大きく期待できる者を明確にし、優先順位をつけて行うこととある。それぞれの事業については、少なくとも毎年度効果の測定及び評価を行ったうえで、必要に応じて事業内容等の見直しを行うこととしている。

高根沢町国民健康保険においては、上記の要件に沿って平成29年3月に「高根沢町データヘルス計画(平成28年度～平成29年度)」(以下、「第1期データヘルス計画」という。)を作成し、被保険者の健康維持増進を図ってきた。第1期データヘルス計画とその保健事業の実施状況及び医療・健康情報の分析を踏まえ、平成30年度より「高根沢町国民健康保険第2期データヘルス計画」(以下、「本計画」という。)を策定し、保健事業の実施および評価を行う。

2. 本計画の位置付け

本計画は、「健康日本21(第二次)」に示された基本方針を踏まえるとともに、高根沢町の関連計画で定めた評価指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図る。

なお、計画期間は、平成30年度～平成35年度とする。



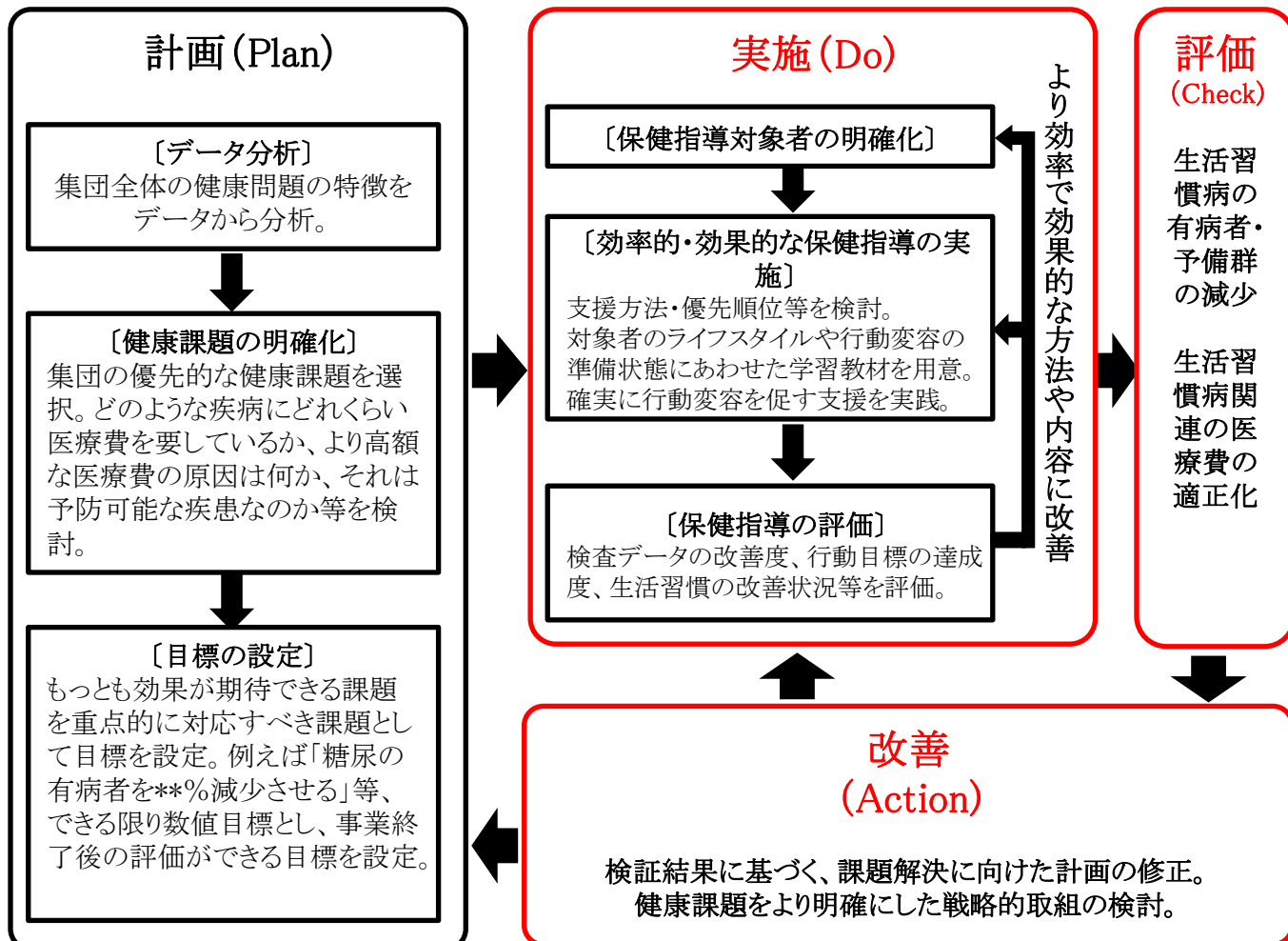
3. 基本方針

本計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画する。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針で計画を策定する。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生源となる疾病の把握を行い課題を明確にする。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択する。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施する。
3. 計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し記載する。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し明示する。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとする。

【保健事業のPDCAサイクル】



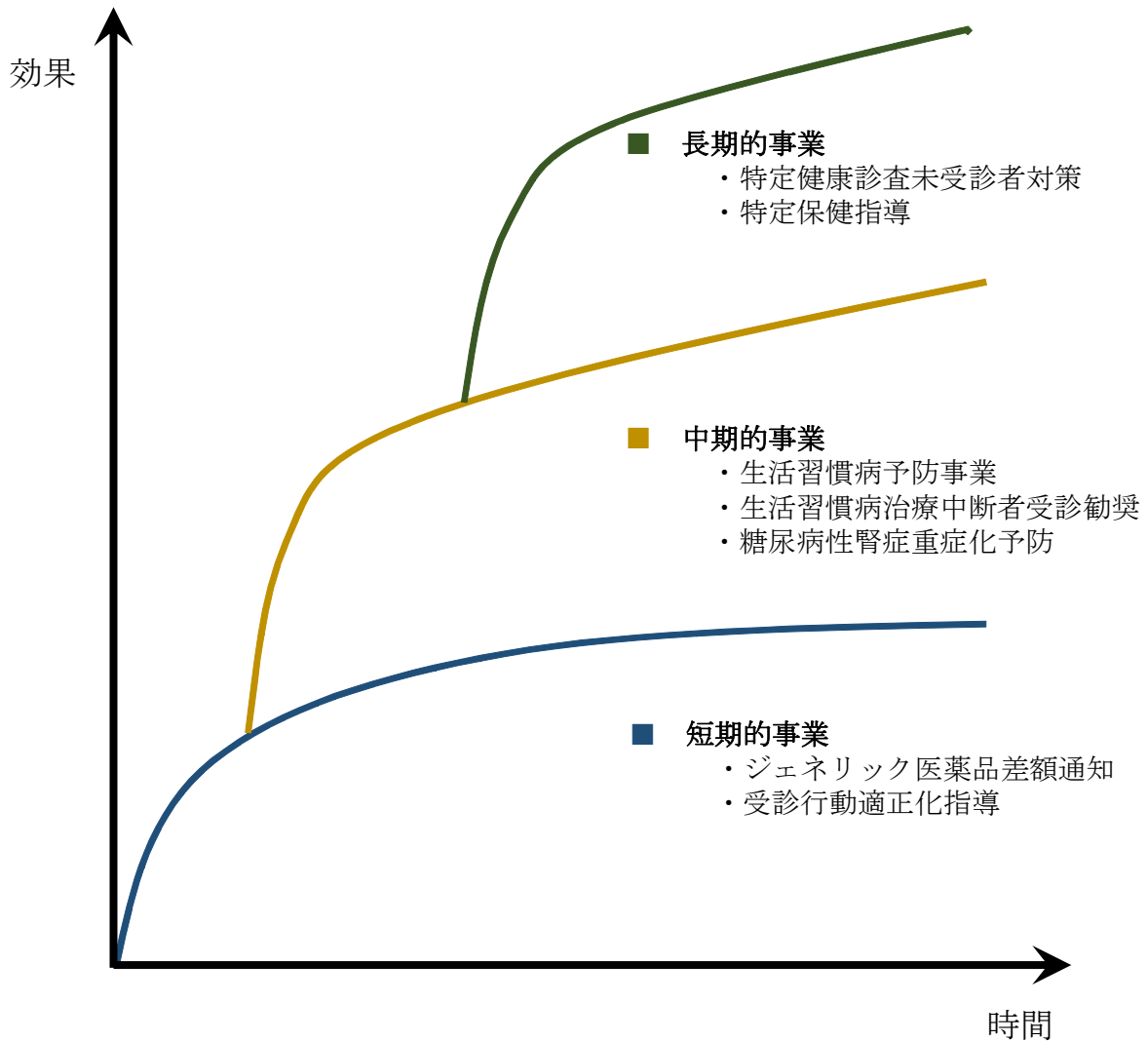
出典：厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」

事業には、即効性があるが効果額が小さい短期的事業と、即効性はないが将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業がある。

下図は代表的な保健事業の組み合わせである。

これら事業を高根沢町国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施する。

【主な保健事業における時間と効果の相関イメージ図】



4. 保険者の特性把握

(1) 基本情報

本町の平成28年度人口は、29,766人である。高齢化率(65歳以上)は23.4%である。

国民健康保険被保険者数は、6,908人で、町の人口に占める国民健康保険加入率は23.2%である。国民健康保険被保険者平均年齢は52.8歳である。

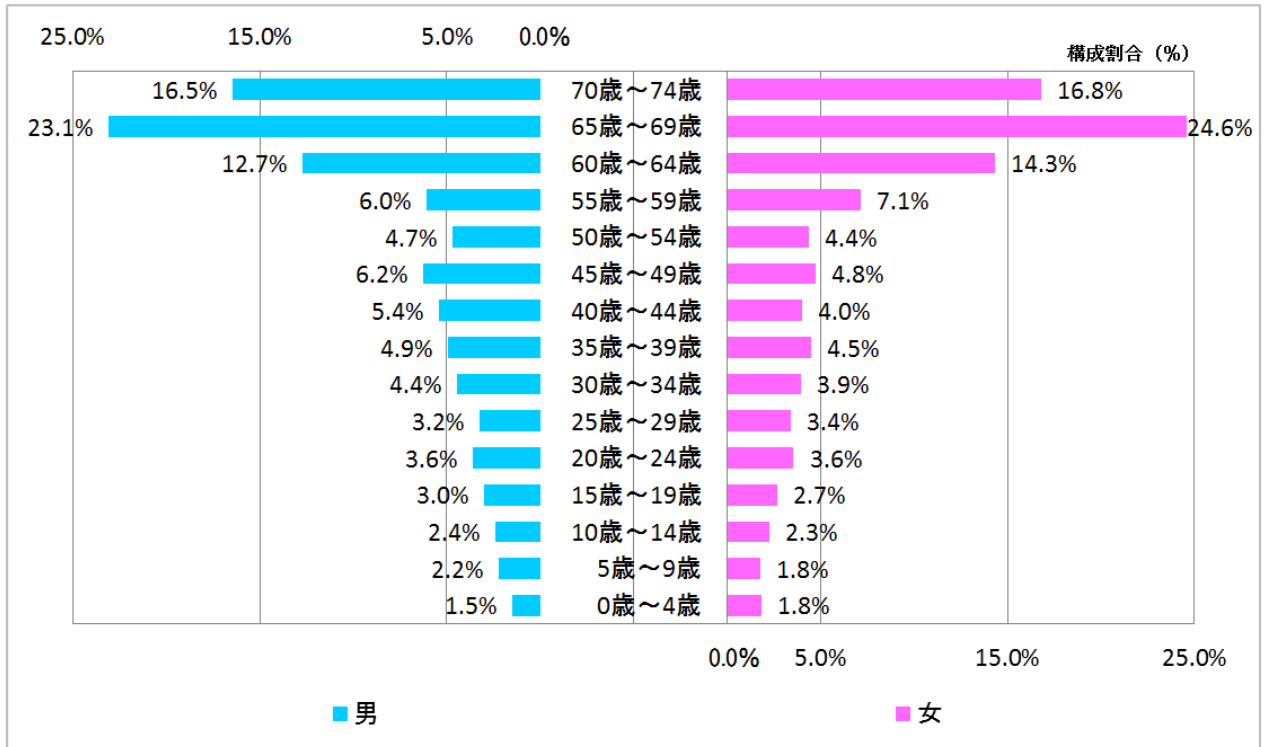
人口構成概要(H28年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)
高根沢町	29,766	23.4%	6,908	23.2%	52.8

※年齢人口統計表(EUCデータ)を使用(平成28年10月1日現在)

※TASKクラウド国民健康保険(資格)システムより抽出したデータを使用(平成28年10月1日現在)

男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド(H28年度)



※TASKクラウド国民健康保険(資格)システムより抽出したデータを使用(平成28年10月1日現在)

(2) 医療費等の状況

本町の医療基礎情報を以下に示す。

医療基礎情報 (H28年度)

医療項目	高根沢町	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.3	0.2	0.2	0.3
診療所数	2.4	2.4	2.5	3.0
病床数	27.8	37.0	44.6	46.8
医師数	3.4	7.6	7.5	9.2
外来患者数	724.7	653.7	692.6	668.1
入院患者数	17.7	15.9	19.6	18.2
受診率	742.5	670.0	712.2	686.3
一件当たり医療費(円)	32,220	32,750	35,950	35,330
一般(円)	31,840	32,660	35,900	35,270
退職(円)	45,780	35,660	37,560	37,860
後期(円)	0	0	0	0
外来				
外来費用の割合	60.4%	62.5%	59.2%	60.1%
外来受診率	724.8	653.7	692.6	668.1
一件当たり医療費(円)	19,940	20,970	21,190	22,820
一人当たり医療費(円)	14,450	13,710	15,160	14,580
一日当たり医療費(円)	12,950	13,790	13,980	13,910
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.6	1.6
入院				
入院費用の割合	39.6%	37.5%	40.8%	39.9%
入院率	17.7	15.9	19.6	18.2
一件当たり医療費(円)	535,020	518,630	531,770	531,780
一人当たり医療費(円)	9,470	8,220	10,440	9,670
一日当たり医療費(円)	35,370	32,950	33,620	34,030
一件当たり在院日数	15.1	15.7	15.8	15.6
歯科				
外来受診率	131.5	125.8	147.3	145.3
一件当たり医療費(円)	12,520	12,080	12,960	12,980
一人当たり医療費(円)	1,650	1,520	1,910	1,890
一日当たり医療費(円)	5,880	6,310	6,780	6,850
一件当たり受診回数	2.1	1.9	1.9	1.9

出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

県・同規模・国と比較して、本町では、歯科医療費が県よりやや高く、同規模・国よりやや少なくなっている。

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

本町の平成28年度における、40～74歳の特定健康診査の受診率を以下に示す。

特定健康診査受診状況(H28年度)

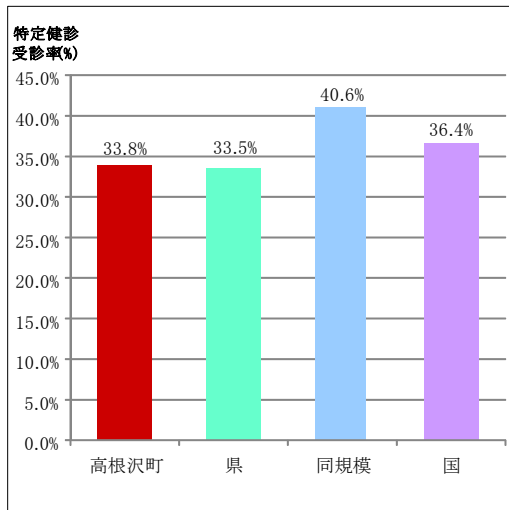
	特定健診受診率	動機付け支援対象者数割合	積極的支援対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導実施率
高根沢町	33.8%	8.4%	2.4%	10.7%	59.3%
県	33.5%	8.6%	2.9%	11.5%	26.4%
同規模	40.6%	9.2%	3.1%	12.2%	34.0%
国	36.4%	8.7%	3.2%	12.0%	21.1%

※動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。

※「同規模」は全国で高根沢町の人口規模と同程度の町村である。

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

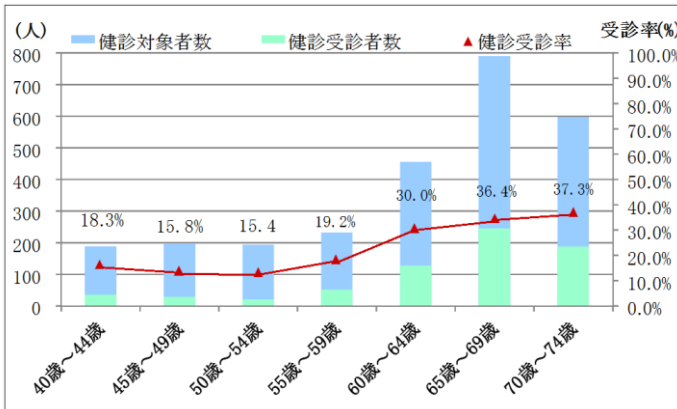
特定健康診査受診率(H28年度) グラフ



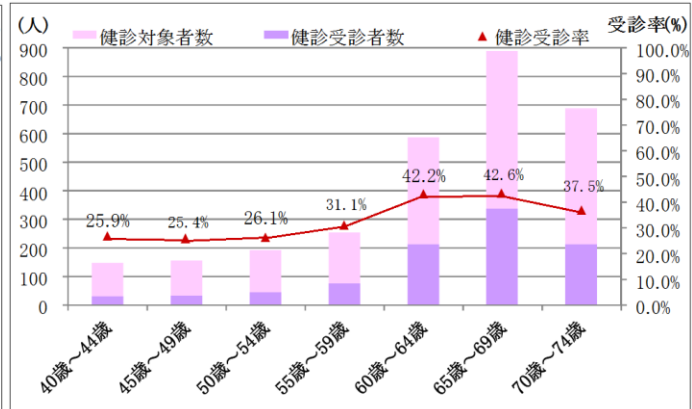
出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率をみると、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向にある。

(男性)年齢別特定健康診査受診率(H28年度) グラフ



(女性)年齢別特定健康診査受診率(H28年度) グラフ

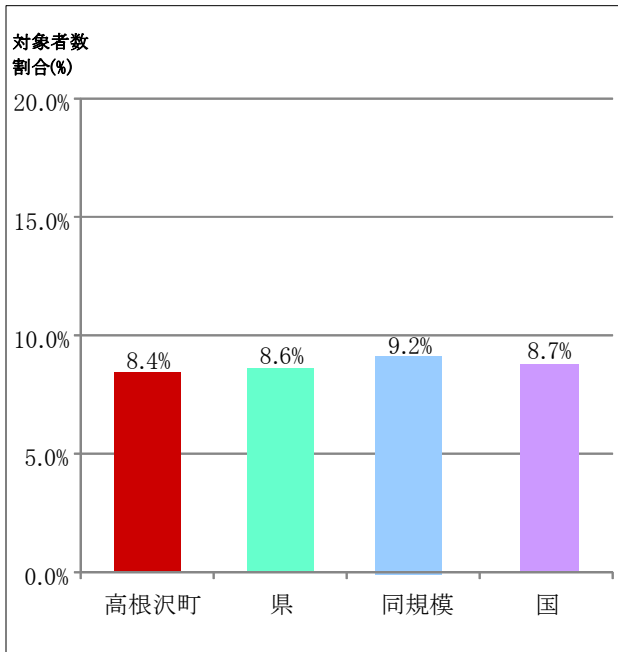


出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

②特定保健指導

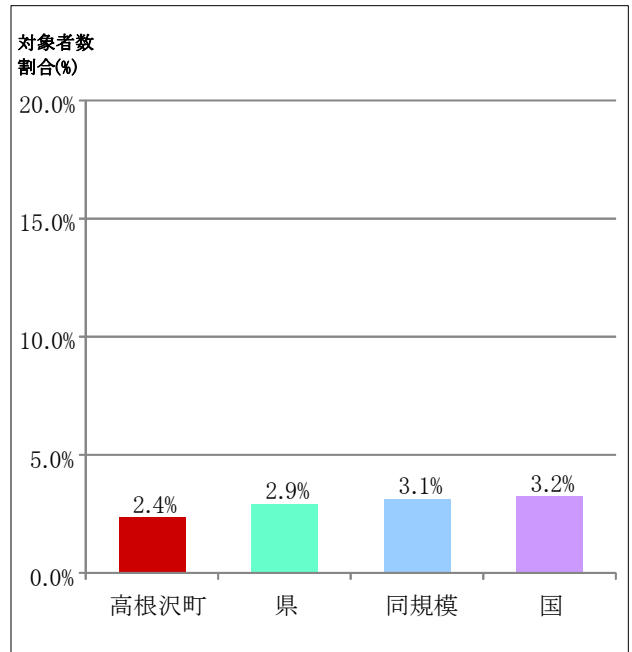
本町の平成28年度における、特定保健指導の実施率を以下に示す。

健診受診者に対する
動機付け支援対象者数割合 (H28年度) グラフ



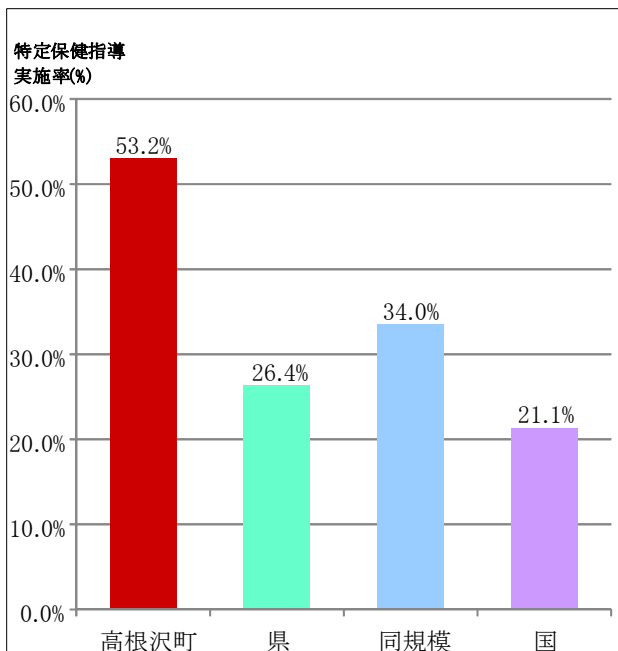
出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

健診受診者に対する
積極的支援対象者数割合 (H28年度) グラフ



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

健診受診者に対する
特定保健指導実施率 (H28年度) グラフ



出典: 国保データベース (KDB) システム 「地域の全体像の把握」

(4) 死因の状況

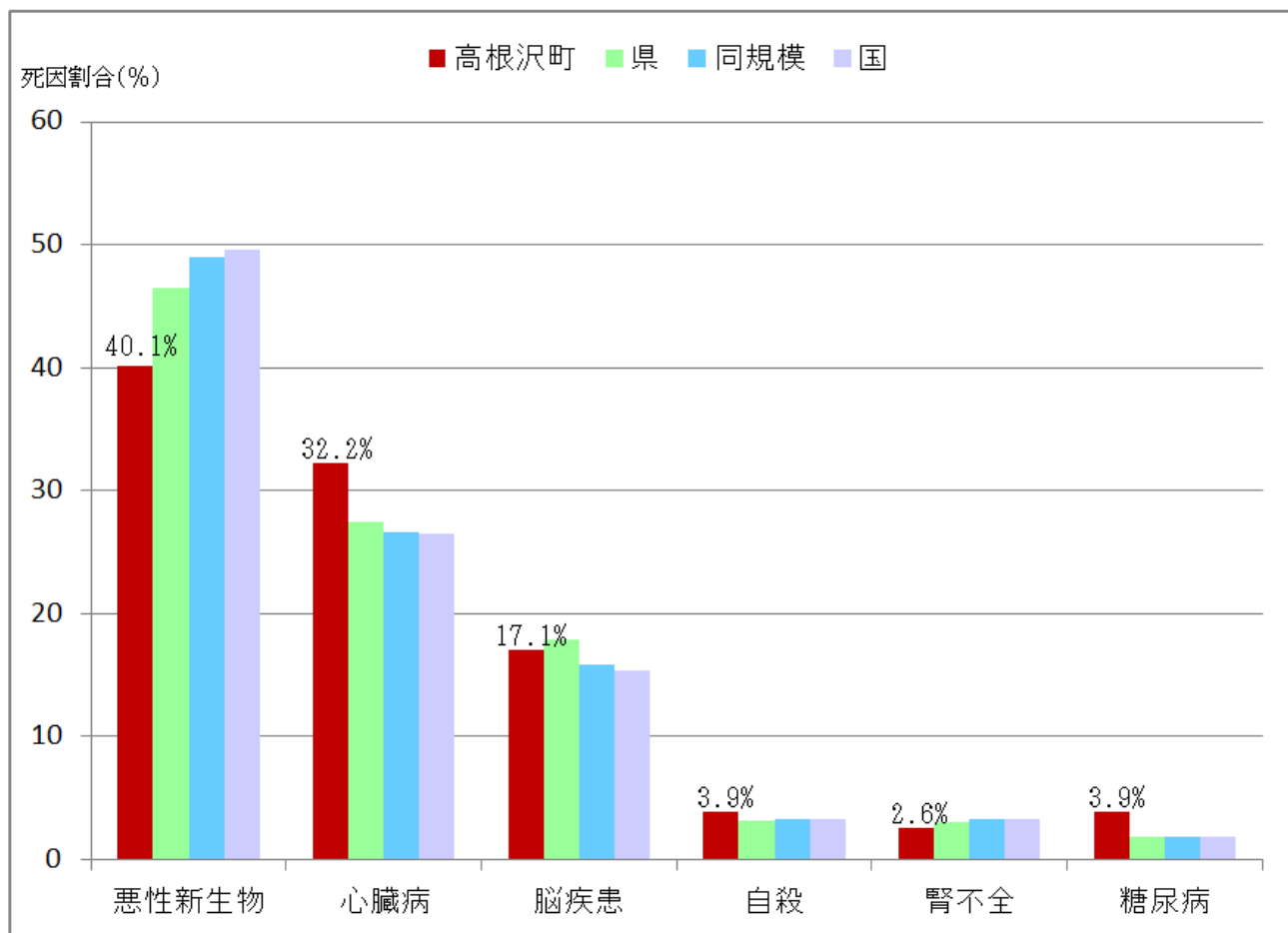
本町の主たる死因とその割合を以下に示す。

主たる死因とその割合(H28年度)

疾病項目	人数(人)	高根沢町	県	同規模	国
悪性新生物	61	40.1%	46.5%	49.0%	49.6%
心臓病	49	32.2%	27.5%	26.6%	26.5%
脳疾患	26	17.1%	17.9%	15.9%	15.4%
自殺	6	3.9%	3.2%	3.3%	3.3%
腎不全	4	2.6%	3.1%	3.3%	3.3%
糖尿病	6	3.9%	1.9%	1.9%	1.8%
合計	169				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因とその割合(H28年度) グラフ



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(5) 要介護認定者の状況

① 要介護認定率及び1件当たりの介護給付費

本町の要介護認定者の状況をみると、要介護認定率は18.6%で、県・同規模・国のいずれよりも低くなっている。2号被保険者認定率は0.4%、新規認定率は0.3%、前年との認定率比較は+1.0%となっており、いずれも県・同規模・国と同様の水準となっている。

要介護認定率及び1件当たりの介護給付費（H28年度）

		高根沢町	県	同規模	国
1号認定率		18.6%	19.4%	19.5%	21.2%
1件当たり介護給付費（円）	要支援1	10,524	10,883	10,586	10,735
	要支援2	14,230	14,230	16,245	15,996
	要介護1	44,677	41,528	41,027	38,163
	要介護2	56,342	50,356	51,819	48,013
	要介護3	98,623	82,668	84,353	78,693
	要介護4	125,112	105,759	112,965	104,104
要介護5		180,490	129,031	129,766	118,361
2号認定率		0.4%	0.4%	0.4%	0.4%
新規認定率		0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
前年との認定率比較		+1.0%	+1.0%	+1.0%	+1.0%

出典：国保データベース（KDB）システム「地域の全体像の把握」

本町の要介護認定者数及び構成比を以下に示す。

要介護認定者数及び構成比（H28年度）

		2号		1号			
		40～64歳		65～74歳		75歳～	
認定者数		41人		99人		989人	
支援	要支援1	8人	19.5%	6人	6.1%	91人	9.2%
	要支援2	7人	17.1%	25人	25.3%	120人	12.1%
介護	要介護1	3人	7.3%	13人	13.1%	172人	17.4%
	要介護2	8人	19.5%	17人	17.2%	152人	15.4%
	要介護3	6人	14.6%	22人	22.2%	144人	14.6%
	要介護4	3人	7.3%	7人	7.1%	189人	19.1%
	要介護5	6人	14.7%	9人	9.0%	121人	12.2%

出典：国保データベース（KDB）システム「要介護（支援）者認定状況」

②要介護認定者の有病状況

要介護認定者の有病状況をみると、本町では「心臓病（62.8%）」が最も多く、次いで「高血圧症（55.3%）」、「筋・骨格（54.7%）」となっている。

要介護認定者の有病状況（H28年度）

	高根沢町	県	同規模	国
糖尿病	21.5%	24.8%	22.7%	22.1%
高血圧症	55.3%	56.3%	52.4%	50.9%
脂質異常症	28.1%	31.7%	27.9%	28.4%
心臓病	62.8%	62.8%	59.8%	58%
脳疾患	25.1%	27.2%	26.9%	25.5%
がん	9.4%	9.8%	9.9%	10.3%
筋・骨格	54.7%	52.9%	51.4%	50.3%
精神	39.4%	36.5%	35.8%	35.2%
認知症(内訳)	23.6%	22%	22.5%	21.9%
アルツハイマー病	20.6%	18.8%	18.2%	17.9%

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

③要介護認定者と医療費の関係

本町の医科医療費をみると、要介護認定者（8,327円）は国・県を上回るが同規模を下回る状況、要介護認定なし者（1,673円）は県・同規模・国のいずれをも上回る状況となっている。

歯科医療費は、要介護認定者（3,632円）・要介護認定なし者（1,287円）ともに県を上回るが同規模・国よりは低い状況となっている。

要介護認定者の月額医療費（H28年度）

(単位:円)

		高根沢町	県	同規模	国
要介護認定者 医療費(40歳以上)	医科	8,327	7,527	8,370	7,980
	歯科	3,632	3,568	3,831	3,816
要介護認定なし者 医療費(40歳以上)	医科	1,673	1,573	1,601	1,573
	歯科	1,287	1,269	1,352	1,351

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

Ⅱ. 現状分析と課題

1. 医療費状況の把握

(1) 基礎統計

当医療費統計は、高根沢町国民健康保険における、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外・調剤レセプトを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りである。被保険者数は平均6,874人、レセプト件数は平均7,351件、患者数は平均3,611人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均45,820円となった。

基礎統計

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	
A	被保険者数(人)	7,054	6,957	6,925	6,927	6,929	6,944	6,938	
B	レセプト件数(件)	入院外	5,072	4,955	5,045	5,036	4,907	4,930	5,134
		入院	129	108	124	123	121	120	132
		調剤	2,248	2,249	2,258	2,227	2,169	2,195	2,222
		合計	7,449	7,312	7,427	7,386	7,197	7,245	7,488
C	医療費(円) ※1	172,715,280	150,477,020	158,895,310	159,162,420	162,679,660	149,873,960	178,615,040	
D	患者数(人) ※2	3,669	3,568	3,635	3,584	3,572	3,558	3,669	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	24,485	21,630	22,945	22,977	23,478	21,583	25,744	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,186	20,579	21,394	21,549	22,604	20,687	23,854	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	47,074	42,174	43,713	44,409	45,543	42,123	48,682	
B/A	受診率(%)	105.6%	105.1%	107.2%	106.6%	103.9%	104.3%	107.9%	
D/A	有病率(%)	52.0%	51.3%	52.5%	51.7%	51.6%	51.2%	52.9%	

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	6,841	6,813	6,760	6,711	6,691	6,874		
B	レセプト件数(件)	入院外	5,020	5,131	4,871	4,816	5,156	5,006	60,073
		入院	132	107	116	125	127	122	1,464
		調剤	2,199	2,261	2,176	2,169	2,305	2,223	26,678
		合計	7,351	7,499	7,163	7,110	7,588	7,351	88,215
C	医療費(円) ※1	173,591,230	168,086,850	157,417,900	175,292,250	178,654,360	165,455,107	1,985,461,280	
D	患者数(人) ※2	3,615	3,675	3,550	3,540	3,697	3,611	43,332	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	25,375	24,671	23,287	26,120	26,701	24,069		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,615	22,415	21,977	24,654	23,544	22,507		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	48,020	45,738	44,343	49,518	48,324	45,820		
B/A	受診率(%)	107.5%	110.1%	106.0%	105.9%	113.4%	106.9%		
D/A	有病率(%)	52.8%	53.9%	52.5%	52.7%	55.3%	52.5%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※1 医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※2 患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 高額レセプトの件数及び要因

① 高額レセプトの件数及び割合

発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計した。高額レセプトは月間平均48件発生しており、レセプト件数全体の0.6%を占める。高額レセプトの医療費は月間平均4,976万円程度となり、医療費全体の30.1%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月
A	レセプト件数(件)	7,449	7,312	7,427	7,386	7,197	7,245	7,488
B	高額レセプト件数(件)	46	41	45	40	54	38	53
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.6%	0.6%	0.6%	0.5%	0.8%	0.5%	0.7%
C	医療費(円) ※	172,715,280	150,477,020	158,895,310	159,162,420	162,679,660	149,873,960	178,615,040
D	高額レセプトの医療費(円) ※	51,349,020	39,119,640	41,525,010	38,798,330	50,782,560	35,119,600	59,419,620
E	その他レセプトの医療費(円) ※	121,366,260	111,357,380	117,370,300	120,364,090	111,897,100	114,754,360	119,195,420
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	29.7%	26.0%	26.1%	24.4%	31.2%	23.4%	33.3%

		平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	7,351	7,499	7,163	7,110	7,588	7,351	88,215
B	高額レセプト件数(件)	55	46	46	53	56	48	573
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.6%	
C	医療費(円) ※	173,591,230	168,086,850	157,417,900	175,292,250	178,654,360	165,455,107	1,985,461,280
D	高額レセプトの医療費(円) ※	56,324,940	53,263,320	44,116,710	65,687,030	61,555,710	49,755,124	597,061,490
E	その他レセプトの医療費(円) ※	117,266,290	114,823,530	113,301,190	109,605,220	117,098,650	115,699,983	1,388,399,790
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.4%	31.7%	28.0%	37.5%	34.5%	30.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…データ化範囲(分析対象)全体での医療費算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプトの年齢階層別統計

高額レセプトの年齢階層別医療費、年齢階層別患者数、年齢階層別レセプト件数を以下に示す。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費

年齢階層	入院外(円)	入院(円)	総計(円)	構成比(%)
0歳～4歳	0	10,497,080	10,497,080	1.8%
5歳～9歳	0	705,460	705,460	0.1%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	0	826,780	826,780	0.1%
20歳～24歳	0	0	0	0.0%
25歳～29歳	1,624,010	2,279,850	3,903,860	0.7%
30歳～34歳	0	4,747,250	4,747,250	0.8%
35歳～39歳	0	4,626,990	4,626,990	0.8%
40歳～44歳	0	9,160,470	9,160,470	1.5%
45歳～49歳	0	22,477,110	22,477,110	3.8%
50歳～54歳	12,096,870	52,645,860	64,742,730	10.8%
55歳～59歳	5,720,640	22,222,320	27,942,960	4.7%
60歳～64歳	7,548,310	60,562,450	68,110,760	11.4%
65歳～69歳	33,676,710	157,723,890	191,400,600	32.1%
70歳～	21,049,970	166,869,470	187,919,440	31.5%
合計	81,716,510	515,344,980	597,061,490	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別患者数

年齢階層	入院外(人)	入院(人)	入院外および入院(人)	構成比(%)
0歳～4歳	0	3	3	1.0%
5歳～9歳	0	1	1	0.3%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	0	1	1	0.3%
20歳～24歳	0	0	0	0.0%
25歳～29歳	1	2	3	1.0%
30歳～34歳	0	4	4	1.4%
35歳～39歳	0	5	5	1.7%
40歳～44歳	0	9	9	3.1%
45歳～49歳	0	11	11	3.8%
50歳～54歳	4	17	20	6.9%
55歳～59歳	3	11	14	4.8%
60歳～64歳	4	40	43	14.8%
65歳～69歳	11	76	81	27.8%
70歳～	4	93	96	33.0%
合計	27	273	291	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。
入院外と入院で重複する患者がいるので総計は一致しない。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別レセプト件数

年齢階層	入院外(件)	入院(件)	入院外および入院(件)	構成比(%)
0歳～4歳	0	7	7	1.2%
5歳～9歳	0	1	1	0.2%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	0	1	1	0.2%
20歳～24歳	0	0	0	0.0%
25歳～29歳	1	3	4	0.7%
30歳～34歳	0	6	6	1.0%
35歳～39歳	0	6	6	1.0%
40歳～44歳	0	9	9	1.6%
45歳～49歳	0	26	26	4.5%
50歳～54歳	10	37	47	8.2%
55歳～59歳	4	33	37	6.5%
60歳～64歳	9	67	76	13.3%
65歳～69歳	39	139	178	31.1%
70歳～	24	151	175	30.5%
合計	87	486	573	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

③高額レセプトの要因となる疾病傾向

高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下の通り示す。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「心臓の先天奇形」「その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」「その他の循環器系の疾患」等となり、患者数が多い疾病は、「虚血性心疾患」「その他の悪性新生物<腫瘍>」「その他の消化器系の疾患」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※1 (上位3疾病まで記載)	患者数 (人)※2	医療費(円) ※3			患者一人当たりの 医療費(円)※4
					入院	入院外	合計	
1	1701	心臓の先天奇形	心室中隔欠損症	1	7,421,460	2,583,890	10,005,350	10,005,350
2	0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固, 紫斑病腎炎	2	10,532,950	2,444,650	12,977,600	6,488,800
3	0912	その他の循環器系の疾患	解離性大動脈瘤StanfordA, 急性大動脈解離Stanford A, 腸骨動脈瘤	7	41,226,420	3,065,520	44,291,940	6,327,420
4	0909	動脈硬化(症)	下肢閉塞性動脈硬化症	2	11,534,170	534,760	12,068,930	6,034,465
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	9	21,381,360	32,775,070	54,156,430	6,017,381
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 下葉肺腺癌, 上葉肺癌	12	27,971,030	39,477,200	67,448,230	5,620,686
7	0901	高血圧性疾患	高血圧症	1	5,481,250	0	5,481,250	5,481,250
8	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	9	26,874,650	19,092,420	45,967,070	5,107,452
9	9999	分類外	不明	1	4,754,250	0	4,754,250	4,754,250
10	0903	その他の心疾患	持続性心室頻拍, 非弁膜症性発作性心房細動, うっ血性心不全	4	17,775,370	1,086,210	18,861,580	4,715,395
11	1406	その他の男性生殖器の疾患	前立腺腫瘍	1	4,471,430	133,940	4,605,370	4,605,370
12	0209	白血病	慢性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病慢性期	2	0	8,799,570	8,799,570	4,399,785
13	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 節性辺縁帯リンパ腫, B細胞リンパ腫	4	8,588,970	8,598,350	17,187,320	4,296,830
14	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	四肢麻痺, 不全片麻痺	2	8,329,760	88,950	8,418,710	4,209,355
15	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	下肢皮膚潰瘍	1	3,672,390	468,890	4,141,280	4,141,280
16	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	2	7,320,500	337,070	7,657,570	3,828,785
17	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	6	0	22,754,390	22,754,390	3,792,398
18	0606	その他の神経系の疾患	低酸素性脳症, 急性脳症, 睡眠時無呼吸症候群	4	13,102,410	979,610	14,082,020	3,520,505
19	1004	肺炎	肺炎, 気管支肺炎	2	5,684,130	1,132,260	6,816,390	3,408,195
20	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部食道癌, 多発性骨髄腫	17	40,363,930	17,381,220	57,745,150	3,396,774

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※1 主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※2 患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※3 医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※4 患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※1 (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※2	医療費(円) ※3			患者一人当たりの 医療費(円) ※4
					入院	入院外	合計	
1	0902	虚血性心疾患	冠状動脈硬化症, 労作性狭心症, 不安定狭心症	28	57,054,750	11,984,920	69,039,670	2,465,703
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 胸部食道癌, 多発性骨髄腫	17	40,363,930	17,381,220	57,745,150	3,396,774
3	1113	その他の消化器系の疾患	術後癒着性イレウス, 単径ヘルニア, 上行結腸憩室出血	16	16,676,300	5,767,230	22,443,530	1,402,721
4	1901	骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端粉碎骨折, 骨盤多発骨折	15	32,021,340	3,981,330	36,002,670	2,400,178
5	0906	脳梗塞	脳梗塞, 塞栓性脳梗塞, 延髄梗塞	14	22,004,070	1,723,720	23,727,790	1,694,842
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	下葉肺癌, 下葉肺腺癌, 上葉肺癌	12	27,971,030	39,477,200	67,448,230	5,620,686
7	1302	関節症	変形性膝関節症, 一側性原発性股関節症, 変形性股関節症	11	24,273,530	4,147,080	28,420,610	2,583,692
8	0402	糖尿病	糖尿病, 増殖性糖尿病性網膜症, 2型糖尿病性クアトドールシス	10	18,825,680	5,169,050	23,994,730	2,399,473
9	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	上行結腸癌, 横行結腸癌, S状結腸癌	9	19,864,690	7,817,830	27,682,520	3,075,836
9	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状部結腸癌	9	26,874,650	19,092,420	45,967,070	5,107,452
9	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石性胆のう炎, 胆石性胆のう炎, 胆石性急性胆のう炎	9	11,509,770	2,199,230	13,709,000	1,523,222
9	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	9	21,381,360	32,775,070	54,156,430	6,017,381
9	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 頭部外傷, 前十字靭帯損傷	9	9,424,530	1,770,400	11,194,930	1,243,881
14	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣のう腫, 馬尾神経鞘腫, 子宮筋腫	8	6,652,470	1,380,650	8,033,120	1,004,140
15	0912	その他の循環器系の疾患	解離性大動脈瘤StanfordA, 急性大動脈解離StanfordA, 腸骨動脈瘤	7	41,226,420	3,065,520	44,291,940	6,327,420
15	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症	7	13,035,080	2,427,410	15,462,490	2,208,927
17	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎	6	0	22,754,390	22,754,390	3,792,398
17	0704	その他の眼及び付属器の疾患	裂孔原性網膜剥離, 増殖性硝子体網膜症, 網膜剥離	6	6,205,120	2,774,950	8,980,070	1,496,678
17	1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	不全子宮脱, 子宮頸部高度異形成, 完全子宮脱	6	4,241,570	1,401,750	5,643,320	940,553
20	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上内側部乳癌, 乳房境界部乳癌, 乳房上外側部乳癌	5	3,893,170	3,114,240	7,007,410	1,401,482

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※1 主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※2 患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※3 医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※4 患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 大分類による疾病別医療費

● 高根沢町国民健康保険全体

疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「循環器系の疾患」が医療費合計の17.9%を占めている。「新生物<腫瘍>」は医療費合計の14.5%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の11.1%と高い割合を占めている。次いで「筋骨格系及び結合組織の疾患」も医療費合計の8.8%を占め、高い水準となっている。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「周産期に発生した病態」「精神及び行動の障害」「新生物<腫瘍>」「妊娠、分娩及び産じょく」等である。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※5	順位	患者数 (人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	55,736,262	2.8%	12	6,618	12	1,992	9	27,980	16
II. 新生物<腫瘍>	287,122,142	14.5%	2	6,194	13	1,767	10	162,491	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,417,956	0.9%	15	2,035	16	640	15	28,778	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	220,547,005	11.1%	3	30,922	2	3,107	3	70,984	8
V. 精神及び行動の障害	157,956,313	8.0%	5	8,401	9	811	14	194,767	2
VI. 神経系の疾患	73,561,467	3.7%	10	12,659	6	1,384	11	53,151	11
VII. 眼及び付属器の疾患	81,871,181	4.1%	9	11,827	7	2,219	7	36,896	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	6,200,579	0.3%	18	1,825	17	598	16	10,369	20
IX. 循環器系の疾患	354,253,108	17.9%	1	32,329	1	3,012	4	117,614	5
X. 呼吸器系の疾患	104,673,480	5.3%	8	15,256	5	3,361	1	31,144	14
X I. 消化器系の疾患 ※1	146,281,198	7.4%	6	25,208	3	3,357	2	43,575	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	35,875,124	1.8%	14	9,135	8	2,233	6	16,066	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	173,763,009	8.8%	4	18,518	4	2,621	5	66,296	9
X IV. 泌尿生殖器系の疾患	129,022,069	6.5%	7	6,653	11	1,261	12	102,317	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	6,676,016	0.3%	17	95	20	45	20	148,356	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	2,105,699	0.1%	21	6	21	5	21	421,140	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	8,534,755	0.4%	16	288	19	82	19	104,082	6
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	37,361,910	1.9%	13	8,079	10	2,055	8	18,181	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	71,802,096	3.6%	11	3,386	14	1,160	13	61,898	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,082,834	0.2%	20	2,434	15	349	17	8,833	21
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,749,857	0.2%	19	941	18	194	18	24,484	17
合計	1,979,594,060			87,602		6,175		320,582	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

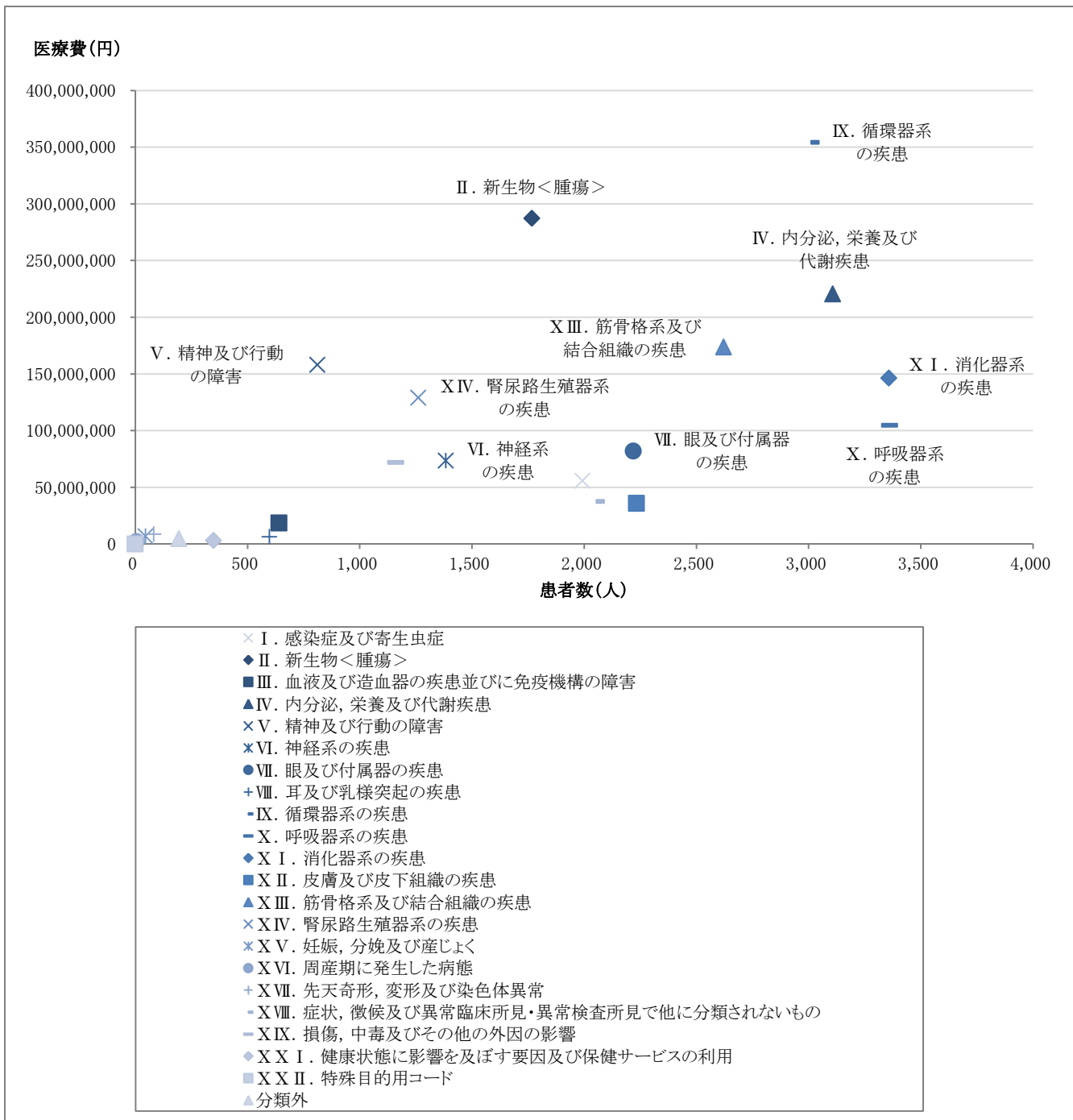
※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

疾病項目毎の医療費、及び患者数をグラフにて示す。

大分類による疾病別医療費統計 グラフ



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(4) 医療機関受診状況の把握

医療機関への過度な受診の可能性がある、重複、頻回受診者数を以下に示す。また、同一薬効の医薬品を重複して処方されている重複服薬者数、併用禁忌とされる医薬品を処方されている薬剤併用禁忌対象者数を以下に示す。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人)※	6	2	6	11	3	5	7	7	6	5	4	6
12カ月間の延べ人数											68	
12カ月間の実人数											44	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライゾン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人)※	20	24	27	34	21	24	38	26	21	15	20	29
12カ月間の延べ人数											299	
12カ月間の実人数											110	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人) ※	24	15	16	18	18	23	23	21	19	25	23	21
12カ月間の延べ人数											246	
12カ月間の実人数											114	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	27	21	18	24	13	20	32	31	47	41	36	38
12カ月間の延べ人数											348	
12カ月間の実人数											234	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

(5) 人工透析患者の実態

人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、66.7%が生活習慣を起因とするものであり、その66.7%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	16
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	2
透析患者合計	18

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

次に、人工透析に至った起因を、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトに記載されている傷病名から判定した。但し、レセプトに「腎不全」や「慢性腎不全」のみの記載しかない場合は、起因が特定できない患者となる。

人工透析患者18人のうち、生活習慣を起因とする疾病から人工透析に至ったと考えられる患者は12人である。

透析患者の起因

透析に至った起因		透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を 起因とする疾病	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
①	糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	-	-
②	糖尿病性腎症 II型糖尿病	12	66.7%	●	●
③	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-
④	糸球体腎炎 その他	0	0.0%	-	●
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	0	0.0%	●	●
⑥	腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-
⑦	痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧	起因が特定できない患者 ※	6	33.3%	-	-
透析患者合計		18			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

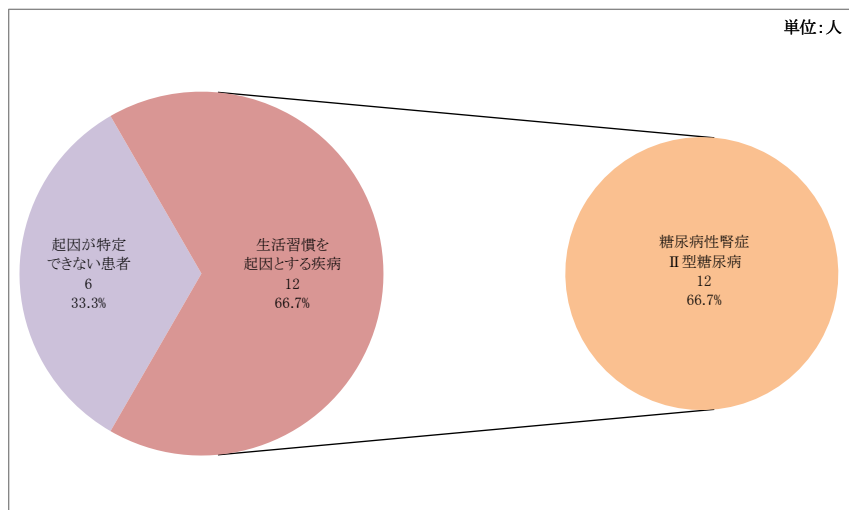
データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

⑧起因が特定できない患者6人のうち高血圧症が確認できる患者は5人、高血圧性心疾患が確認できる患者は0人、痛風が確認できる患者は0人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は1人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、人工透析患者18人を対象に、以下の通り医療費を分析した。平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)での患者一人当たりの医療費平均は542万円程度、このうち透析関連の医療費が519万円程度、透析関連以外の医療費が23万円程度である。

透析患者の医療費

透析患者の起因	透析患者数(人)	割合(%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連以外	合計	透析関連	透析関連以外	合計	透析関連	透析関連以外	合計
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	12	66.7%	66,310,240	2,843,070	69,153,310	5,525,853	236,923	5,762,776	460,488	19,744	480,231
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 糸球体腎炎 その他	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧ 起因が特定できない患者 ※	6	33.3%	27,046,360	1,347,300	28,393,660	4,507,727	224,550	4,732,277	375,644	18,713	394,356
透析患者全体	18		93,356,600	4,190,370	97,546,970						
患者一人当たり 医療費平均			5,186,478	232,798	5,419,276						
患者一人当たりひと月当たり 医療費平均			432,206	19,400	451,606						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

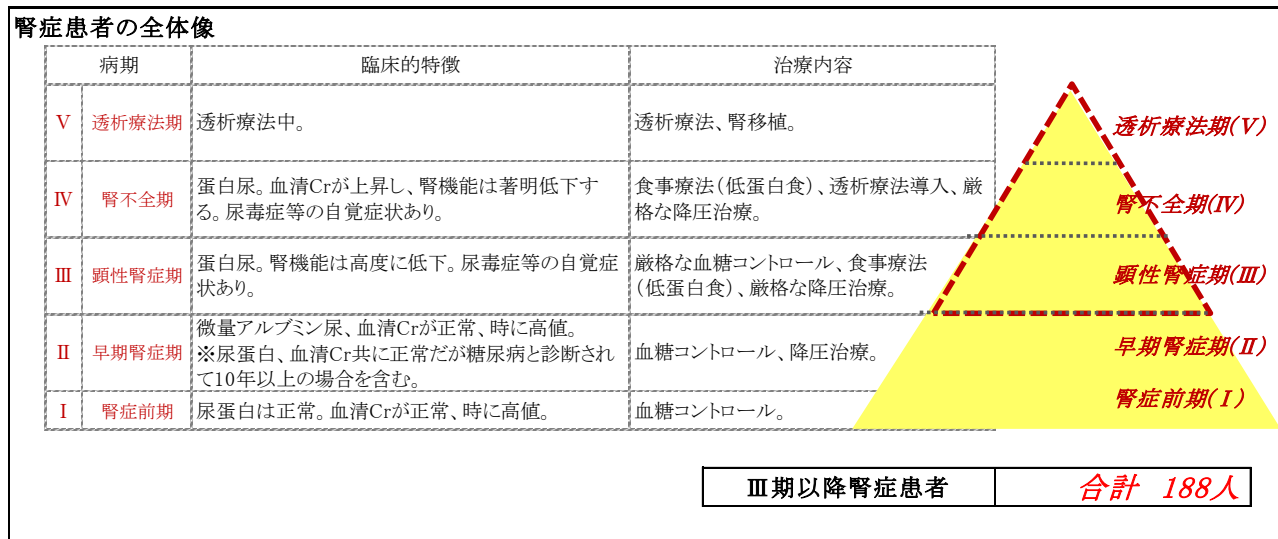
※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

(6) 糖尿病性腎症重症化予防対象者分析

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者188人中44人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像



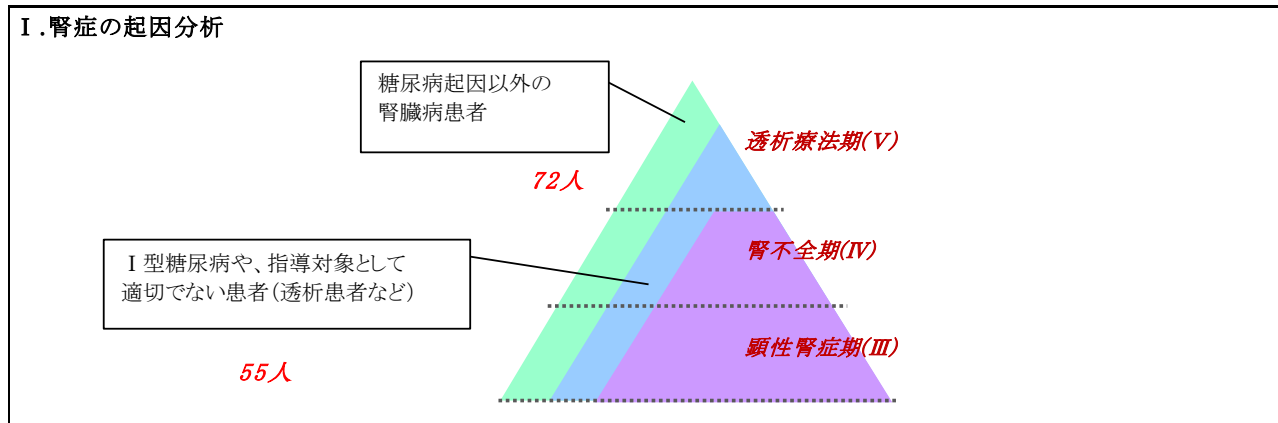
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、72人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、55人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切な患者層と考えられる

腎症の起因分析



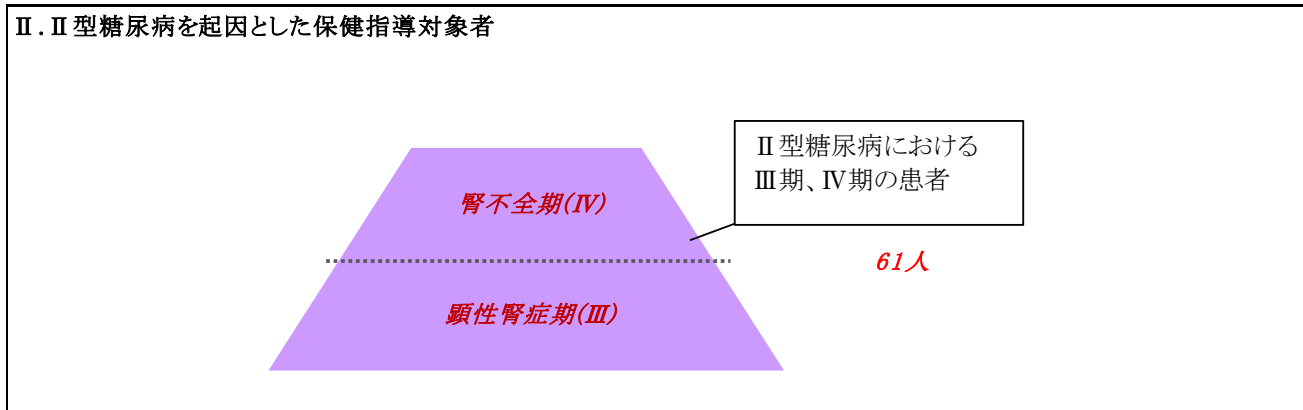
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて61人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

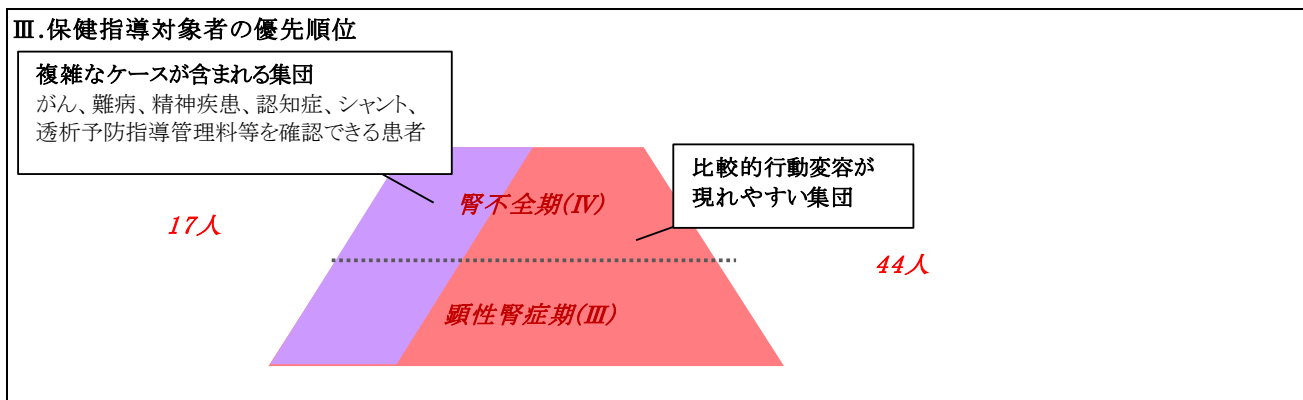


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。61人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、17人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、44人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

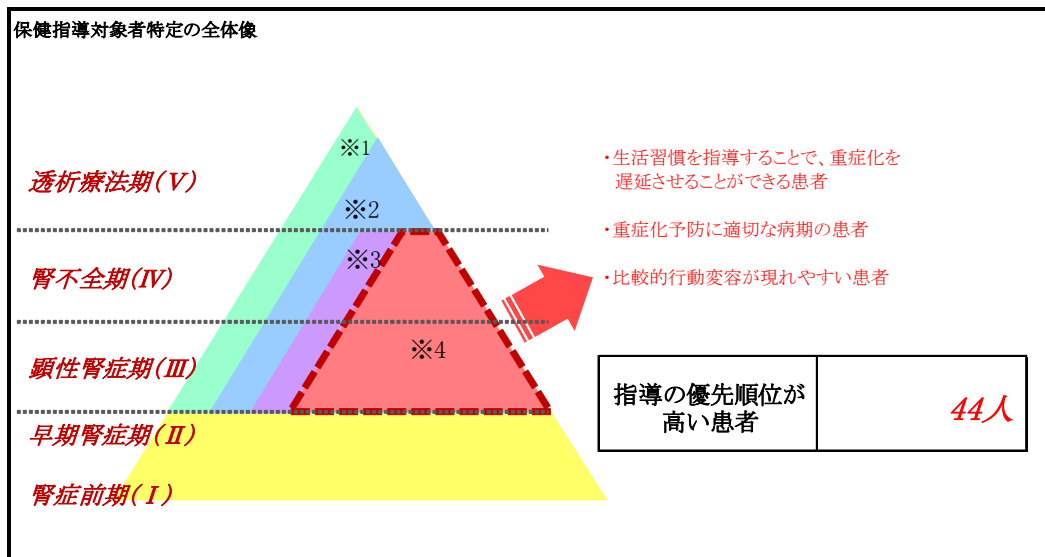
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、44人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

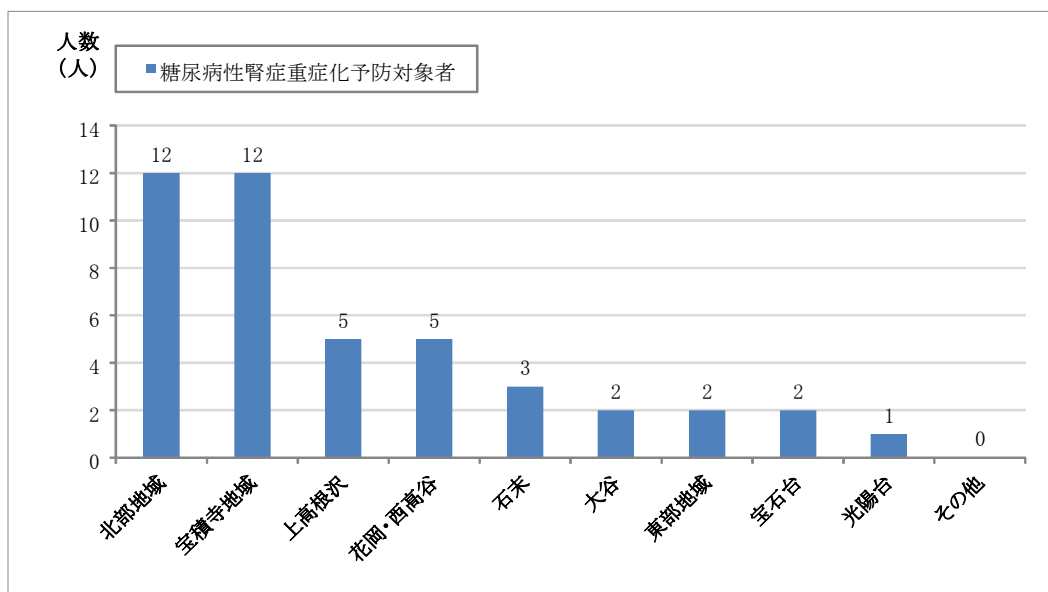
※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

指導の優先順位が高い患者を地区別に示す。

保健指導対象者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

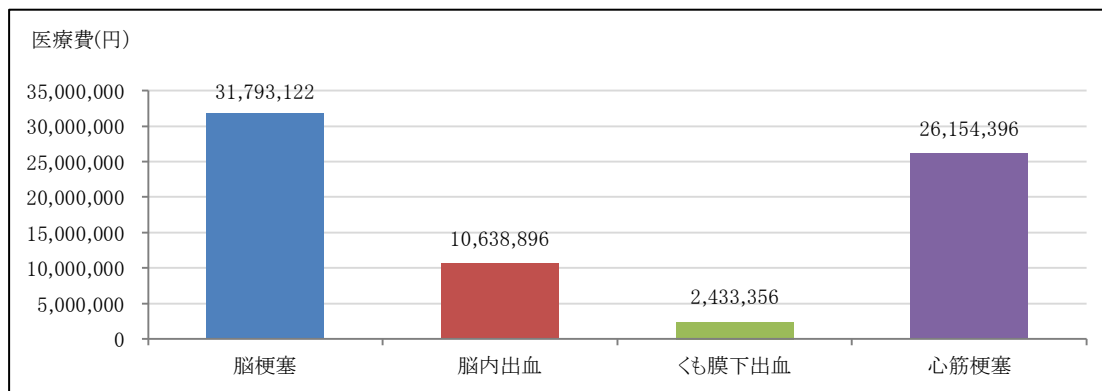
資格確認日…平成29年3月31日時点。

(7)脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数

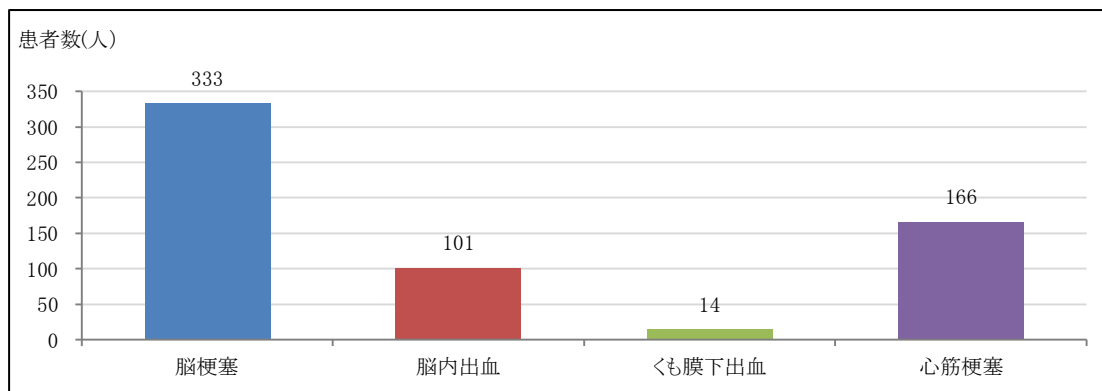
厚生労働省「平成25年人口動態統計月報年計」において死亡率の高い疾病第2位の心疾患、第4位の脳血管疾患に関して分析を行う。脳卒中においては後遺症が残る恐れがあり、厚生労働省「平成25年国民生活基礎調査」において要介護者となった主な原因の第1位となっている。

脳卒中・心筋梗塞における疾病毎の医療費、患者数を集計する。生活習慣病から重篤化した疾患のなかでは、脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられる。また、脳卒中・心筋梗塞においては再発率が高く、治療完了後の生活習慣の改善が必要となる。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費



脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数



疾病分類	医療費(円)	患者数 ※ (人)	一人当たり 医療費(円)
脳梗塞	31,793,122	333	95,475
脳内出血	10,638,896	101	105,336
くも膜下出血	2,433,356	14	173,811
心筋梗塞	26,154,396	166	157,557

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

データ化範囲(分析対象)期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…一人の患者に複数の傷病名が確認できるため、合計は一致しない。

前項の分析結果より、患者数の多い脳梗塞は特に対策を行う必要のある疾病である。また、生活習慣に関連した疾患との関連性が強いと考えられるため、治療完了後も生活習慣に改善がみられない場合、再発する恐れが高い。再発を防ぐために適切な指導を行う必要がある。

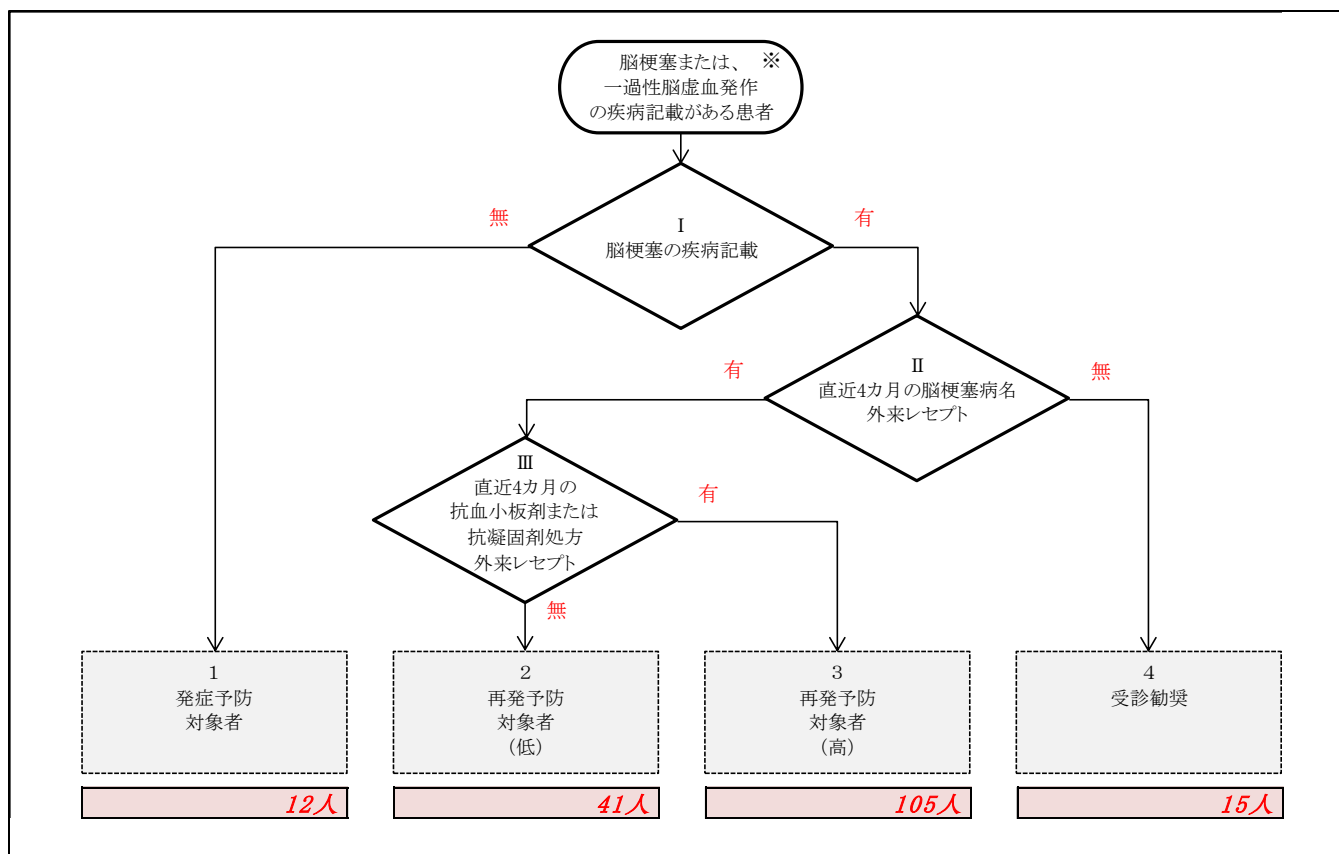
ここではレセプトデータより、過去に脳梗塞を発症した患者または一過性脳虚血発作を発症した患者に対し、疾病・処方医薬品・通院傾向を把握し、発症と再発を予防するための対象者分析を行う。

一過性脳虚血発作を発症した患者は、脳梗塞の発症リスクが高いと考えられるため、発症予防の対象者として分類する。(1. 発症予防対象者)

脳梗塞の疾病が確認される患者については、直近4カ月における脳梗塞の外来レセプトの有無を確認する。外来レセプトが有る場合、病院への受診は行われているため、再発予防の対象者とする。(2. 3. 再発予防対象者)その際「抗血小板剤または抗凝固剤」処方の有無により、優先度を設定する。

外来レセプトが無い場合、定期的な受診を促す。(4. 受診勧奨)

レセプトによる脳梗塞再発予防指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

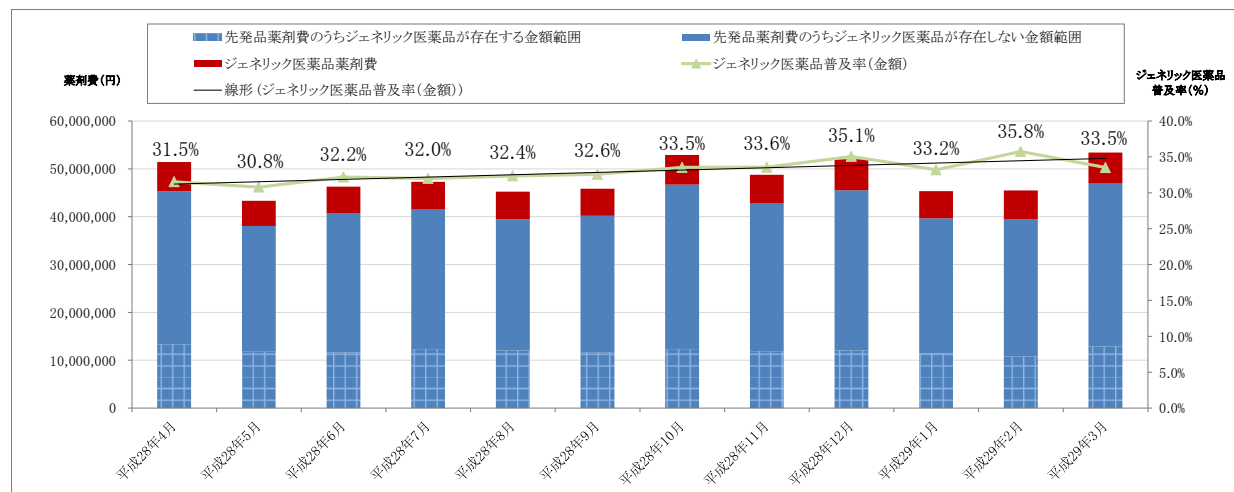
※脳梗塞または、一過性脳虚血発作の疾病記載がある患者…入院中の恐れがあるため、直近4カ月の脳梗塞の入院レセプトがある患者は除く。

(8) ジェネリック医薬品の普及状況

① ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

以下の通り、診療年月毎の先発品薬剤費、ジェネリック医薬品薬剤費、全体の薬剤費総額に対するジェネリック医薬品薬剤費の割合を示す。平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率は33.0%である。

ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

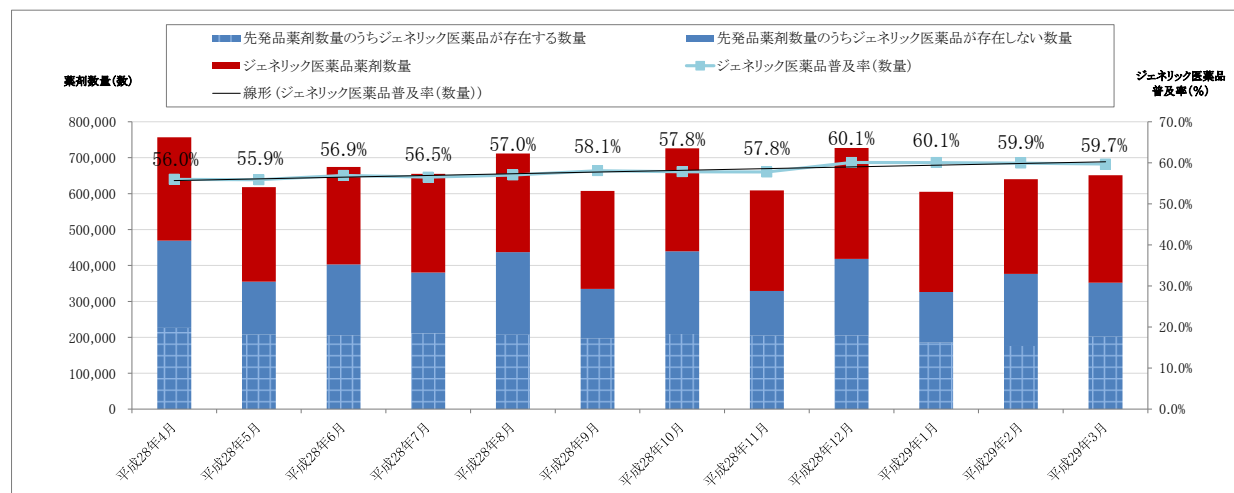
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

② ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

以下の通り、診療年月毎の先発品薬剤数量、ジェネリック医薬品薬剤数量、全体の薬剤数量に対するジェネリック医薬品薬剤数の割合を示す。平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率は58.0%である。

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

③ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、金額・数量・患者数においてジェネリック医薬品切り替えポテンシャルを分析した。

薬剤費の内訳を以下に示す。薬剤費総額6億2,494万円(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤費総額は5億7,731万円(B)となる。以下、この金額をもとに分析を行う。先発品薬剤費は5億635万円(D)で87.7%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲は1億4,404万円(E)となり、24.9%を占める。さらに株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞りと、5,096万円(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能範囲となり、このうち削減可能額は2,998万円(G)となる。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(金額ベース)

A 薬剤費総額(☆★を含む)		624,940		単位:千円	
B 薬剤費総額(☆★を除く)		577,310			
C ジェネリック医薬品薬剤費		70,958		12.3%	
D 先発品薬剤費		506,353		87.7%	
E ジェネリック医薬品が存在する金額範囲		144,038		24.9%	
E1 通知対象のジェネリック医薬品範囲		50,962		8.8%	
E2 通知対象外のジェネリック医薬品範囲		93,076		16.1%	
F ジェネリック医薬品が存在しない金額範囲		362,314		62.8%	
G 削減可能額		29,982			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額又は薬価が低いもの。

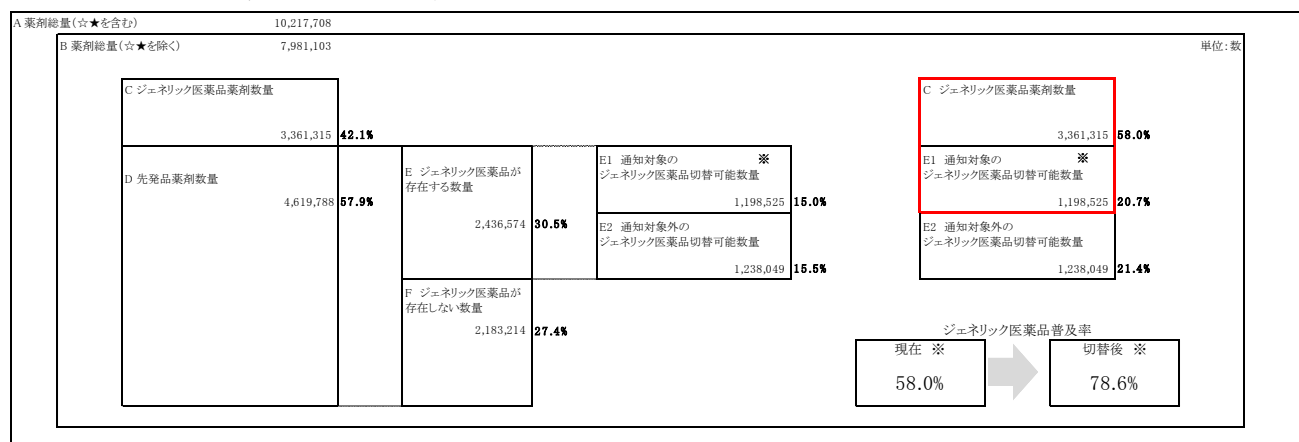
★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額又は薬価が高いもの。

※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品範囲…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。

※先発品のうち削減可能額…通知対象のジェネリック医薬品範囲のうち、後発品へ切り替える事により削減可能な金額。

次に、薬剤総量の内訳を以下に示す。薬剤総量1,022万(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤総量は798万(B)となる。以下、この数量をもとに分析を行う。先発品薬剤数量は462万(D)で57.9%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する数量は244万(E)となり、30.5%を占める。さらに株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、120万(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能数量となる。現在のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は、58.0%である。ジェネリック医薬品切り替え可能数量(E1)をすべてジェネリック医薬品へ切り替えたと仮定すると、ジェネリック医薬品に置き換えられる先発品及びジェネリック医薬品をベースとしたジェネリック医薬品普及率は、現在の58.0%から78.6%となる。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額又は薬価が低いもの。

★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額又は薬価が高いもの。

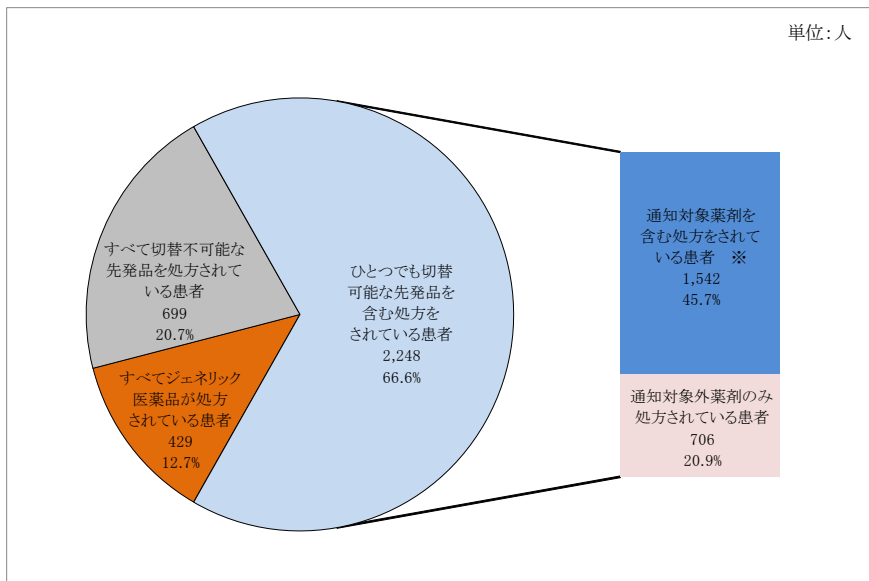
※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。

※現在のジェネリック医薬品普及率…C ジェネリック医薬品薬剤数量/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

※切替後のジェネリック医薬品普及率…(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E1 通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量)/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

平成29年3月診療分のレセプトで患者毎の薬剤処方状況を以下に示す。患者数は3,376人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は2,248人で患者数全体の66.6%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,542人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の45.7%となる。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のもは含まない)。

(9) 特定保健指導事業

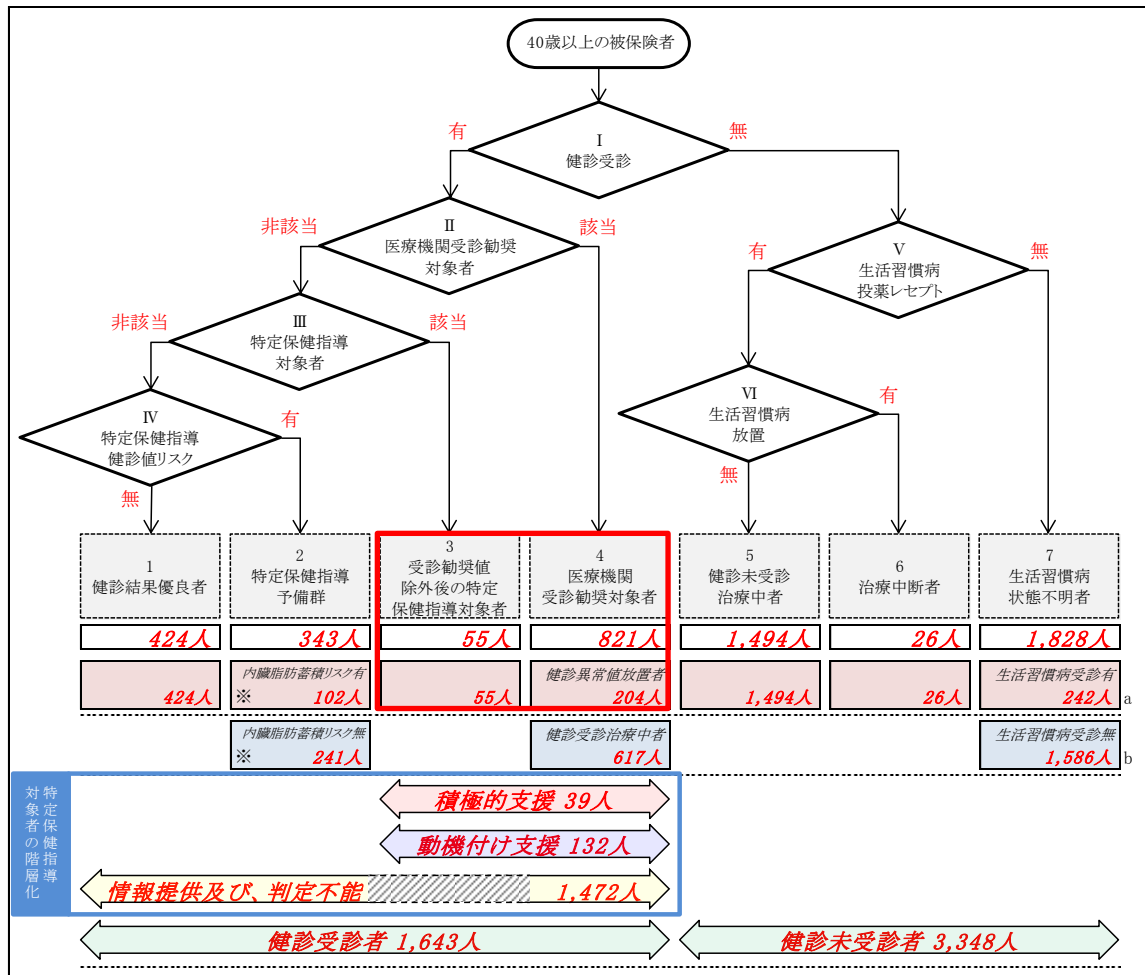
特定保健指導の対象者は、被保険者個々の診療実態をレセプトにより見極める必要がある。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「指導対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「指導実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

①指導対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

②特定保健指導対象者集団の特定

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

前項の分析にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は171人である。このうち、積極的支援の対象者は39人、動機付け支援の対象者は132人である。

生活習慣病は、バランスの取れた食生活、適度な運動習慣を身に付けることにより予防可能な疾患である。特定保健指導の対象者に効果的な指導を実施することで、生活習慣病への移行を防ぐことを目指す。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者		
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			171人		
積極的支援	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	2人	39人	23%
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数3	血糖+血圧+脂質	5人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●		血糖+血圧+喫煙	4人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	血糖+脂質+喫煙	2人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	血圧+脂質+喫煙	3人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数2	血糖+血圧	11人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●		血糖+脂質	0人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●		血圧+脂質	6人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	血糖+喫煙	1人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	血圧+喫煙	2人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	脂質+喫煙	3人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数1	血糖	0人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●		血圧	0人		
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	脂質		0人			
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	喫煙	0人				
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数0	なし	0人			
動機付け支援	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	3人	132人	77%
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数3	血糖+血圧+脂質	11人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●		血糖+血圧+喫煙	3人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	血糖+脂質+喫煙	1人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	血圧+脂質+喫煙	0人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数2	血糖+血圧	18人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●		血糖+脂質	6人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●		血圧+脂質	8人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	血糖+喫煙	1人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	血圧+喫煙	1人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	脂質+喫煙	3人			
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数1	血糖	16人		
	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●		血圧	47人		
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	脂質		14人			
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	喫煙	0人				
●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	因子数0	なし	0人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答






③健康診査データによる糖尿病重症度分類

健康診査項目の「空腹時血糖」及び「HbA1c」の値を用いて、以下の通り日本人間ドック学会の判定区分に基づき健診受診者を集計し、日本糖尿病学会の判定区分に基づき色分けした。

健康診査項目からステージに該当する人数(HbA1c×空腹時血糖)

健診受診者数:人

			HbA1c(NGSP) (ヘモグロビンA1c)					計
			A 異常なし	B 軽度異常	C 要経過観察・ 生活改善	D 要治療	未測定	
			0.0% ~	5.6% ~	6.0% ~	6.5% ~		
空腹時 血糖	A 異常なし	0 ~	539	447	76	5	0	1,067
	B 軽度異常	100 ~	67	111	75	16	0	269
	C 要経過観察・ 生活改善	110 ~	12	23	47	27	0	109
	D 要治療	126 ~	0	8	19	80	0	107
	未測定			44	30	8	9	0
計			662	619	225	137	0	1,643

糖尿病		=80人	4.9%
糖尿病型		=75人	4.6%
境界型		=82人	5.0%
正常型		=1,315人	80.0%
不明		=91人	5.5%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

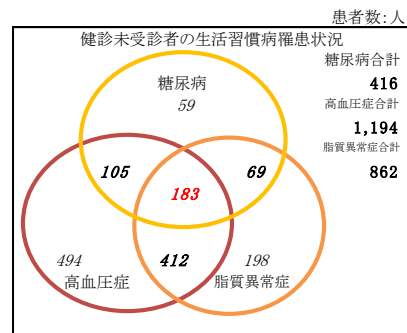
参考資料:日本人間ドック学会の判定区分(平成28年4月1日改定)、日本糖尿病学会「科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン2013」株式会社南江堂 ISBN:978-4-524-26996-9

※日本人間ドック学会の判定区分に従い人数を集計し、日本糖尿病学会の判定区分に従い色分けした。

④生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費

健診受診者と未受診者の生活習慣病の医療費を分析した。
健診未受診者の医療費が高い傾向であった。

●生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※1	医療費(円) ※2		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	183	57,764,250	99,892,850	157,657,100	861,514
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	105	29,237,560	42,598,870	71,836,430	684,156
	糖尿病・脂質異常症	69	12,532,690	27,032,290	39,564,980	573,406
	高血圧症・脂質異常症	412	47,201,240	125,860,220	173,061,460	420,052
	合計	586	88,971,490	195,491,380	284,462,870	485,432
1疾病患者	糖尿病	59	12,384,250	19,485,000	31,869,250	540,157
	高血圧症	494	103,536,080	151,354,590	254,890,670	515,973
	脂質異常症	198	31,038,910	48,290,760	79,329,670	400,655
	合計	751	146,959,240	219,130,350	366,089,590	487,469

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

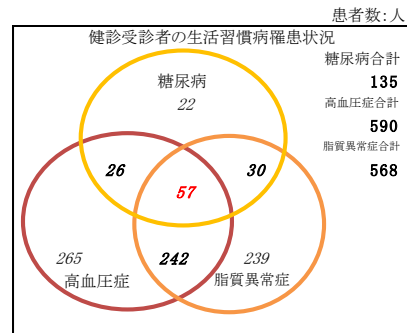
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1 患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※2 医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

●生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※1	医療費(円) ※2		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	57	11,866,910	23,280,150	35,147,060	616,615
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	26	3,480,070	8,081,900	11,561,970	444,691
	糖尿病・脂質異常症	30	810,110	10,876,520	11,686,630	389,554
	高血圧症・脂質異常症	242	24,511,960	62,087,750	86,599,710	357,850
	合計	298	28,802,140	81,046,170	109,848,310	368,618
1疾病患者	糖尿病	22	960,390	5,819,470	6,779,860	308,175
	高血圧症	265	13,600,930	65,542,430	79,143,360	298,654
	脂質異常症	239	6,642,020	51,798,580	58,440,600	244,521
	合計	526	21,203,340	123,160,480	144,363,820	274,456

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1 患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※2 医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

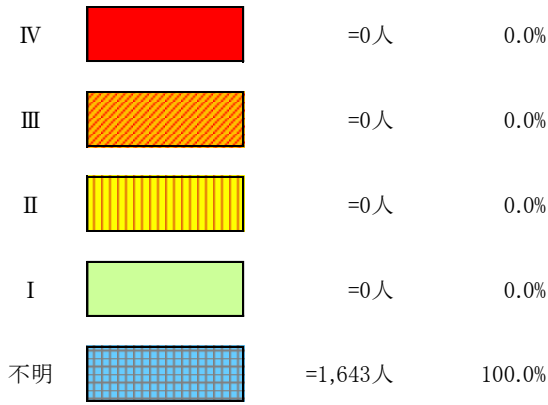
(10) 健康診査データにおけるCKD重症度分類

健康診査項目の「尿蛋白」及び「クレアチニン」から算出したeGFR値を用いて、以下の通り「CKD診療ガイド2012」の基準に基づき健診受診者を分類した。末期腎不全・心血管死亡発症リスクの上昇に合わせてステージ分けを行い該当するステージの健診受診者数を示す。

健康診査項目からステージに該当する人数(尿蛋白×クレアチニン)

健診受診者数:人

			尿蛋白ステージ				未測定	計
			A1	A2	A3			
			(-) (±)	(1+)	(2+)	(3+)		
腎機能ステージ(eGFR)	G1	90 ~	0	0	0	0	0	
	G2	60 ~	0	0	0	0	0	
	G3a	45 ~	0	0	0	0	0	
	G3b	30 ~	0	0	0	0	0	
	G4	15 ~	0	0	0	0	0	
	G5	0 ~	0	0	0	0	0	
	未測定		1,567	38	29	8	1	1,643
計			1,567	38	29	8	1	1,643



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

参考資料: 社団法人日本腎臓学会「CKD診療ガイド2012」CKD の定義, 診断, 重症度分類 表2CKDの重症度分類

株式会社東京医学社 ISBN:978-4-88563-211-2

※上記資料を用いて、株式会社データホライズンが作成した。

死亡・末期腎不全・心血管死亡発症のリスクを を基準に の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

2. 分析結果と課題及び対策の設定

(1) 分析結果

平成28年4月から平成29年3月診療分（12ヶ月分）の入院（DPCを含む）、入院外、調剤レセプトを分析したところ、高根沢町国民健康保険の抱える課題は、生活習慣病及び新生物の対策であることが分かった。

特に生活習慣病は、発症から重症化までの期間が長く、重症化した場合の医療費も大きくなることから、生活習慣病発症予防を目的とした長期的事業と、生活習慣病の重症化予防を目的とした中期的事業を並行して取り組むことが得策であると考ええる。

以下、分析結果をまとめた。

① 疾病大分類別

循環器系、内分泌、栄養及び代謝疾患が上位となっており、生活習慣病が課題となっていることがわかる。新生物も上位である。患者一人当たりの医療費が高いのは、周産期に発生した病態が1位、精神及び行動の障害が2位である。母子部門・福祉部門へ情報提供し、連携を取る。

医療費総計の高い疾病	
1位	循環器系の疾患
2位	新生物
3位	内分泌，栄養及び代謝疾患

患者数の多い疾病	
1位	呼吸器系の疾患
2位	消化器系の疾患
3位	内分泌，栄養及び代謝疾患

患者一人当たりの医療費が高額な疾病	
1位	周産期に発生した病態
2位	精神及び行動の障害
3位	新生物

②疾病中分類別

大分類を細分化し、中分類で分析を行った結果、医療費・患者数では、大分類同様、生活習慣病関連の疾病が上位占めていた。生活習慣病の重症化予防が課題と言える。

医療費統計が高い疾病	
1位	高血圧性疾患
2位	糖尿病
3位	腎不全

患者数の多い疾病	
1位	高血圧性疾患
2位	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
3位	その他の消化器系の疾患

患者一人当たりの医療費が高額な疾病	
1位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物
2位	妊娠及び胎児発育に関連する障害
3位	腎不全

③入院・入院外別

入院・入院外別での医療費が高い疾病傾向は、新生物・循環器・精神疾患・内分泌が上位である。

入院 医療費 割合	39.5%	入院における医療費総計が高い疾病(大分類)	
		1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	精神及び行動の障害
入院外 医療費 割合	60.5%	入院外における医療費総計が高い疾病(大分類)	
		1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
		2位	循環器系の疾患
		3位	新生物

④年齢階層別医療費

高齢になるにつれ医療費は高額化する。その中でも医療費総計が高い疾病は、いずれの年代でも循環器系の疾患が1位または2位であった。生活習慣病は、重症化し医療費が高額化するまでに長い時間がかかることから、医療費の高い疾患を特定することも重要であると同時に、将来医療費が高額化すると予測される層への発症予防対策も重要である。また新生物も65歳以上の年齢階層では1位または2位であることから、がんの早期発見等対策が必要である。

医療費総計が高い年齢階層		医療費総計が高い疾病(大分類)	
1位	70歳 ~	1位	循環器系の疾患
		2位	新生物
		3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
2位	65歳 ~ 69歳	1位	新生物
		2位	循環器系の疾患
		3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患
3位	60歳 ~ 64歳	1位	腎尿路生殖器系の疾患
		2位	循環器系の疾患
		3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患

⑤高額（5万点以上）レセプトの件数と割合

高額レセプトの発生件数は、全体の0.6%でありながら医療費の30.1%を占めていることから、医療費適正化効果の観点から、上位にあがった疾患の対策は重要であると考ええる。

分析結果では、4位に動脈硬化(症)、5位に腎不全があがっている。これからも生活習慣病の対策が重要であると考ええる。

高額レセプト件数	48件 (月間平均)	高額レセプトの要因となる疾病 一人当たりの医療費が高額な疾病(中分類)	
高額レセプト件数割合	0.6%	1位	心臓の先天奇形
高額レセプト医療費割合	30.1%	2位	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
		3位	その他の循環器系の疾患
		4位	動脈硬化(症)
		5位	腎不全
		6位	気管、気管支及び肺の悪性新生物

⑥医療機関受診状況

医療機関の受診状況に問題のある被保険者が154人、服薬状況に問題のある被保険者が348人確認できた。短期的な医療費適正化効果が期待できるため、対策が必要であると考える。

重複受診者	44人	} 受診状況に問題ある被保険者154人
頻回受診者	110人	
重複服薬者	114人	} 服薬状況に問題のある被保険者348人
薬剤併用禁忌対象者	234人	

※平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

※薬剤併用禁忌対象者…1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。

⑦人工透析患者の実態

人工透析患者18名のうち、生活習慣を起因とする疾病から人工透析に至った患者が12名で、その全員がⅡ型糖尿病が起因であった。糖尿病性腎症重症化予防の取り組みが必要である。

⑧脳卒中・心筋梗塞の患者の実態

脳卒中（脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血）の患者は、448名、心筋梗塞の患者は、166名であった。

死亡率の高いこと、再発率が高いことから、発症予防と再発予防の取り組みが必要である。

⑨ジェネリック医薬品普及率

数量ベースのジェネリック医薬品普及率（新指標）は平成29年度3月診療分で59.7%である。厚生労働省は、平成27年8月26日に、平成32年度末までに80%と普及目標を引き上げた。更なるジェネリック医薬品の普及をめざす。

(2) 課題及び対策の設定

分析結果より導いた課題とその対策を以下に示す。

①特定健診・特定保健指導を基盤とする生活習慣病予防

- ＜課題＞疾病大分類や疾病中分類において医療費が高額な疾病、あるいは患者数多い疾病や一人当たりの医療費が高額な疾病の中に、生活習慣病がある。生活習慣病は、正しい生活習慣により予防することが可能である。また、たとえ発症しても軽度のうちに治療を行い、生活習慣を改善すれば進行をくいとめることができるにもかかわらず、多数の患者が存在し、医療費も多額である。
- ＜対策＞特定健診・特定保健指導の制度を最大限に活用し、一次予防・二次予防を実施する。具体的には、特定保健指導実施率の向上、特定健診未受診者の各階層毎の内容別に応じた受診勧奨通知等である。

②がん検診とポピュレーションアプローチを基盤とする生活習慣病予防

- ＜課題＞疾病大分類や疾病中分類において医療費が高額な疾病、あるいは患者数が多い疾病や一人当たりの医療費が高額な疾病の中に新生物がある。新生物は、がん検診により早期発見が可能である。また、食事や運動などの生活習慣を見直すことでがんを防ぐこともできる。
- ＜対策＞がん検診の制度を最大限に活用し、早期発見・早期治療をめざす。がん検診の受診率向上のため、特定健診の受診勧奨とあわせて行い、受診率アップをめざす。また、生活習慣の改善と強化のため運動教室や栄養教室を実施する。

③ジェネリック医薬品普及率の向上

- ＜課題＞厚生労働省が目標とするジェネリック医薬品普及率は平成30年度末の数量ベース(新基準)で60%以上であるが、現在、「高根沢町国民健康保険」における同普及率は「58.0%」である。
- ＜対策＞ジェネリック医薬品に切り替え可能な先発医薬品を服薬している患者を特定し、患者個人に切り替えを促す通知を行う。

④受診行動適正化

- ＜課題＞重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在する。
- ＜対策＞対象者集団を特定し、保健師等の専門職より適正な受診行動を促す指導と、お薬手帳の活用啓発を実施する。

⑤生活習慣病の重篤化リスクのある患者への重症化予防

- ＜課題＞高額レセプトの要因となっている疾病の中に、生活習慣病が重篤化した疾病がある。これらの疾病は、重篤化する前に患者本人が定期的に通院し、服薬管理や食事管理等をすることで重症化することを防ぎ、病気をコントロールすることが肝要である。
- ＜対策＞生活習慣病の重症化予防が必要な患者や、生活習慣病の治療を中断している患者・未治療の患者を特定し、患者個人に保健指導を行い、定期的な受診を促す。

Ⅲ. 実施事業

1. 実施事業の目的と概要

本計画においては、期間を6カ年として事業計画を策定する。

各事業の目的と概要等は以下のとおりとし、事業の内容や進め方はP. 50以降に記載する。

第1期データヘルス計画の評価は、本計画の策定時点において完了している平成28年度分までを掲載する。

No.	事業名	目的	概要	現 状
1	特定健康診査未受診者対策	被保険者の受診率向上	特定健診を受診していない人に、生活習慣病の予防の観点から受診するように受診勧奨通知を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育園・幼稚園の保護者あての通知や、小中学校PTA会員あての通知に、受診勧奨の記事を掲載 ● 広報に健診受診勧奨の記事を季節ごとに掲載 ● 健診未受診者へ個別勧奨（はがき） <ul style="list-style-type: none"> ・ 40・50・60歳の節目の年齢の未受診者への勧奨通知 ・ 45・55・65歳の節目の年齢の未受診者への勧奨通知 ・ 申込者への再通知（健診の予定日に受診しなかった対象者へ個別通知） ・ ・ ・ 3回/年実施 ● 受診勧奨ポスターの掲示（町役場・図書館・公民館・エコハウス・児童館等の公共施設・農協の直販所など） ● クリーンキャンペーン・町民体育祭などのイベントでPR ● 国民健康保険証の通知等に勧奨チラシを同封して配付 ● 行政区協力による全戸回覧 ● 国民健康保険加入時に、健診案内のチラシを交付 ● 町ホームページに専用の申込みフォームを設置し、24時間の受付を行う ● 「人工知能（AI）を活用した受診勧奨システム」を活用し、対象者の行動分析に基づく効果的な受診勧奨を行う
2	特定保健指導事業	被保険者の生活習慣の予防	特定健診の結果から特定保健指導対象者を特定し、検査値が改善されるように、高根沢町特定健康診査実施計画に基づいた指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導の対象者の予定に合わせて日程調整 ● 特定保健指導の面談予定日に来所が困難な場合、できるだけ面談指導を受けられるように日程調整を行う ● 特定保健指導で立案した計画が、継続して実行するための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体重の記録用紙「ダイエット部健康カレンダー」の利用の勧奨 ・ 運動教室の開催 ・ 栄養教室の開催 ・ 栄養相談の開催 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、特定保健指導対象者になるリピーターへの対応や、初回面談のみで計画立案・実施に至らないケースへの対応 ・ 毎年、指導対象者になるが、拒否するケースへの対応 ・ 支援中断者への対応
3	生活習慣病予防事業	被保険者の生活習慣の予防	疾病別医療費統計から、高年齢の循環器系の疾患や新生物の占める割合が高い。若年層からの生活習慣病予防が重要である。	<ul style="list-style-type: none"> ● がん検診と特定健診の受診勧奨 ・ 特定健診未受診者対策と合わせて実施 ・ 3歳児健診時に各種がん検診の案内を配布 ● 特定健診異常値者への受診勧奨 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診結果データにより『標準的な健診・保健指導プログラム』の「健診検査項目の健診判定値」に基づき、受診勧奨判定値を超えている要精密検査の対象者へ面談や郵送により個別保健指導や医療機関への受診勧奨を実施 ・ 面談指導対象者は、血圧・脂質代謝・糖代謝のいずれかで判定値を超えている者とする ● がん検診要精密検査の受診勧奨 ・ 特定健診の面談と合わせて実施 ● 運動指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動教室・・・4回/月実施 （エアロビクス教室・すっきりスリム教室） ・ ウォーキング会の支援 ・ 特定健診事後指導での運動実技指導及び継続指導 ・ 高根沢たんたんウォーキング事業 （貯筋通帳・ウォーキングマップの配布・活用推進） ● 食事・栄養指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児栄養教室の実施 ・ 幼児期から食生活の大切さを学び、バランスの良い食事について学ぶ。 ・ 給食センターの栄養士と連携し、小中学生へ食事の大切さを啓蒙する ・ 毎月発行する広報誌に栄養に関する記事を掲載 ・ 栄養教室の開催 ・ 栄養相談の開催（幼児から成人まで、栄養の改善要する住民に対する相談を実施） ・ 特定健診事後指導において栄養指導（集団指導・個別指導）

今 後	アウトプット	アウトカム
継続	第1期データヘルス計画の評価	
	【目標 → 達成状況】 ・対象者への通知率 100% → 100%	【目標 → 達成状況】 特定健診受診率 ・平成28年度 55.0% → 33.8% ・平成29年度 60.0% → 未確定 ※法定報告値
	本計画の目標	
継続	第1期データヘルス計画の評価	
	【目標 → 達成状況】 ・指導対象者の指導実施率 10%向上 → 6.1%減少 ・指導対象者の生活習慣改善率 50% → 53.8%	【目標 → 達成状況】 ・積極的支援及び動機付け 支援対象者数 10%減少 → 5.5%減少
	本計画の目標	
<ul style="list-style-type: none"> ● がん治療者の体験談などから、早期発見・早期治療により健康を維持できることをPRする ● (仮称)元氣あっぷ体操など、子どもから高齢者まで楽しめる体操（健康体操）の普及 	第1期データヘルス計画の評価	
	【目標 → 達成状況】 ・がん検診受診勧奨率 100% → 100% <対象> ・子宮頸がん (21歳・26歳・31歳・36歳・41歳) ・大腸がん・乳がん (41歳・46歳・51歳・56歳・61歳) ・がん検診要精密検査受診勧奨率 100% → 100% ・運動教室 月4回 → 月4回	【目標 → 達成状況】 ・がん検診受診率 50% → 10.0% ・がん検診精密検査受診率 70% → 84.2% ・各教室参加者 20名以上 → 平均20名
	本計画の目標	
	【目標】 ・がん検診受診勧奨率 100% <対象> ・子宮頸がん (21歳・26歳・31歳・36歳・41歳) ・大腸がん・乳がん (41歳・46歳・51歳・56歳・61歳) ・がん検診要精密検査受診勧奨率 100% ・運動教室 月4回	【目標】 ・がん検診受診率 50% ・がん検診精密検査受診率 90% ・各教室参加者 20名以上

No.	事業名	目的	概要	現 状
4	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定する。対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何か等の情報を記載する。	●毎月（年12回）、差額通知を発送
5	受診行動適正化指導事業 （重複受診、 頻回受診、 重複服薬）	重複・頻回受診者数、 重複服薬者数の減少	レセプトから、医療機関への過度な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、指導する。指導は専門職によるもので、適正な医療機関へのかかり方について、面談指導または訪問指導を行う。併せてお薬手帳活用啓発を行う。	●特定健診の説明会の際に受診状況の確認を行い、状況に応じて適正受診について指導を行う
6	糖尿病性腎症 重症化予防事業	被保険者の糖尿病 重症化予防	特定健診異常値者に対して医療機関への受診勧奨を行う。特に、高血糖かつ尿蛋白が陽性の人は、受診の確認を行う。	●特定健診異常値者への受診勧奨 ・特定健診の結果、異常値がある者に対して、面談や通知で受診勧奨を行う ●医療機関の受診状況の確認 ・血糖値が高く、尿蛋白も陽性だったものは、受診の確認を行う ●栄養教室の開催 ●栄養相談の開催 ●健診の事後指導時に、専門医の紹介を行う
7	生活習慣病 治療中断者 受診勧奨事業	生活習慣病 治療中断者の減少	レセプトから、かつて生活習慣病の治療を受けていたにもかかわらず、一定期間、医療機関受診が確認できず、治療を中断している可能性のある対象者を特定する。対象者に通知で、受診勧奨を行う。	●特定健診の結果説明会にて、治療中断者へ受診勧奨を行う

今 後	アウトプット	アウトカム
継続	第1期データヘルス計画の評価	
	【目標 → 達成状況】 ・対象者への通知率 100% → 100%	【目標 → 達成状況】 ・ジェネリック薬品普及率(数量ベース) 60% → 58.0%
	本計画の目標	
●訪問の実施 ・国保のレセプト情報から、重複受診や頻回受診の住民に対して、訪問や面談を行い、適正受診の指導を行う ・お薬手帳の活用を勧め、受診と適切服薬管理を促す ●健診結果説明会において必要に応じてお薬手帳の活用を勧める	第1期データヘルス計画の評価	
	【目標 → 達成状況】 ・指導対象者の指導実施率 20% ・指導実施完了者の受診行動適正化 50% ・指導実施完了者の医療費を指導実施前より 50%減少 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">⇒ 平成28年度は準備期間とし平成29年度から事業を実施したため、結果未確定</div>	【目標 → 達成状況】 ・重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20%減少
	本計画の目標	
	【目標】 ・指導対象者の指導実施率 20% ・指導実施完了者の受診行動適正化 50% ・指導実施完了者の医療費を指導実施前より 50%減少	【目標】 ・重複・頻回受診者数、重複服薬者数 20%減少
栃木県の糖尿病性腎症重症化予防プログラムに合わせた事業を行う	第1期データヘルス計画の評価	
	【目標 → 達成状況】 ・特定健診要精密検査者への医療機関受診勧奨率 100% → 100%	【目標 → 達成状況】 ・血糖値異常値者の医療機関受診率 50% → 66.7%
	本計画の目標	
	【目標】 ・特定健診要精密検査者への医療機関受診勧奨率 100%	【目標】 ・血糖値異常値者の医療機関受診率 70%
対象者に医療機関受診勧奨通知の送付を行う	第1期データヘルス計画の評価	
	【目標 → 達成状況】 ・対象者への通知率 100% ・対象者の医療機関受診率 20% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">⇒ 平成29年度実施の事業のため、結果未確定</div>	【目標 → 達成状況】 ・生活習慣病治療中断者数 20%
	本計画の目標	
	【目標】 ・対象者への通知率 100% ・対象者の医療機関受診率 20%	【目標】 ・生活習慣病治療中断者数 20%減少

2. 全体スケジュール

事業計画策定(P)、指導の実施(D)、効果の測定(C)、次年度に向けた改善(A)を1サイクルとして実施する。

事業実施の6カ年間は、継続的にレセプトと健診データをデータベース化し、事業実施と効果測定を行う。また、この効果測定の結果をもって次年度実施事業の改善案を作成する。

3. データヘルス計画の見直し

(1) 評価

データヘルス計画の実施事業における目的及び目標の達成状況について評価を行うこととし、達成状況により、次年度実施計画の見直しを行う。

(2) 計画の見直し

評価結果に基づき、必要に応じて次年度の個別の保健事業の見直しを行うものとする。見直しにあたっては、高根沢町国民健康保健運営協議会に報告し、栃木県国民健康保険団体連合会保険等の支援を受けるものとする。

なお、事業の具体的な見直しにあたっては、関係部署と連携を図るものとする。

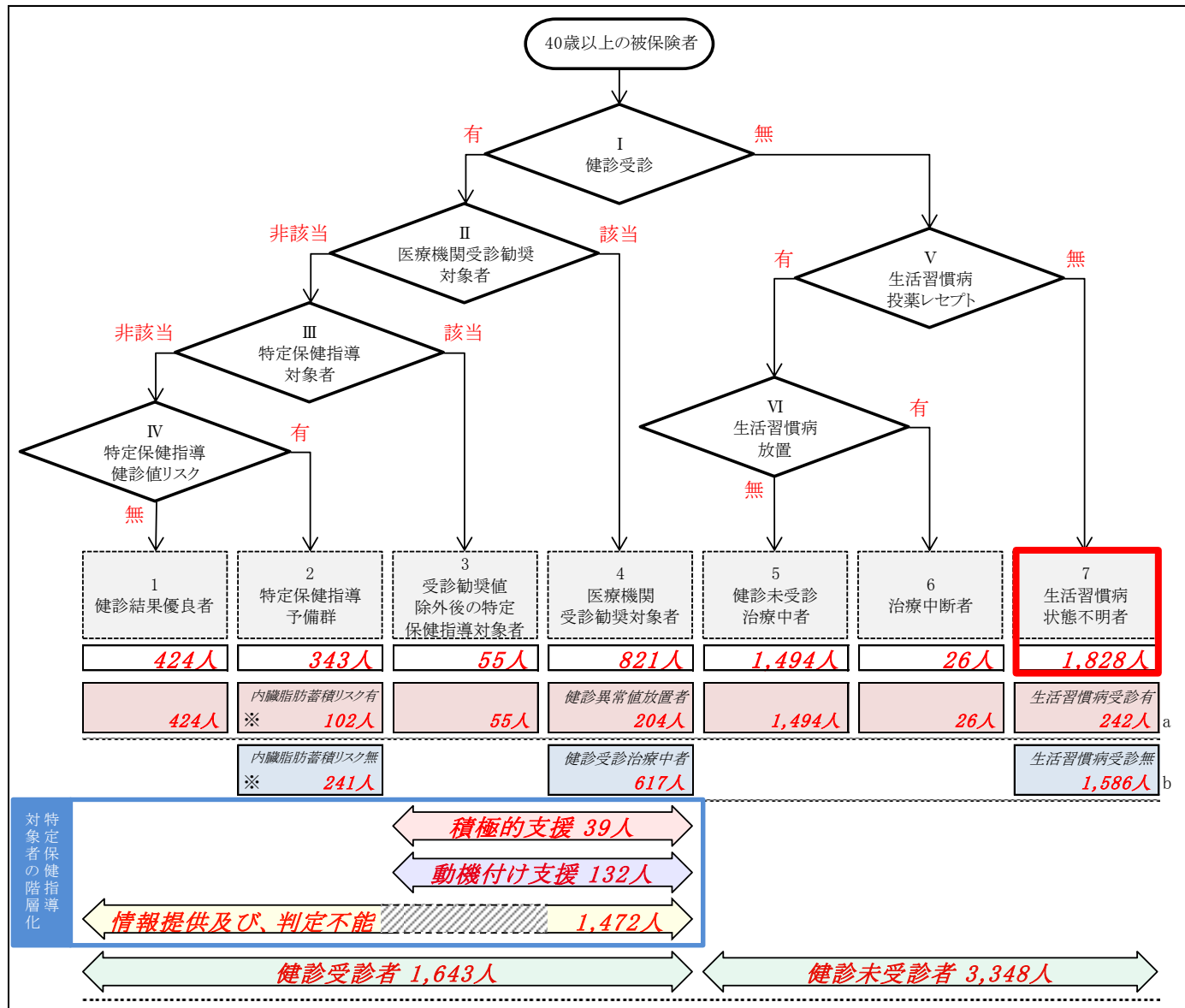
IV. 事業内容

1. 特定健康診査未受診者対策（特定健診受診率向上）

(1) 対象者の特定

これまでの受診率向上のための受診勧奨事業に加え、レセプトを突合させた特定健診受診率向上事業を実施する。以下の図の特定健診未受診者の7のグループへ受診勧奨を行う。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹圍・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 実施計画と目標

① 実施計画

平成30年度～平成35年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成30年度	平成29年度の健診未受診者を選定し、受診勧奨を実施する。 併せて、人間ドック・脳ドック受診勧奨も実施する。
平成31年度 ～ 平成35年度	継続

② 目標

平成35年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
・ 対象者への通知率 100%	・ 特定健診受診率 60.0%

(3) 実施要領

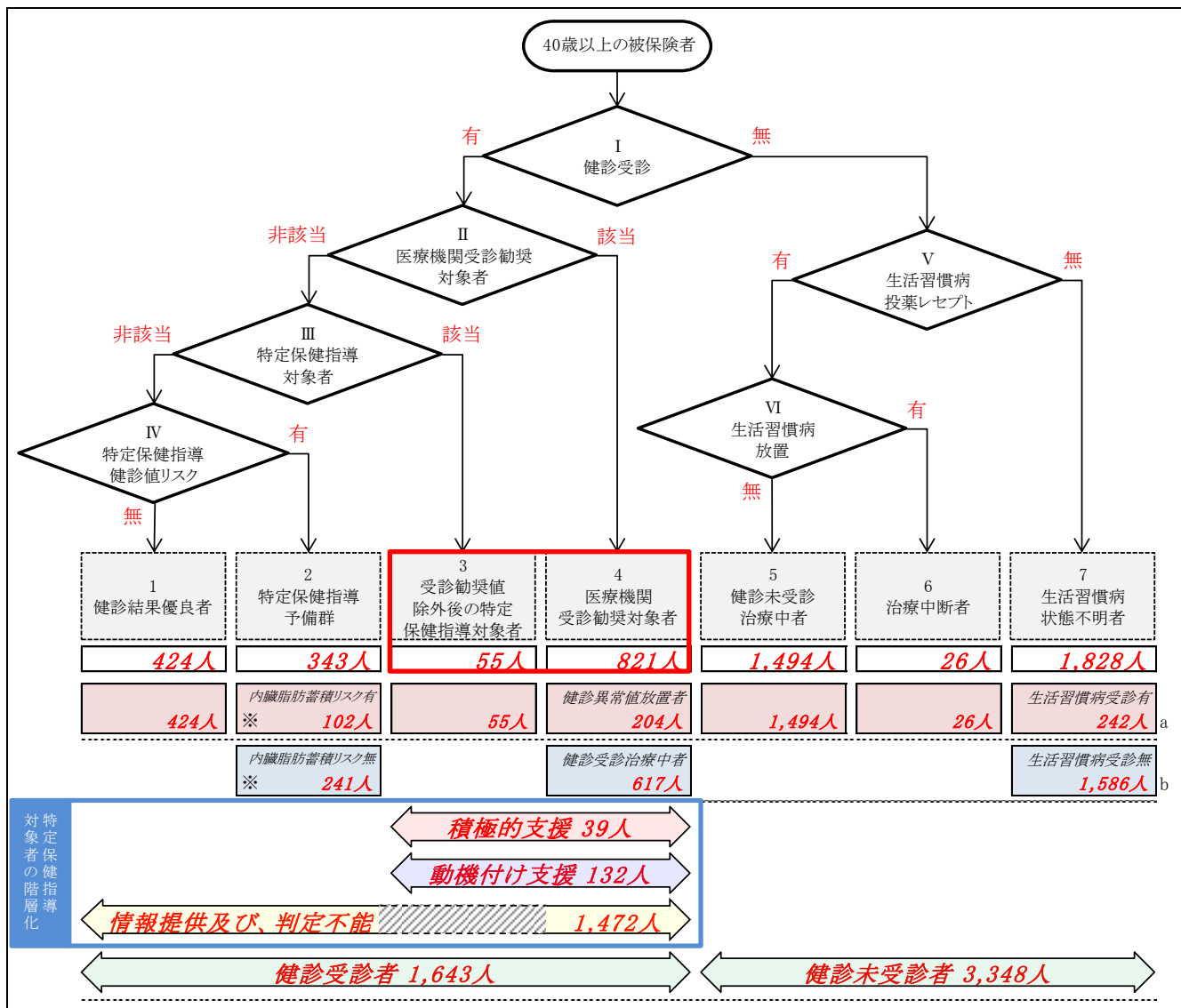
受診勧奨対象者を特定し、その対象者に対して適切な受診勧奨通知を行う。通知の効果を得るため、対象者が行動変容しやすい内容と紙面デザイン、通知のタイミングを検討し、通知後の効果測定等を実施する。また、「人工知能（AI）を活用した受診勧奨システム」を活用し、対象者の行動分析に基づく効果的な受診勧奨を行う。

2. 特定保健指導事業

(1) 対象者の特定

特定保健指導の対象者は、以下の図の「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」のグループのうち171人である。このうち、積極的支援の対象者は39人、動機付け支援の対象者は132人である。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 実施要領

高根沢町特定健康診査等実施計画に基づき、指導を行う。

(3) 実施計画と目標

① 実施計画

平成30年度～平成35年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成30年度	指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 健診データより検査値の推移を確認する。
平成31年度 ～ 平成35年度	継続

② 目標

平成35年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
<ul style="list-style-type: none"> 指導対象者の指導実施率 60% 指導対象者の生活習慣改善率 60%※ 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的支援及び動機付け支援対象者数 10%減少

※特定保健指導を実施することにより、指導前と指導後で生活習慣が改善された人数の割合。

(4) 成果の確認方法

指導を行ったことによる成果を以下方法で確認する。

	評価基準	方法	詳細	成果目標
1	特定保健指導実施率	対象者のうち特定保健指導を完了した人数より算出する。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的支援 動機付け支援 各々の実施率を算出	特定保健指導実施率 60%
2	生活習慣改善率	指導前と指導後の問診項目の回答状況・検査値等を比較する。	腹囲、BMI、脂質、血糖 血圧、問診項目(食事・運動・睡眠・喫煙等)	指導後の生活習慣改善率 60%

3. 生活習慣病予防事業

(1) 実施計画と目標

平成30年度～平成35年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成30年度	特定健診の対策と合わせて、がん検診・がん検診要精密検査の受診勧奨を行う。また、子どもから高齢者に対し、運動教室や栄養教室を開催し、運動習慣と食習慣を習得する。
平成31年度 ～ 平成35年度	継続

② 目標

平成35年度末の目標を以下とする。

アウトプット	アウトカム
<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診勧奨率 100% 〈対象〉 ・子宮頸がん(21歳・26歳・36歳・41歳) ・大腸がん・乳がん(41歳・46歳・51歳・56歳・61歳) ・がん検診要精密検査受診勧奨率 100% ・運動教室 月4回 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診受診率 50% ・がん検診精密検査受診率 90% ・各教室参加者 20名以上

(2) 成果の確認方法

指導を行ったことによる成果を以下方法で確認する。

	評価基準	方法	詳細	成果目標
1	がん検診受診率	対象者のうち検診を受けた人数より算出する。	がん検診を受けたかを確認する。	受診率 50%
2	がん検診精密検査受診率	対象者のうち治療を受けた人数より算出する。	レセプトから、医療機関を受診したかを確認する。	対象者のうち医療機関受診率 90%
2	各教室参加人数	対象者のうち出席した人数を確認する。	教室参加者に、名前を記入してもらい、人数を把握する。	各教室参加者 20名以上

4. ジェネリック医薬品差額通知事業

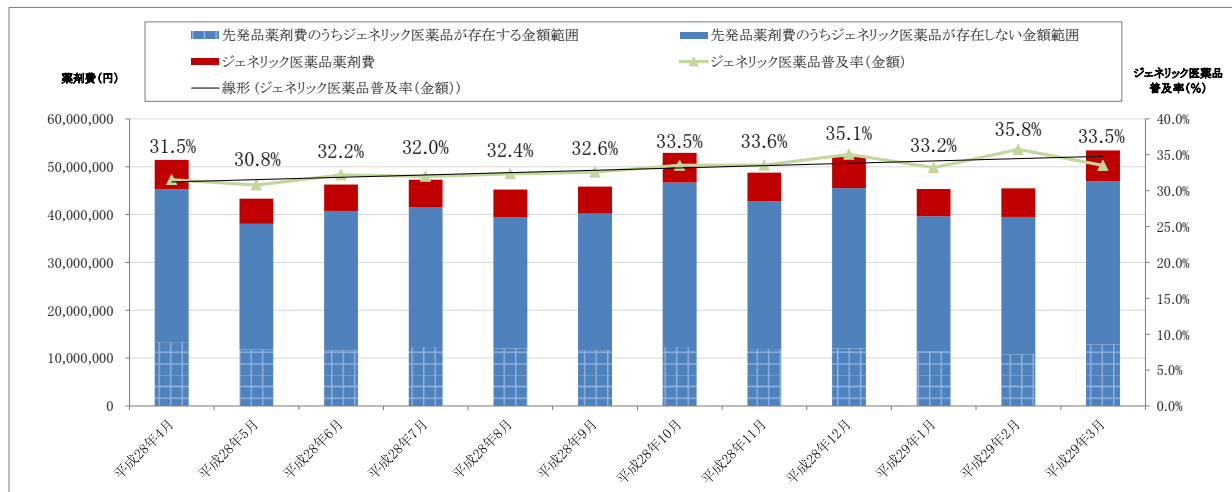
(1) 保健事業の効果が高い対象者の特定

① ジェネリック医薬品普及率の把握

国では平成27年6月の閣議決定において、「平成30年度から平成32年度末までのなるべく早い時期に、ジェネリック医薬品の数量シェアを80%にする」という目標を掲げ、ジェネリック医薬品の使用促進のための施策に積極的に取り組んでいる。

現在、高根沢町国民健康保険の数量ベースのジェネリック医薬品普及率平均は58.0%である。月別の推移(金額ベース・数量ベース)を以下の通り示す。

1. 金額ベース (全体)



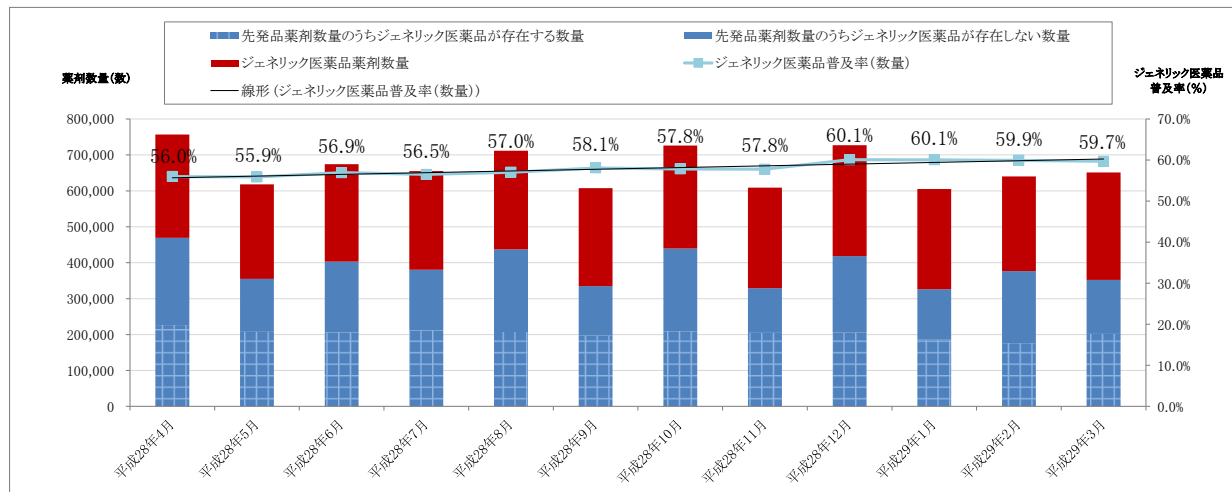
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

2. 数量ベース (全体)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

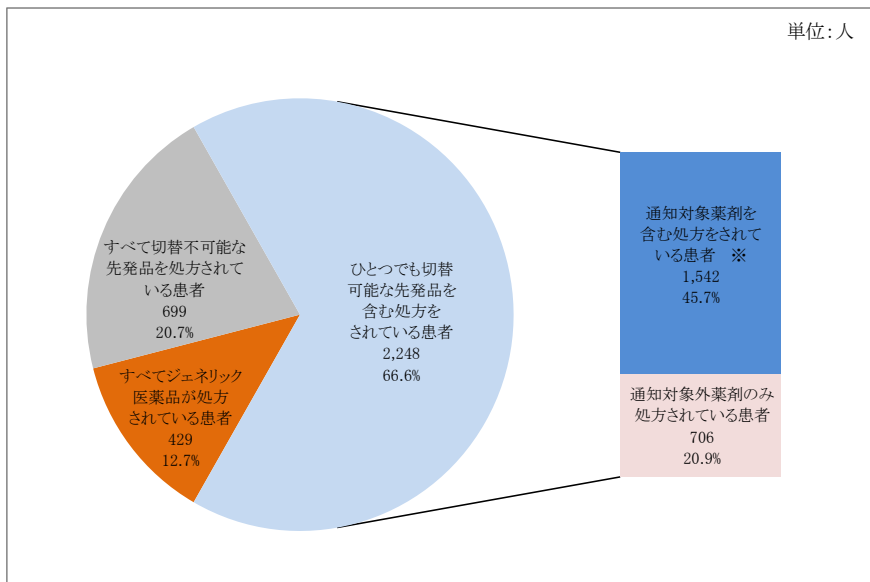
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

②事業対象者集団の特定

レセプトが発生している患者毎の薬剤処方状況を以下に示す。患者数は3,376人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は2,248人で患者数全体の66.6%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,542人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の45.7%となる。これらの対象者にジェネリック医薬品差額通知等の情報提供を行い、ジェネリック医薬品の使用を促すことで、医療費削減を目指す。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) 実施計画と目標

① 実施計画

平成30年度～平成35年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成30年度	年12回、各200通程度を想定
平成31年度 ～ 平成35年度	継続

② 目標(達成時期：平成35年度末)

平成35年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
・対象者への通知率 100%	・ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80%

(3) 成果の確認方法

ジェネリック医薬品差額通知を行ったことによる成果を以下方法にて確認する。

	評価基準	方法	詳細	成果目標
1	ジェネリック 医薬品普及率	通知後の翌月のレセプト から普及率を比較、29年 度末まで確認を続ける。	ジェネリック医薬品 普及率(数量ベース) を新指標で算出。	ジェネリック 医薬品普及率 80%達成

5. 受診行動適正化指導事業

(1) 保健事業の効果が高い対象者の特定

① 多受診患者の人数把握

多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)は、医療費高額化の要因になっており、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。

重複受診…ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関を受診する

頻回受診…ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診する

重複服薬…ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上である

これらについて、平成28年4月～平成29年3月診療分の12カ月分のレセプトデータを用いて分析した。

以下の通り、重複受診者数を集計した。ひと月平均6人程度の重複受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は68人、実人数は44人である。

重複受診者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複受診者数(人)※	6	2	6	11	3	5	7	7	6	5	4	6
12カ月間の延べ人数											68	
12カ月間の実人数											44	

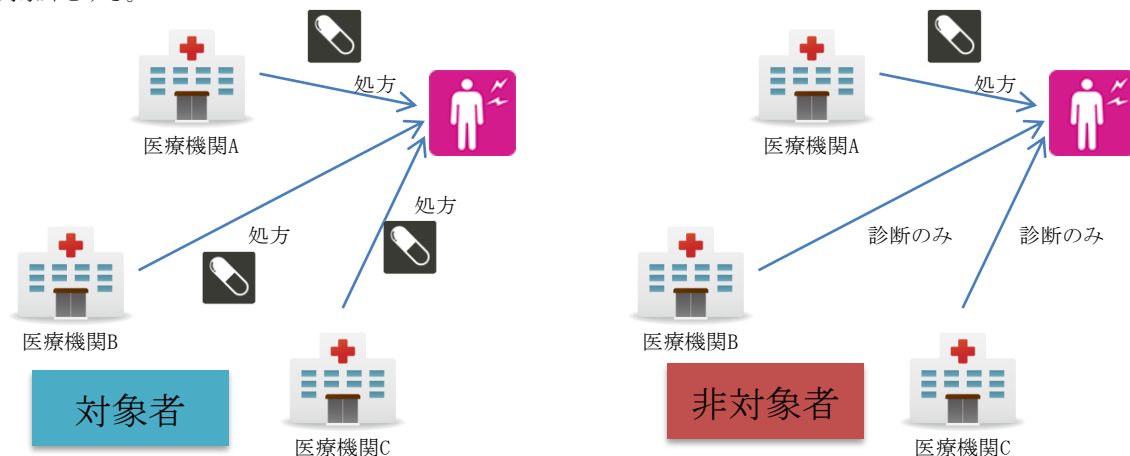
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

株式会社データホライズン特許医療費分解を用いて算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。



同一疾病で投薬治療が3医療機関以上であるため対象とする。

同一疾病で投薬治療が1医療機関であるため対象としない。残り2医療機関は診断がされただけで治療はされていないと判断する。

同一の疾病で複数医療機関を受診している対象者を特定する。このとき、疾病に対して投薬治療がされている医療機関に限定する。これにより、ただレセプトに記載されただけの医療機関を除外することができ、正確な対象者の特定が可能となる。

以下の通り、頻回受診者数を集計した。ひと月平均25人程度の頻回受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は299人、実人数は110人である。

頻回受診者数

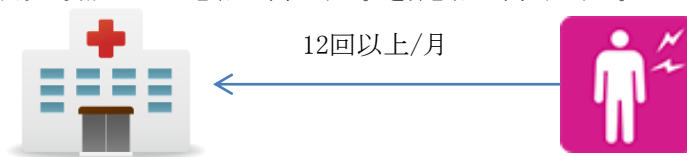
	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
頻回受診者数(人)※	20	24	27	34	21	24	38	26	21	15	20	29
12カ月間の延べ人数											299	
12カ月間の実人数											110	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。



1医療機関において、1カ月間の受診回数が、12回以上である対象者を特定する。このとき、投薬や疾病による判断は行わない。

以下の通り、重複服薬者数を集計した。ひと月平均21人程度の重複服薬者が確認できる。12カ月間の延べ人数は246人、実人数は114人である。

重複服薬者数

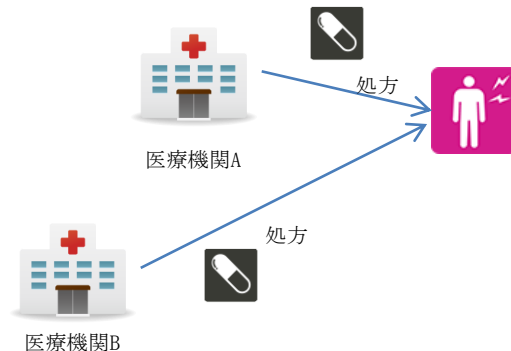
	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
重複服薬者数(人)※	24	15	16	18	18	23	23	21	19	25	23	21
12カ月間の延べ人数											246	
12カ月間の実人数											114	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。



1カ月間に、同一薬効の医薬品の日数合計が60日を超える場合を対象とする(短期処方を除く)。

②事業対象者集団の特定

分析結果より、12カ月間で、重複受診者は44人、頻回受診者は110人、重複服薬者は114人存在する。これらの多受診患者を正しい受診行動に導く必要がある。効果的な事業を実施する上で、まず重要となるのが適切な指導対象者集団を特定することである。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることである。十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、平成28年4月～平成29年3月診療分の12カ月分のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

平成28年4月～平成29年3月診療分の12カ月分のレセプトを対象に、条件設定により算出した多受診患者の人数を以下に示す。

(※重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前項の分析結果より患者数は減少する。)

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I.条件設定による指導対象者の特定	
・重複受診患者 ...1カ月間で同系の疾病を理由 3医療機関以上 受診している患者	
・頻回受診患者 ...1カ月間で 同一医療機関に12回以上 受診している患者	
・重複服薬者 ...1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され 同系医薬品の日数合計が60日を超える 患者	
条件設定により候補者となった患者数	254 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。多受診が必要な医療である可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者について除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II.除外設定		除外理由別 人数	合計人数 (実人数)
除外①	最新被保険者データで資格喪失している患者	0 人	182 人
除外②	がん、難病等 ※	182 人	
除外患者を除き、候補者となった患者数			72 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者72人のうち、指導することで効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。ここではレセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先とし、次に3～4カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者、最後に2カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を対象とした。結果、効果が高い候補者A～候補者Fは11人となった。

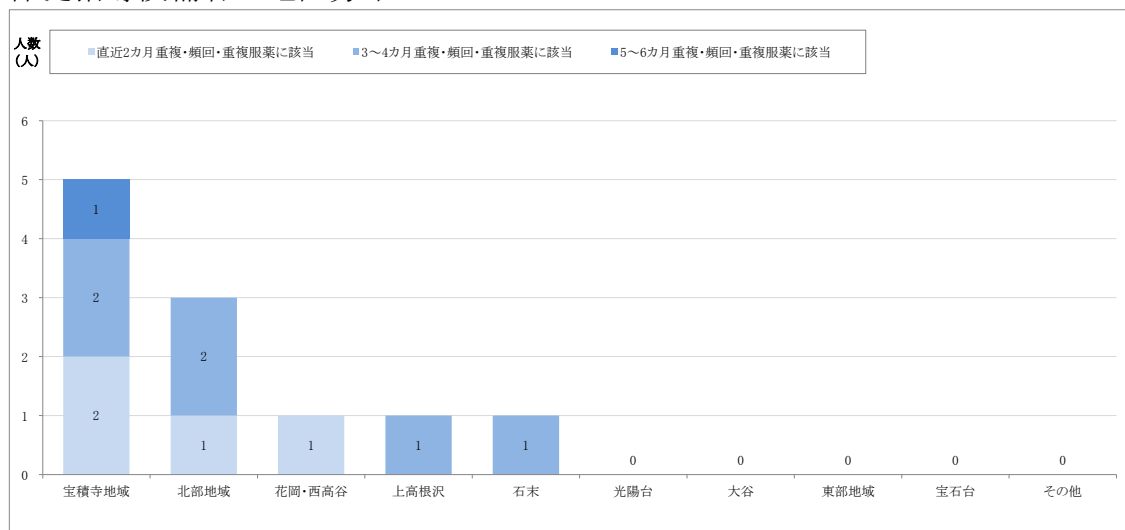
優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 ↓低	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 1人	候補者C 0人	候補者とし ない 61人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 6人	候補者D 0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 3人	候補者F 1人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				11人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数を地区別に示す。

保健指導候補者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

※宝積寺地域は上阿久津・中阿久津・宝積寺、北部地域は飯室・柿木沢・狹間田・平田・伏久・文挾、東部地域は太田・亀梨・給部・栗ヶ島・桑窪・下柏崎・寺渡戸・中柏崎・上柏崎とする。

(2) 実施計画と目標

① 実施計画

平成30年度～平成35年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成30年度	指導対象者に対して適正な医療機関へのかかり方について面談及び電話指導を行う。併せてお薬手帳の活用啓発を行う。
平成31年度 ～ 平成35年度	継続

② 目標

平成35年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
<ul style="list-style-type: none"> ・指導対象者の指導実施率 20% ・指導実施完了者の受診行動適正化 50% ※1 ・指導実施完了者の医療費を指導実施前より50%減少 ※2 	<ul style="list-style-type: none"> ・重複・頻回受診者数、重複服薬者数20%減少

※1 受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で受診行動が適正化された人数の割合。

※2 受診行動適正化指導を実施することにより、指導前と指導後で指導実施完了者の医療費が削減された割合。

(3) 成果の確認方法

指導を行ったことによる成果を以下方法にて確認する。

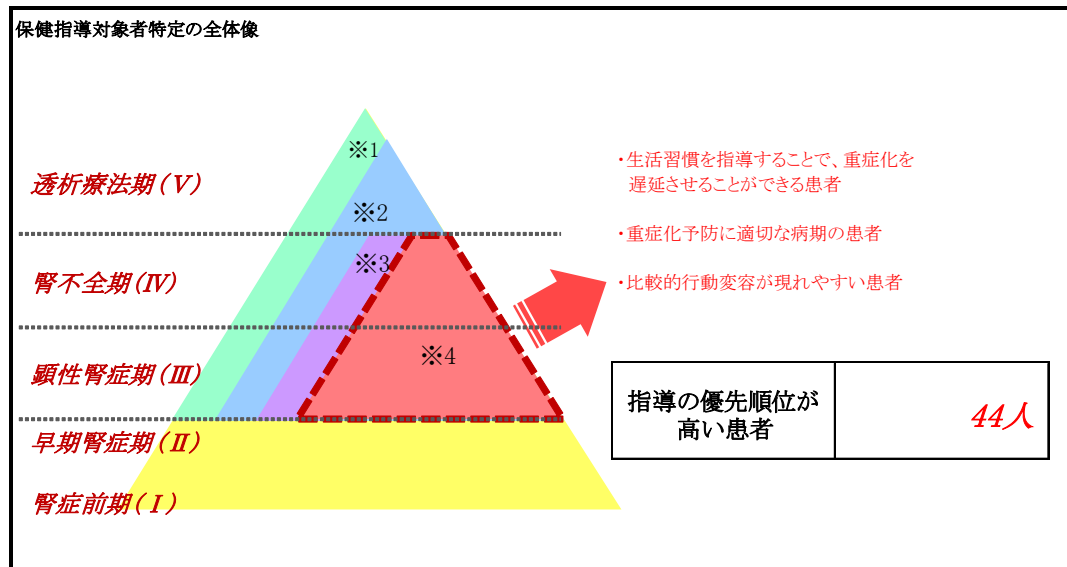
	評価基準	方法	詳細	成果目標
1	指導実施率	対象者のうち指導を完了した人数より算出する。	-	指導実施率 20%
2	指導完了後の受診行動適正化率	指導実施者の医療費を、指導前と指導後で比較する。	受診頻度、受診医療機関数、薬剤の投与数を比較。 指導前後のひと月当たりの医療費を比較。	指導完了後の医療費が、指導前と比較して 50%減少

6. 糖尿病性腎症重症化予防事業

(1) 事業候補者の特定

糖尿病性腎症重症化指導対象者は、44人である。これらの対象者に将来、人工透析に至らせないための生活習慣改善を中心とした指導を行う。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

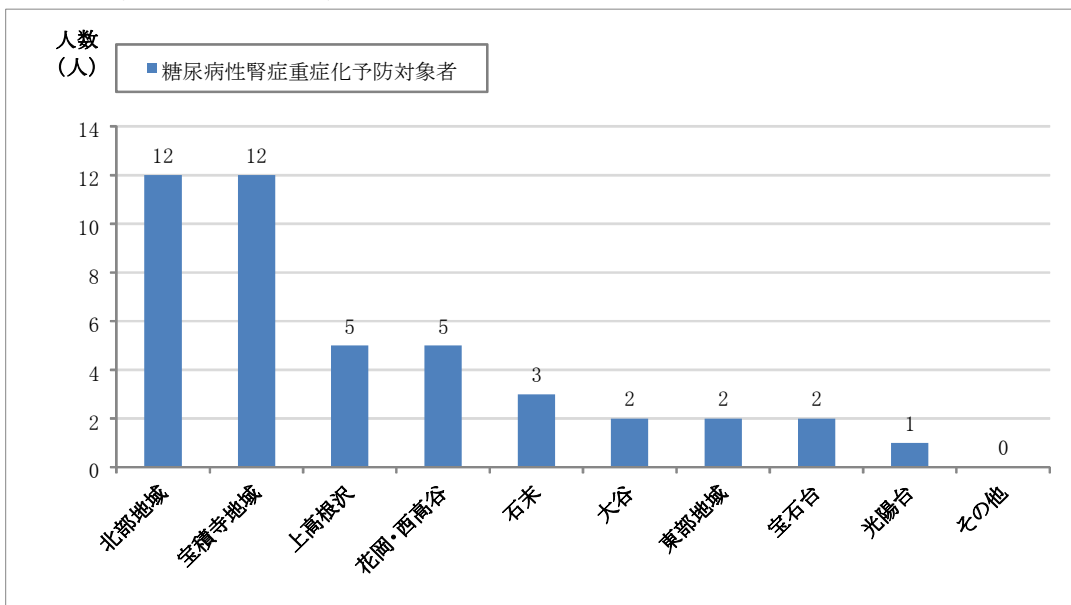
※2…I型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

指導の優先順位が高い患者を地区別に示す。

保健指導対象者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※宝積寺地域は上阿久津・中阿久津・宝積寺、北部地域は飯室・柿木沢・狭間田・平田・伏久・文挾、東部地域は太田・亀梨・給部・栗ヶ島・桑窪・下柏崎・寺渡戸・中柏崎・上柏崎とする。

(2) 実施計画と目標

① 実施計画

平成30年度～平成35年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成30年度	特定健診異常値者への医療機関受診勧奨を行い、特に高血糖かつ尿蛋白が陽性のものにおいては、受診の有無を確認する。また、栄養教室や栄養相談を開催する。
平成31年度 ～ 平成35年度	栃木県の糖尿病性腎症重症化予防プログラムに合わせた事業を行う。

② 目標

平成35年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
特定健診要精密検査者への医療機関受診勧奨率 100%	血糖値異常値者の医療機関受診率 50%

(3) 成果の確認方法

指導を行ったことによる成果を以下方法で確認する。

	評価基準	方法	詳細	成果目標
1	対象者への受診勧奨率	対象者のうち受診勧奨を行った人数より算出する。	-	受診勧奨率 100%
2	血糖値異常値者の医療機関受診率	対象者のうち治療を受けた人数より算出する。	レセプトから、勧奨後に治療を受けたかを確認する。	医療機関受診率 70%

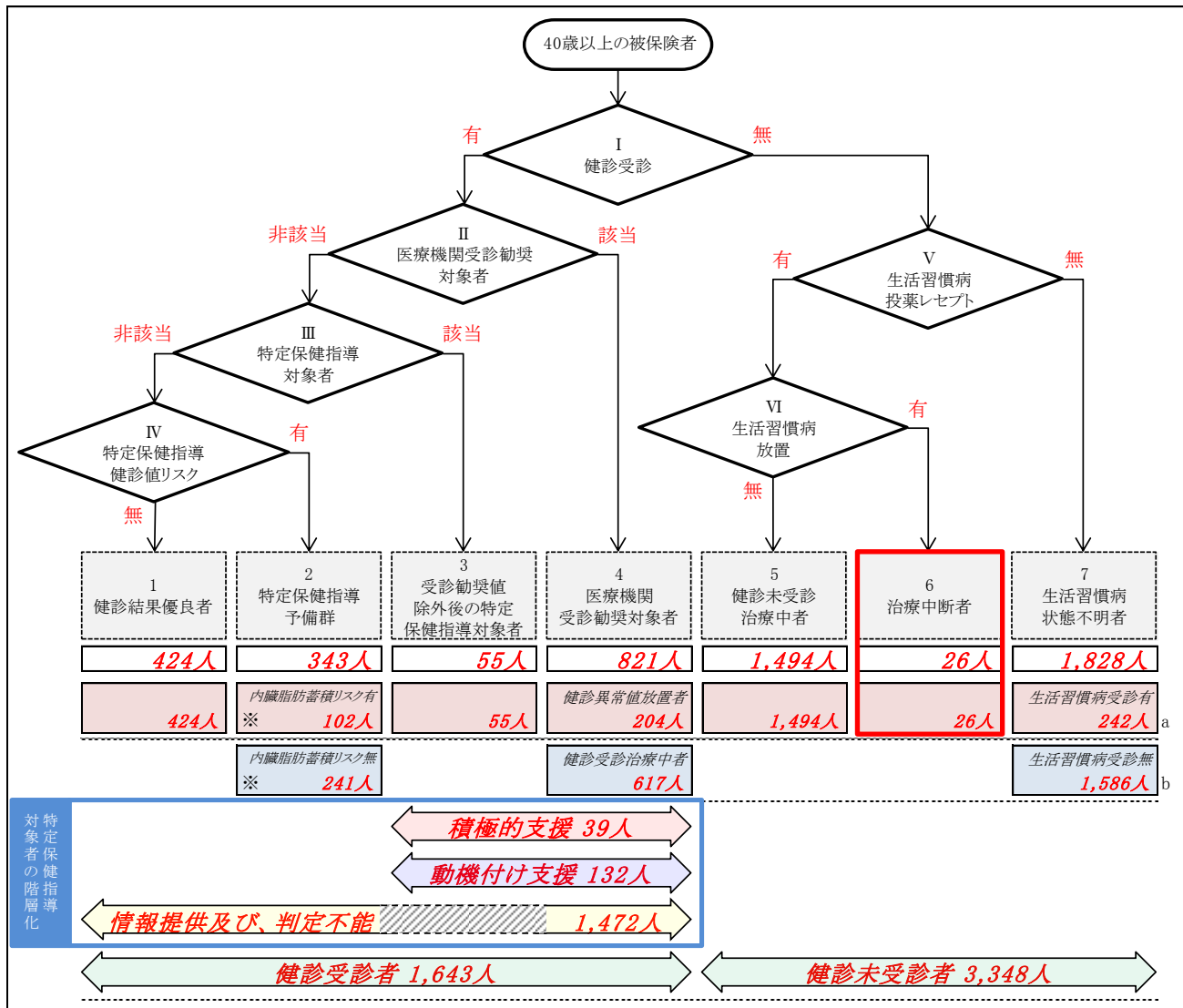
7. 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

(1) 保健事業の効果が高い対象者の特定

① 事業候補者の把握

特定健診を受ける必要がある40歳以上で、生活習慣病投薬レセプトがあるが、定期的な受診を中断した人が、本事業の対象となる。

健診及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…平成29年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

②事業対象者集団の特定

前項の分析において治療中断が発生している患者40人が対象となる。かつて生活習慣病で治療を行っていたにもかかわらず、現在医療機関への受診を行っていないため、将来、生活習慣病が重篤化する恐れが強い。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I.条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	26 人
	上記以外のグループ	14 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		40 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられる。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II.除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	6 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		34 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者34人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。生活習慣病治療中断者の判定は、過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を特定する。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ.優先順位				
↑高 効果 低↓	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 3人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 1人	候補者B2 2人	候補者B3 2人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 2人	候補者C2 19人	候補者C3 5人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				34人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

(2) 実施計画と目標

① 実施計画

平成30年度～平成35年度に下記内容を実施することとする。

実施年度	計画内容
平成30年度	生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送する。通知後に医療機関受診があるか確認。受診がない対象者にはフォローを行う。
平成31年度 ～ 平成35年度	継続

② 目標

平成35年度末達成を目標とし、アウトプット・アウトカムを下記の通り設定する。

アウトプット	アウトカム
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者への通知率 100% ・対象者の医療機関受診率 20% ※ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病治療中断者数 20%減少

※ 受診勧奨を実施することにより、通知後、医療機関へ受診した人数の割合。

(3) 成果の確認方法

指導を行ったことによる成果を以下方法にて確認する。

	評価基準	方法	詳細	成果目標
1	医療機関受診率	通知後、医療機関を受診したか確認する。	医療機関において、生活習慣病に関連するレセプトが有るか確認する。	医療機関受診率 20%

V. その他

1. データヘルス計画の公表・周知

本計画は、広報、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図り、特定健康診査及び特定保健指導の実績(個人情報に関する部分を除く)、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施、目標達成等について広く意見を求めるものとする。

2. 事業運営上の留意事項

(1) 各種検(健)診等の連携

特定健診の実施に当たっては、健康増進法及び介護保険法に基づき実施する検(健)診等についても可能な限り連携して実施するものとする。

(2) 健康づくり事業との連携

特定健康診査・特定保健指導は、被保険者のうち40歳から74歳までの方が対象になる。しかし、生活習慣病予防のためには、40歳より若い世代へ働きかけ、生活習慣病のリスクの周知や日々の生活スタイルを見直していくことが重要になる。そのためには、関係部署が実施する保健事業とも連携しながら、生活習慣病予防を推進していく必要がある。

3. 個人情報の保護

特定健康診査及び特定保健指導に関わる個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」「国民健康保険組合における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」「高根沢町情報公開及び個人情報保護に関する条例」「情報セキュリティーポリシー」に基づき管理する。

また、特定健康診査及び特定保健指導にかかわる業務を外部に委託する際も同様に取り扱われるよう委託契約書に定めるものとする。

VI. 資料編

1. 疾病別医療費統計

(1) 大分類による疾病別医療費統計

① 入院・入院外比較

高根沢町国民健康保険における、疾病別医療費統計を入院・入院外別に示す。

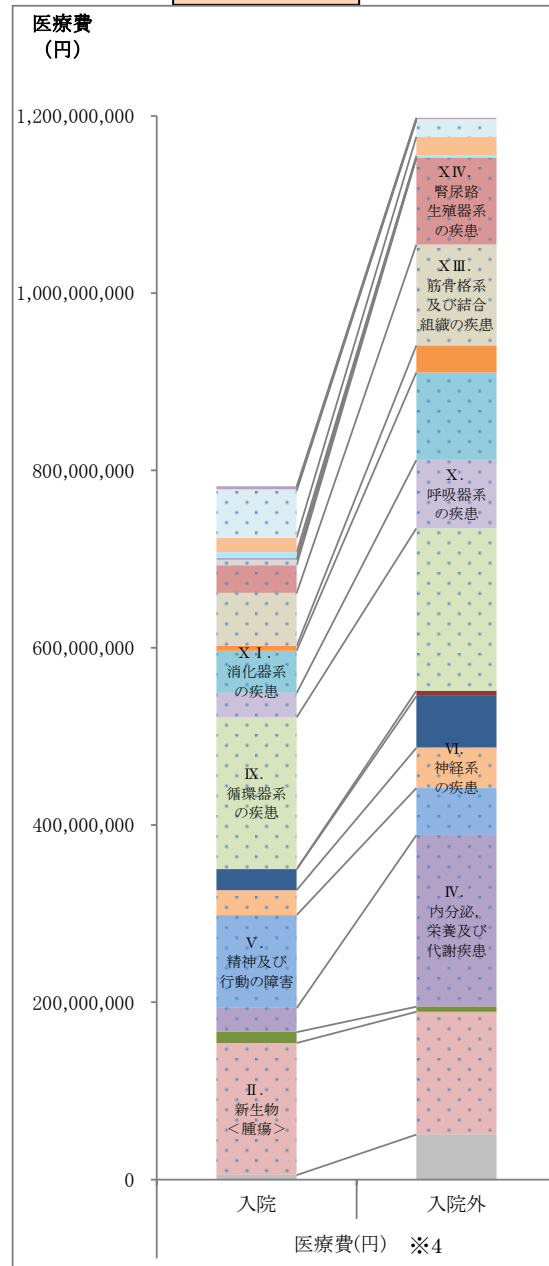
大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※4	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	5,002,371	50,733,891
II. 新生物<腫瘍>	148,784,992	138,337,150
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12,410,092	6,007,864
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	27,199,912	193,347,093
V. 精神及び行動の障害	104,855,479	53,100,834
VI. 神経系の疾患	28,044,181	45,517,286
VII. 眼及び付属器の疾患	23,512,179	58,359,002
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	422,360	5,778,219
IX. 循環器系の疾患	170,930,015	183,323,093
X. 呼吸器系の疾患	27,561,105	77,112,375
X I. 消化器系の疾患 ※1	47,563,817	98,717,381
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,416,313	30,458,811
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	59,842,968	113,920,041
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	31,320,327	97,701,742
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	6,180,492	495,524
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	2,095,161	10,538
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	6,385,354	2,149,401
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	16,099,940	21,261,970
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	53,056,414	18,745,682
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,734,966	1,347,868
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	3,465,422	1,284,435
合計	781,883,860	1,197,710,200



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

②男性・女性比較

高根沢町国民健康保険における、疾病別医療費を男女別に示す。

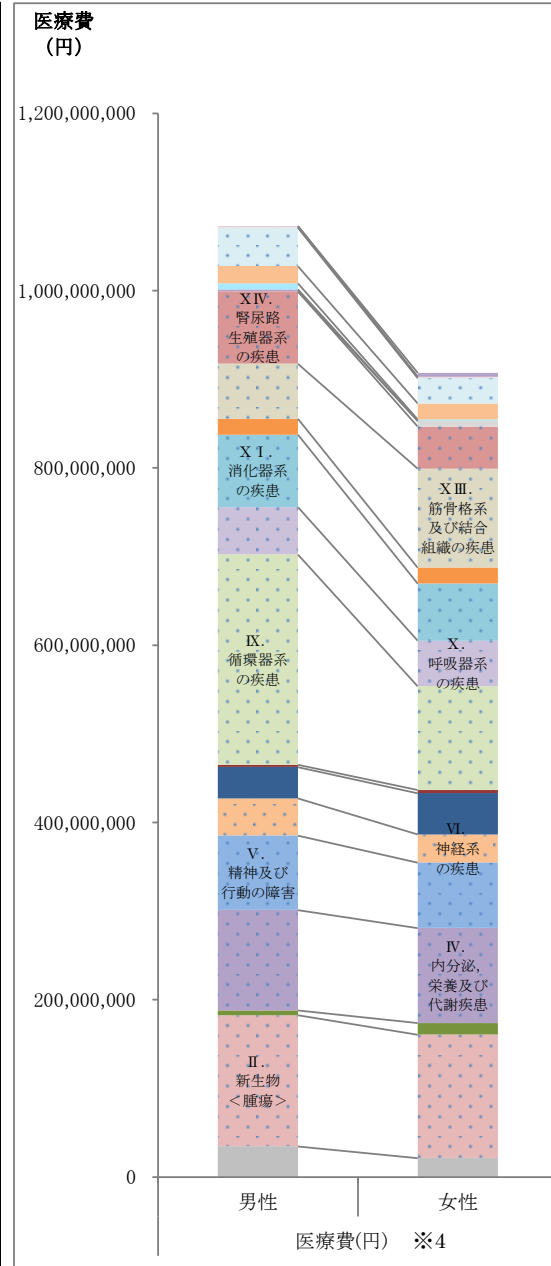
大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※4	
	男性	女性
I. 感染症及び寄生虫症	34,478,375	21,257,887
II. 新生物<腫瘍>	147,935,069	139,187,073
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,280,406	13,137,550
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	113,411,535	107,135,470
V. 精神及び行動の障害	84,013,275	73,943,038
VI. 神経系の疾患	41,845,193	31,716,274
VII. 眼及び付属器の疾患	35,412,056	46,459,125
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,526,301	3,674,278
IX. 循環器系の疾患	237,331,228	116,921,880
X. 呼吸器系の疾患	53,239,280	51,434,200
X I. 消化器系の疾患 ※1	81,760,026	64,521,172
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	17,995,148	17,879,976
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	62,150,635	111,612,374
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	81,628,398	47,393,671
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	519	6,675,497
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	2,095,161	10,538
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	6,962,361	1,572,394
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	19,390,459	17,971,451
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	43,165,040	28,637,056
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,679,588	1,403,246
X X II. 特殊目的用コード	0	0
分類外	354,187	4,395,670
合計	1,072,654,240	906,939,820



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

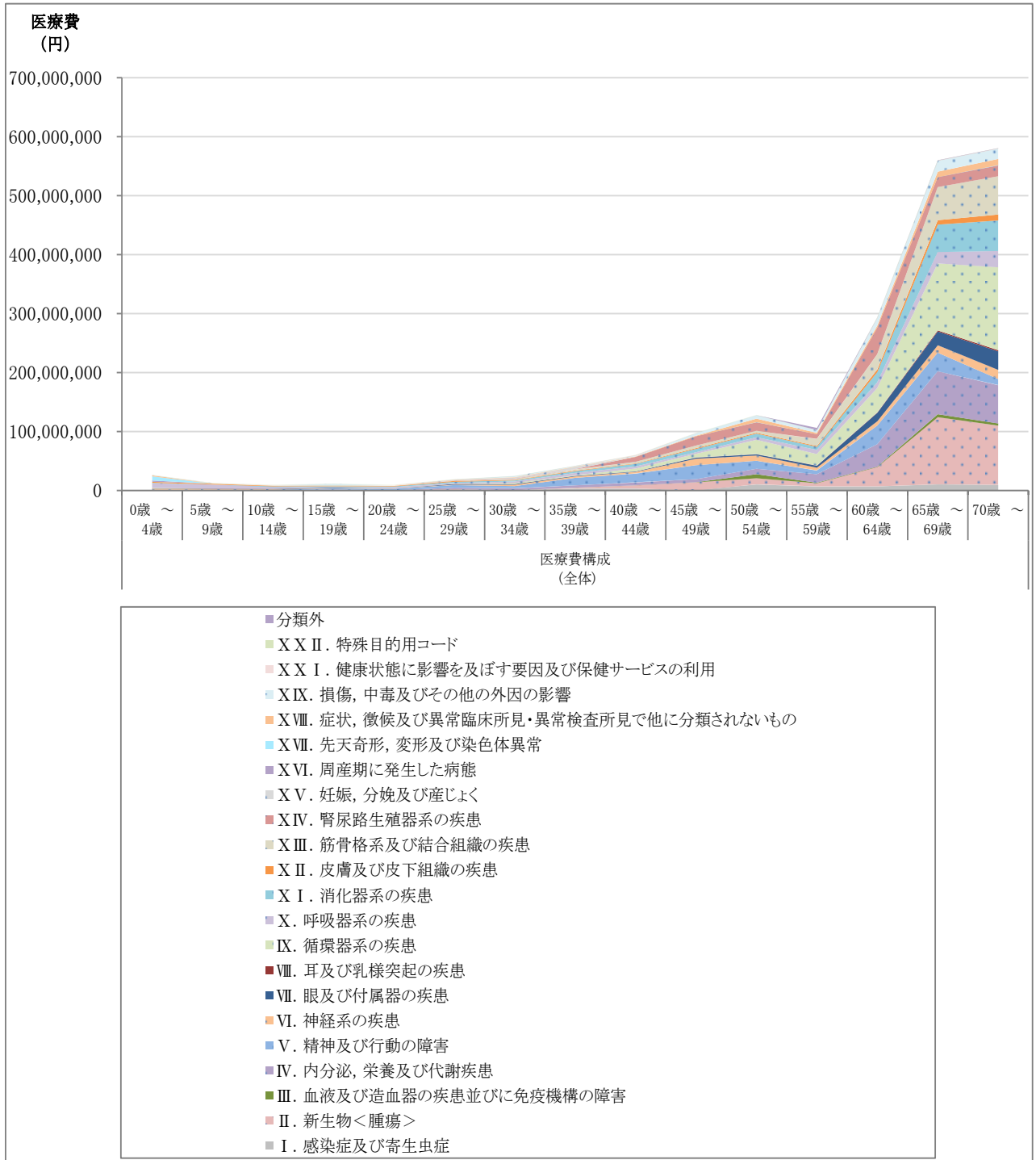
※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

③年齢階層別比較

高根沢町国民健康保険における、疾病別医療費と疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(全体)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

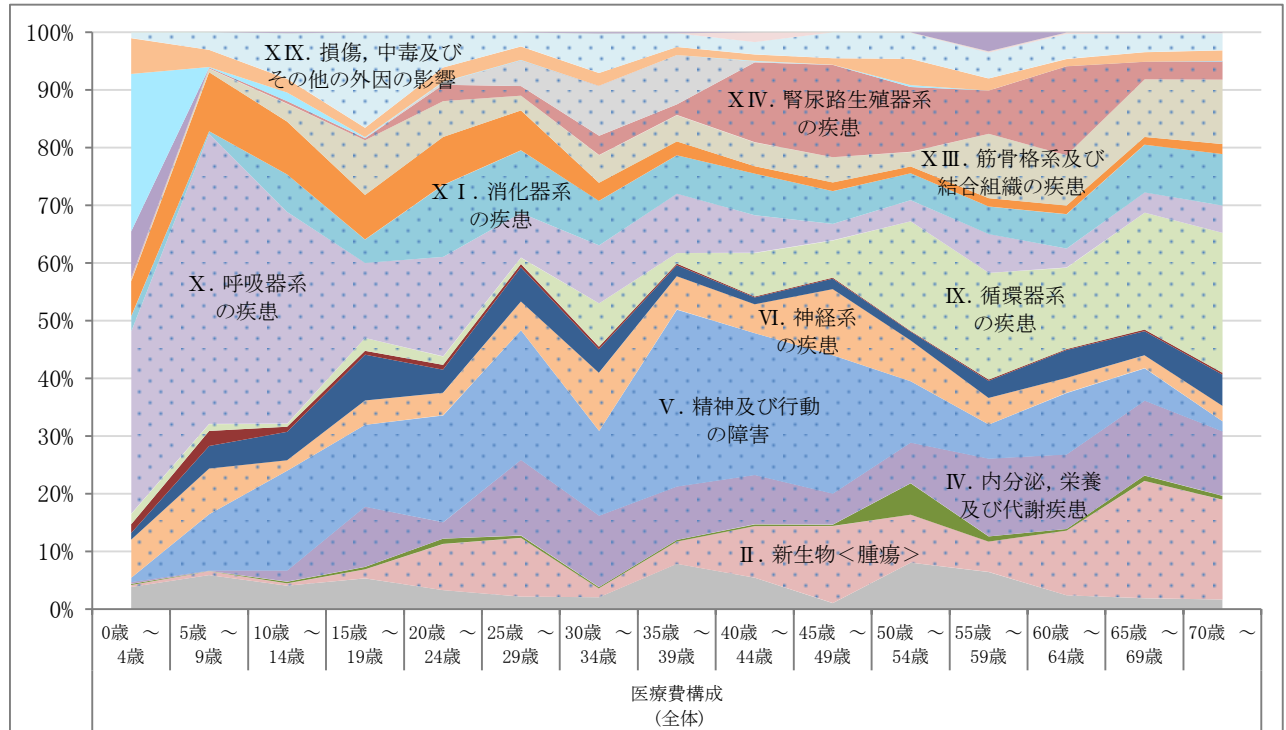
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(全体)



- 分類外
- X X II. 特殊目的用コード
- X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- X VI. 周産期に発生した病態
- X V. 妊娠、分娩及び産じよく
- X IV. 腎尿路生殖器系の疾患
- X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
- X I. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

高根沢町国民健康保険における疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(全体)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳 ～ 4歳	X. 呼吸器系の疾患	X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	X VI. 周産期に発生した病態	VI. 神経系の疾患	X VII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
5歳 ～ 9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
10歳 ～ 14歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	X I. 消化器系の疾患
15歳 ～ 19歳	X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患
20歳 ～ 24歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>
25歳 ～ 29歳	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X. 呼吸器系の疾患
30歳 ～ 34歳	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	X V. 妊娠, 分娩及び産じょく
35歳 ～ 39歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X V. 妊娠, 分娩及び産じょく	I. 感染症及び寄生虫症
40歳 ～ 44歳	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	IX. 循環器系の疾患
45歳 ～ 49歳	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	VI. 神経系の疾患	IX. 循環器系の疾患
50歳 ～ 54歳	IX. 循環器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>	I. 感染症及び寄生虫症
55歳 ～ 59歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	X. 呼吸器系の疾患
60歳 ～ 64歳	X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害
65歳 ～ 69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
70歳 ～	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

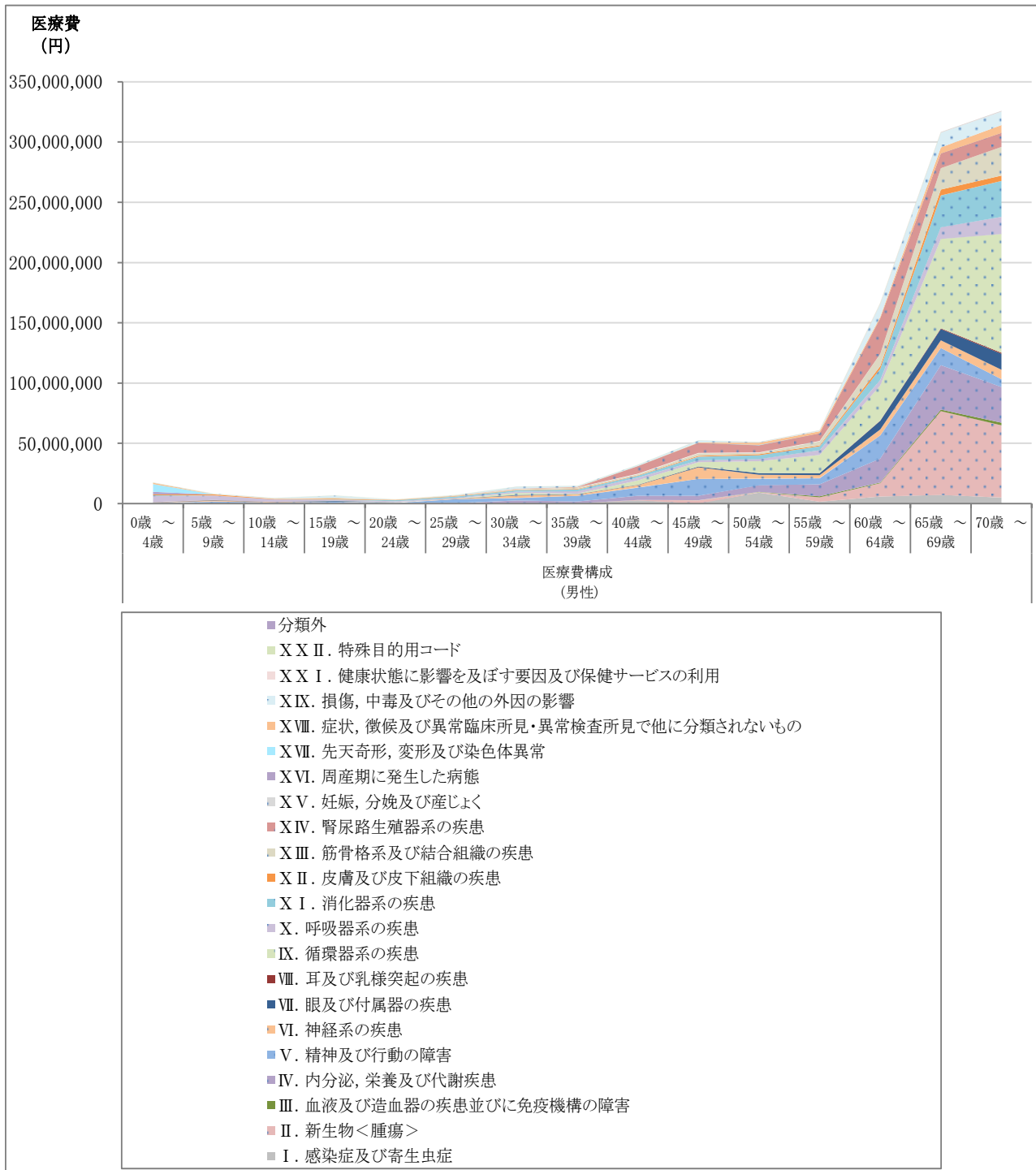
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

高根沢町国民健康保険の男性における、疾病別医療費と疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(男性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

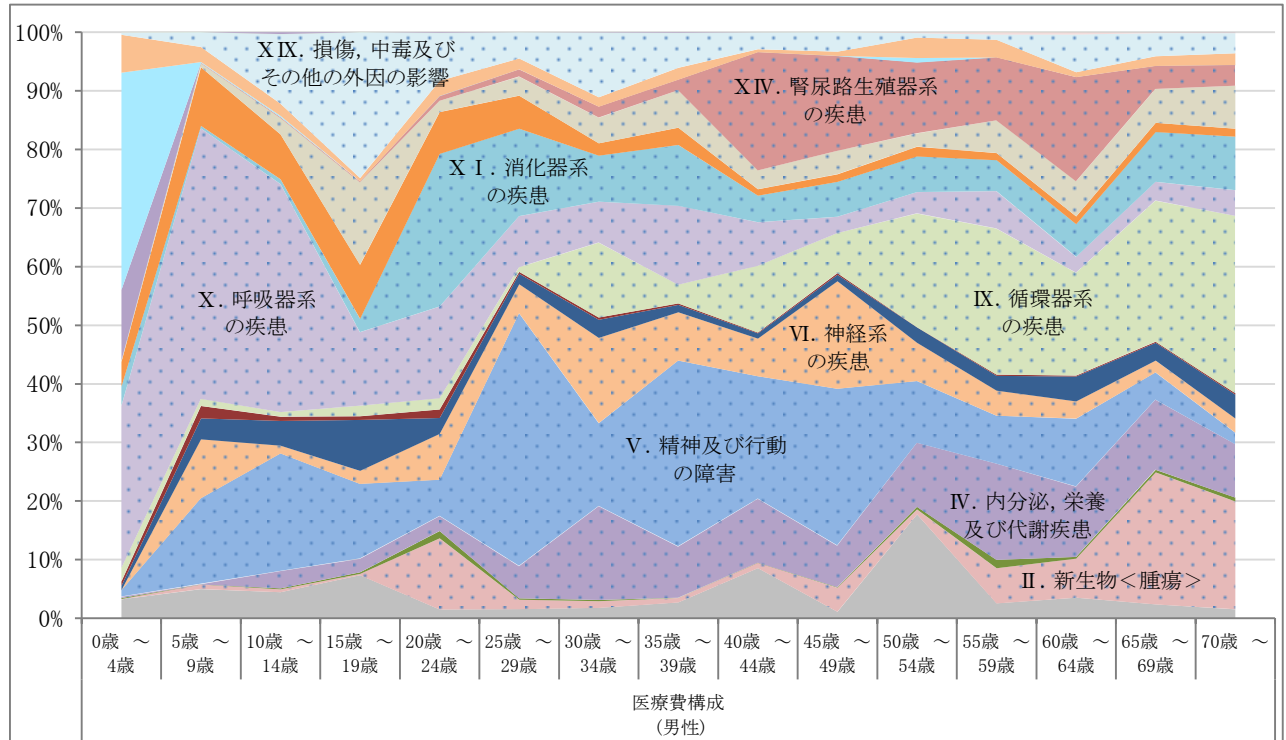
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(男性)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠、分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

高根沢町国民健康保険における疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(男性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	X. 呼吸器系の疾患	XVI. 周産期に発生した病態	XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
15歳～19歳	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
20歳～24歳	XI. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	VI. 神経系の疾患
25歳～29歳	V. 精神及び行動の障害	XI. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	XII. 皮膚及び皮下組織の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
30歳～34歳	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
35歳～39歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	VI. 神経系の疾患
40歳～44歳	V. 精神及び行動の障害	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	I. 感染症及び寄生虫症
45歳～49歳	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	IX. 循環器系の疾患
50歳～54歳	IX. 循環器系の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	V. 精神及び行動の障害
55歳～59歳	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患
60歳～64歳	XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>
65歳～69歳	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XI. 消化器系の疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
70歳～	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	XI. 消化器系の疾患	IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

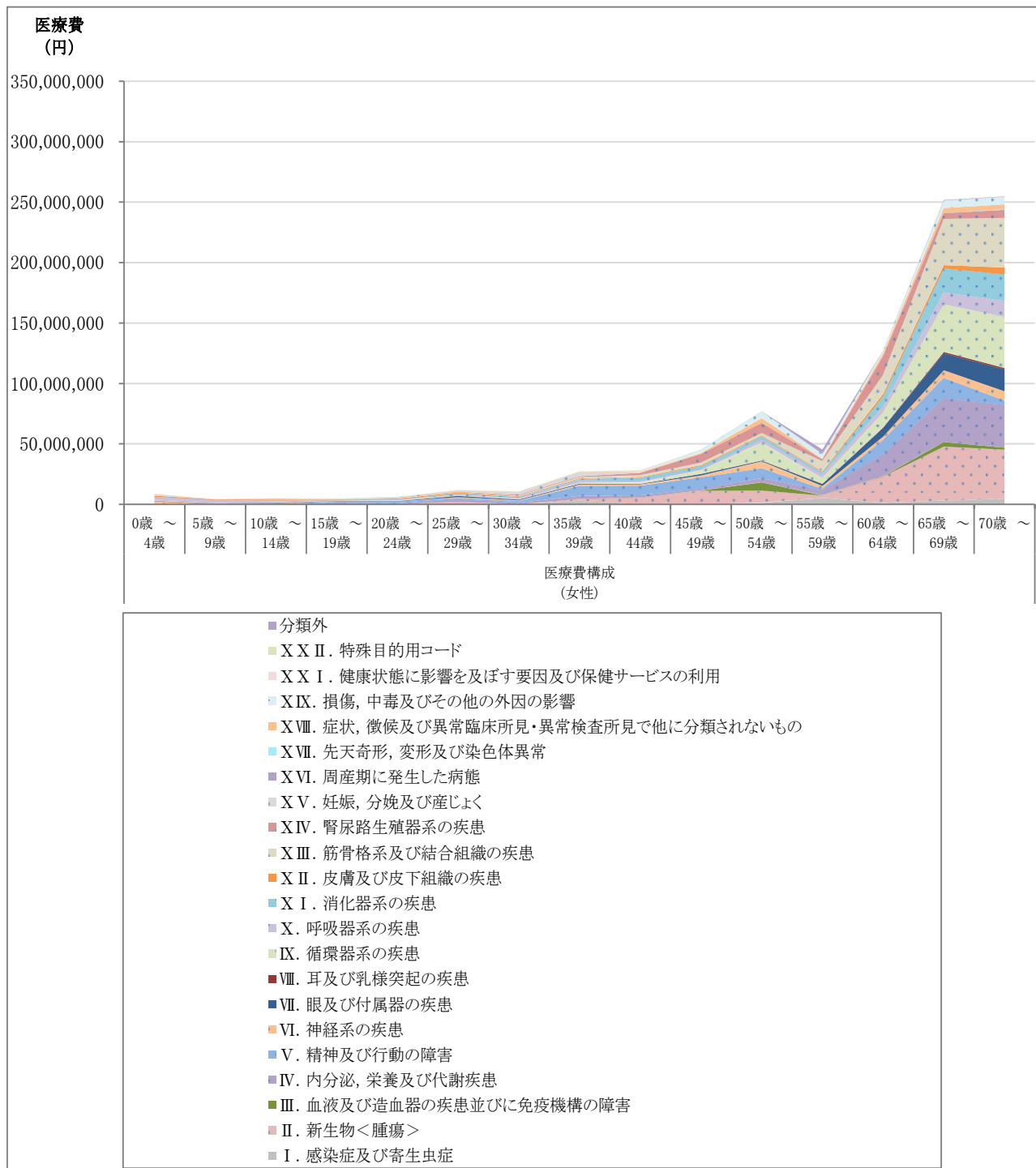
資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…菌科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

高根沢町国民健康保険の女性における、疾病別医療費と疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(女性)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

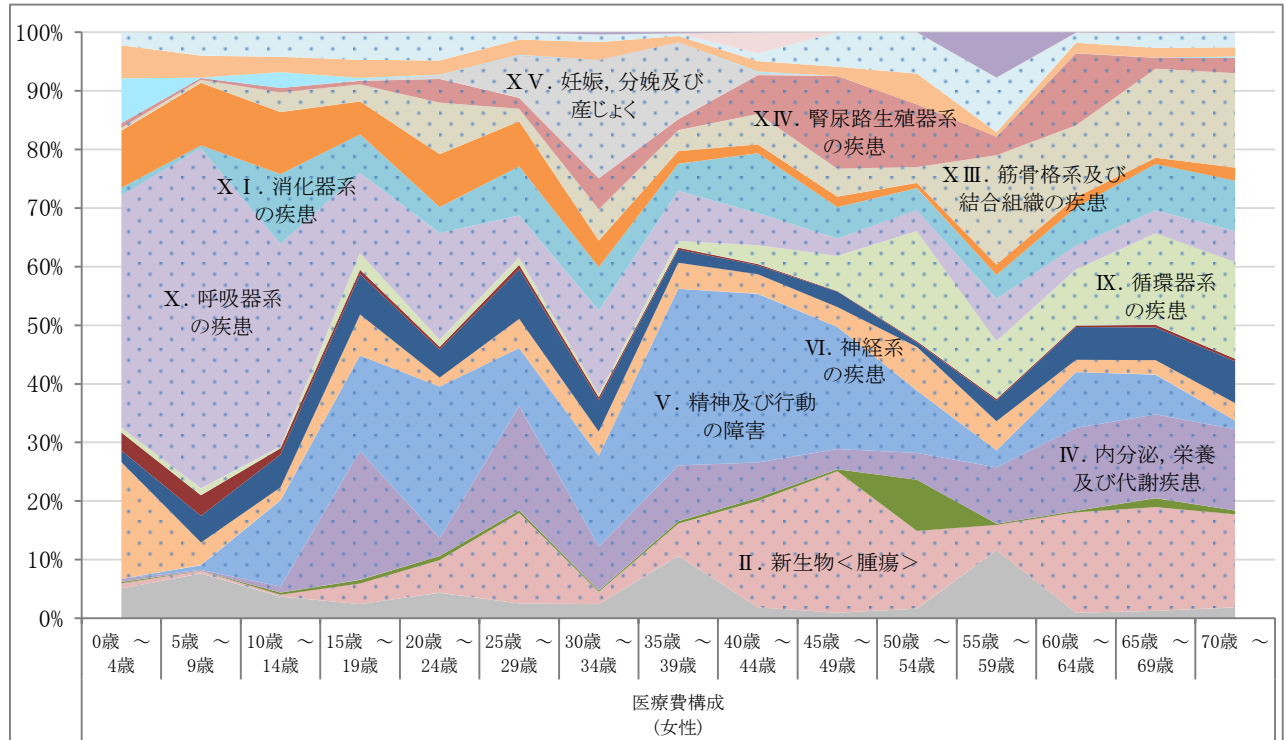
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(女性)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠、分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

高根沢町国民健康保険における疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「循環器系の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(女性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳 ～ 4歳	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	X VII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
5歳 ～ 9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	VII. 眼及び付属器の疾患	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
10歳 ～ 14歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患
15歳 ～ 19歳	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	VI. 神経系の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患
20歳 ～ 24歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>
25歳 ～ 29歳	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	VII. 眼及び付属器の疾患	X I. 消化器系の疾患
30歳 ～ 34歳	X V. 妊娠、分娩及び産じょく	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患
35歳 ～ 39歳	V. 精神及び行動の障害	X V. 妊娠、分娩及び産じょく	I. 感染症及び寄生虫症	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X. 呼吸器系の疾患
40歳 ～ 44歳	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
45歳 ～ 49歳	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
50歳 ～ 54歳	IX. 循環器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
55歳 ～ 59歳	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
60歳 ～ 64歳	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IX. 循環器系の疾患
65歳 ～ 69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患
70歳 ～	IX. 循環器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

④地区比較

地区毎に集計した。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【宝石台】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,004,653	7.5%	6	419	10	123	7	48,818	9
II. 新生物<腫瘍>	8,866,965	11.1%	3	390	12	115	10	77,104	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	165,828	0.2%	17	121	16	37	14	4,482	19
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	11,781,773	14.8%	1	1,538	1	158	3	74,568	4
V. 精神及び行動の障害	2,329,695	2.9%	12	347	13	32	16	72,803	5
VI. 神経系の疾患	3,476,372	4.4%	10	692	7	69	12	50,382	8
VII. 眼及び付属器の疾患	5,454,232	6.8%	7	748	6	121	8	45,076	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	477,345	0.6%	15	118	17	34	15	14,040	16
IX. 循環器系の疾患	11,749,838	14.7%	2	1,473	2	149	4	78,858	2
X. 呼吸器系の疾患	4,849,348	6.1%	8	854	4	182	2	26,645	13
X I. 消化器系の疾患 ※1	6,743,777	8.5%	4	1,306	3	200	1	33,719	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,457,419	1.8%	14	512	8	138	5	10,561	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6,620,814	8.3%	5	839	5	130	6	50,929	7
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	3,110,734	3.9%	11	403	11	73	11	42,613	11
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	15,514	0.0%	20	2	20	1	20	15,514	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	199,490	0.3%	16	1	21	1	20	199,490	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	6,957	0.0%	21	5	19	2	19	3,479	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,746,276	2.2%	13	481	9	117	9	14,925	15
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	4,447,856	5.6%	9	147	14	62	13	71,740	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	77,498	0.1%	19	128	15	22	17	3,523	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	114,006	0.1%	18	79	18	15	18	7,600	18
合計	79,696,390			4,642		349		228,356	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【光陽台】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,000,027	1.6%	14	494	11	159	7	12,579	14
II. 新生物<腫瘍>	14,036,473	11.6%	3	385	13	120	10	116,971	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	192,619	0.2%	16	115	17	39	16	4,939	18
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	12,767,041	10.5%	4	1,803	2	212	3	60,222	5
V. 精神及び行動の障害	16,320,212	13.5%	2	672	8	63	14	259,051	1
VI. 神経系の疾患	4,833,767	4.0%	10	843	6	89	12	54,312	6
VII. 眼及び付属器の疾患	5,178,934	4.3%	9	703	7	160	6	32,368	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	488,622	0.4%	15	131	15	48	15	10,180	16
IX. 循環器系の疾患	26,649,239	22.0%	1	1,854	1	195	4	136,663	2
X. 呼吸器系の疾患	5,811,740	4.8%	8	1,089	4	260	1	22,353	12
X I. 消化器系の疾患 ※1	9,223,190	7.6%	5	1,423	3	242	2	38,112	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,156,715	1.8%	13	619	9	174	5	12,395	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,401,139	6.9%	6	889	5	158	8	53,172	7
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	8,369,526	6.9%	7	438	12	91	11	91,973	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	132,199	0.1%	17	10	19	5	19	26,440	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	14,553	0.0%	20	7	20	4	20	3,638	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,345,515	1.9%	11	559	10	157	9	14,940	13
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,170,256	1.8%	12	217	14	84	13	25,836	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	48,571	0.0%	19	124	16	16	17	3,036	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	102,412	0.1%	18	72	18	16	17	6,401	17
合計	121,242,750			5,940		470		257,963	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【宝積寺地域】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	21,570,176	3.8%	10	1,856	12	533	9	40,469	13
II. 新生物<腫瘍>	89,789,355	16.0%	2	1,730	13	500	10	179,579	2
III. 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	1,806,896	0.3%	17	552	17	177	16	10,208	20
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	60,387,703	10.7%	3	8,507	2	897	3	67,322	8
V. 精神及び行動の障害	43,072,364	7.7%	6	2,462	9	244	14	176,526	3
VI. 神経系の疾患	15,213,133	2.7%	12	3,316	7	401	11	37,938	14
VII. 眼及び付属器の疾患	27,056,836	4.8%	9	3,676	6	658	6	41,120	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,836,215	0.3%	16	588	16	178	15	10,316	19
IX. 循環器系の疾患	93,738,550	16.7%	1	8,626	1	848	4	110,541	7
X. 呼吸器系の疾患	27,583,601	4.9%	8	4,162	5	957	2	28,823	15
X I. 消化器系の疾患 ※1	40,225,397	7.2%	7	6,910	3	985	1	40,838	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	10,068,420	1.8%	13	2,666	8	635	7	15,856	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	44,471,666	7.9%	5	5,524	4	779	5	57,088	9
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	52,141,498	9.3%	4	1,962	11	363	12	143,640	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	2,778,270	0.5%	15	34	19	18	19	154,348	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	1,793,591	0.3%	18	2	21	2	21	896,796	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	999,145	0.2%	20	30	20	9	20	111,016	6
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,256,609	1.5%	14	2,222	10	593	8	13,923	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	17,961,741	3.2%	11	929	14	339	13	52,984	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,337,654	0.2%	19	897	15	116	17	11,532	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	348,290	0.1%	21	263	18	55	18	6,333	21
合計	562,437,110			24,649		1,720		326,998	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【石末】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,742,432	1.1%	14	610	12	206	8	13,313	17
II. 新生物<腫瘍>	51,370,480	20.2%	1	657	11	185	10	277,678	3
III. 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	1,221,481	0.5%	16	232	16	75	15	16,286	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	22,326,861	8.8%	4	3,425	2	323	4	69,123	7
V. 精神及び行動の障害	22,777,234	9.0%	3	988	9	81	14	281,200	2
VI. 神経系の疾患	8,863,244	3.5%	10	1,551	6	160	11	55,395	10
VII. 眼及び付属器の疾患	7,825,534	3.1%	11	1,242	7	227	7	34,474	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	609,007	0.2%	17	183	17	67	16	9,090	18
IX. 循環器系の疾患	43,282,696	17.0%	2	3,717	1	326	3	132,769	6
X. 呼吸器系の疾患	9,273,042	3.6%	9	1,647	5	351	2	26,419	14
X I. 消化器系の疾患 ※1	18,422,926	7.2%	6	2,859	3	373	1	49,391	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,359,524	2.1%	13	1,035	8	245	6	21,876	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18,490,156	7.3%	5	2,194	4	290	5	63,759	8
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	17,068,044	6.7%	7	588	13	116	12	147,138	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	1,743,947	0.7%	15	20	20	4	20	435,987	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	112,618	0.0%	19	3	21	2	21	56,309	9
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	52,125	0.0%	21	52	19	14	19	3,723	21
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,268,736	2.5%	12	885	10	206	8	30,431	13
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	15,946,255	6.3%	8	350	14	105	13	151,869	4
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	283,266	0.1%	18	282	15	46	17	6,158	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	73,652	0.0%	20	79	18	16	18	4,603	20
合計	254,113,260			9,737		633		401,443	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【大谷】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	610,344	0.9%	14	184	12	61	8	10,006	16
II. 新生物<腫瘍>	5,830,985	8.3%	6	183	13	46	11	126,761	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	354,439	0.5%	15	33	17	16	16	22,152	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	6,015,898	8.6%	5	1,235	2	108	3	55,703	9
V. 精神及び行動の障害	1,973,965	2.8%	12	255	10	21	14	93,998	6
VI. 神経系の疾患	6,165,881	8.8%	4	704	4	57	10	108,173	5
VII. 眼及び付属器の疾患	2,238,635	3.2%	11	493	7	74	6	30,252	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	83,383	0.1%	16	48	15	19	15	4,389	19
IX. 循環器系の疾患	14,135,855	20.2%	1	1,546	1	113	2	125,096	4
X. 呼吸器系の疾患	2,807,888	4.0%	8	578	6	114	1	24,631	13
X I. 消化器系の疾患 ※1	4,209,509	6.0%	7	988	3	93	4	45,264	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,628,318	3.8%	9	391	8	73	7	36,004	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	10,755,698	15.4%	2	674	5	82	5	131,167	2
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	2,444,213	3.5%	10	154	14	41	13	59,615	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	63,250	0.1%	17	2	20	1	20	63,250	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	28,556	0.0%	18	15	18	4	19	7,139	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,191,888	1.7%	13	289	9	60	9	19,865	15
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	8,422,458	12.0%	3	197	11	44	12	191,420	1
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,587	0.0%	20	47	16	7	17	1,084	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	23,570	0.0%	19	10	19	5	18	4,714	18
合計	69,992,320			3,445		212		330,152	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【花岡・西高谷】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,739,048	1.2%	13	521	11	149	9	11,671	18
II. 新生物<腫瘍>	13,285,585	9.3%	4	454	12	141	10	94,224	5
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	824,569	0.6%	15	166	15	47	15	17,544	13
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	18,278,532	12.7%	2	2,348	2	225	3	81,238	7
V. 精神及び行動の障害	6,118,914	4.3%	8	563	9	53	14	115,451	4
VI. 神経系の疾患	9,867,048	6.9%	7	751	6	84	13	117,465	3
VII. 眼及び付属器の疾患	4,907,663	3.4%	9	729	7	151	6	32,501	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	466,639	0.3%	16	160	16	43	16	10,852	19
IX. 循環器系の疾患	37,779,039	26.3%	1	2,578	1	220	4	171,723	2
X. 呼吸器系の疾患	10,112,473	7.0%	6	1,124	5	234	1	43,216	9
X I. 消化器系の疾患 ※1	12,166,929	8.5%	5	2,046	3	230	2	52,900	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,570,239	1.8%	11	586	8	150	7	17,135	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	17,751,761	12.4%	3	1,432	4	194	5	91,504	6
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	2,149,844	1.5%	12	417	13	89	12	24,156	11
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	340,909	0.2%	17	2	20	1	20	340,909	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	179,582	0.1%	19	41	19	11	18	16,326	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,452,381	2.4%	10	537	10	150	7	23,016	12
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	1,262,658	0.9%	14	262	14	99	11	12,754	17
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	290,162	0.2%	18	152	17	22	17	13,189	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	70,985	0.0%	20	54	18	11	18	6,453	20
合計	143,614,960			6,155		428		335,549	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【北部地域】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,407,580	3.3%	11	1,044	12	315	9	33,040	14
II. 新生物<腫瘍>	18,735,762	5.9%	7	891	13	270	10	69,392	8
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,572,484	0.8%	16	340	16	113	15	22,765	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	45,602,296	14.4%	2	5,508	2	505	2	90,302	6
V. 精神及び行動の障害	25,214,109	8.0%	5	1,435	8	134	14	188,165	2
VI. 神経系の疾患	10,484,920	3.3%	10	2,113	6	212	11	49,457	11
VII. 眼及び付属器の疾患	12,889,540	4.1%	9	1,835	7	335	7	38,476	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	961,024	0.3%	17	239	17	90	16	10,678	19
IX. 循環器系の疾患	62,972,472	19.9%	1	5,780	1	490	4	128,515	4
X. 呼吸器系の疾患	19,843,383	6.3%	6	2,712	5	541	1	36,679	13
X I. 消化器系の疾患 ※1	25,705,472	8.1%	4	4,281	3	502	3	51,206	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,096,693	1.6%	15	1,428	9	335	7	15,214	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	32,105,076	10.1%	3	3,048	4	419	5	76,623	7
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	18,450,617	5.8%	8	1,068	11	180	13	102,503	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	834,551	0.3%	18	7	20	5	20	166,910	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	6,469,193	2.0%	14	65	19	20	19	323,460	1
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,973,635	2.5%	13	1,364	10	336	6	23,731	15
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	9,234,820	2.9%	12	617	14	184	12	50,189	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	613,885	0.2%	19	352	15	52	17	11,805	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	219,398	0.1%	20	212	18	37	18	5,930	20
合計	316,386,910			14,558		962		328,885	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【上高根沢】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,327,294	1.5%	13	650	13	168	8	13,853	16
II. 新生物<腫瘍>	20,233,996	13.4%	3	661	12	167	9	121,162	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,380,388	0.9%	15	180	16	54	15	25,563	13
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	21,037,832	14.0%	2	3,269	1	303	3	69,432	5
V. 精神及び行動の障害	11,155,253	7.4%	6	781	9	79	14	141,206	1
VI. 神経系の疾患	5,053,223	3.4%	11	1,227	6	136	11	37,156	12
VII. 眼及び付属器の疾患	8,860,771	5.9%	8	1,193	7	210	6	42,194	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	549,020	0.4%	17	143	17	44	16	12,478	19
IX. 循環器系の疾患	23,762,938	15.8%	1	3,016	2	305	2	77,911	4
X. 呼吸器系の疾患	10,751,087	7.1%	7	1,374	5	288	4	37,330	11
X I. 消化器系の疾患 ※1	12,359,610	8.2%	5	2,524	3	323	1	38,265	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,416,019	2.3%	12	896	8	207	7	16,503	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	15,399,786	10.2%	4	1,707	4	229	5	67,248	6
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	5,297,697	3.5%	10	725	10	122	12	43,424	8
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	71,815	0.0%	20	9	20	5	20	14,363	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	743,115	0.5%	16	53	19	8	19	92,889	3
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,221,721	1.5%	14	720	11	163	10	13,630	17
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	5,329,749	3.5%	9	245	14	95	13	56,103	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	313,414	0.2%	18	227	15	28	17	11,193	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	203,442	0.1%	19	60	18	15	18	13,563	18
合計	150,468,170			8,597		554		271,603	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【東部地域】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,477,486	4.1%	8	611	12	194	6	33,389	10
II. 新生物<腫瘍>	26,439,137	16.9%	1	559	13	161	10	164,218	2
III. 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	408,557	0.3%	16	173	15	49	16	8,338	16
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	18,679,394	11.9%	3	2,682	2	274	4	68,173	5
V. 精神及び行動の障害	13,161,307	8.4%	6	642	10	66	14	199,414	1
VI. 神経系の疾患	4,087,769	2.6%	11	978	6	116	12	35,239	9
VII. 眼及び付属器の疾患	5,557,084	3.5%	10	882	7	192	7	28,943	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	462,898	0.3%	15	150	17	54	15	8,572	15
IX. 循環器系の疾患	24,741,959	15.8%	2	3,010	1	279	3	88,681	4
X. 呼吸器系の疾患	5,931,525	3.8%	9	1,129	5	287	1	20,667	12
X I. 消化器系の疾患 ※1	10,459,028	6.7%	7	2,108	3	285	2	36,698	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,948,984	1.2%	13	645	9	177	9	11,011	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	15,048,419	9.6%	5	1,604	4	240	5	62,702	6
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	17,139,237	10.9%	4	629	11	126	11	136,026	3
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	3,773	0.0%	20	2	20	1	20	3,773	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	16,852	0.0%	19	12	19	7	19	2,407	20
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,851,703	1.2%	14	685	8	187	8	9,902	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	4,076,112	2.6%	12	273	14	101	13	40,358	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	86,249	0.1%	18	155	16	29	17	2,974	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	106,977	0.1%	17	78	18	14	18	7,641	17
合計	156,684,450			7,192		568		275,853	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※4	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※5	順位	患者数(人) ※6	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,857,222	1.5%	15	229	13	84	9	22,110	15
II. 新生物<腫瘍>	38,533,404	30.8%	1	284	10	62	10	621,507	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,490,695	7.6%	4	123	15	33	15	287,597	4
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	3,669,675	2.9%	9	607	3	102	3	35,977	13
V. 精神及び行動の障害	15,833,260	12.7%	2	256	12	38	14	416,665	2
VI. 神経系の疾患	5,516,110	4.4%	7	484	6	60	11	91,935	7
VII. 眼及び付属器の疾患	1,901,952	1.5%	14	326	9	91	6	20,901	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	266,426	0.2%	18	65	17	21	16	12,687	17
IX. 循環器系の疾患	15,440,522	12.4%	3	729	2	87	7	177,477	5
X. 呼吸器系の疾患	7,709,393	6.2%	5	587	5	147	1	52,445	10
X I. 消化器系の疾患 ※1	6,765,360	5.4%	6	763	1	124	2	54,559	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,172,793	0.9%	16	357	7	99	5	11,846	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,718,494	3.8%	8	607	3	100	4	47,185	12
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	2,850,659	2.3%	12	269	11	60	11	47,511	11
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※2	691,788	0.6%	17	7	20	4	19	172,947	6
X VI. 周産期に発生した病態 ※3	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	24,677	0.0%	19	8	19	3	20	8,226	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,053,446	1.6%	13	337	8	86	8	23,877	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,950,191	2.4%	11	149	14	47	13	62,770	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	24,548	0.0%	20	70	16	11	17	2,232	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,487,125	2.8%	10	34	18	10	18	348,713	3
合計	124,957,740			2,687		279		447,877	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※2 妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※3 周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※4 医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※5 レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※6 患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

(2) 中分類による疾病別医療費統計

①高根沢町国民健康保険全体

疾病分類表における中分類単位で集計し、以下に示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901	高血圧性疾患	122,193,731	6.2%	2,174
2	0402	糖尿病	116,212,106	5.9%	1,997
3	1402	腎不全	83,072,949	4.2%	100
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	82,230,006	4.2%	217
5	1113	その他の消化器系の疾患	79,785,637	4.0%	2,024
6	0403	脂質異常症	78,264,428	4.0%	1,823
7	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	76,445,265	3.9%	773
8	0902	虚血性心疾患	73,118,984	3.7%	614
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	65,660,266	3.3%	255
10	0903	その他の心疾患	50,823,648	2.6%	828

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	122,193,731	2,174	35.2%
2	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	37,361,910	2,055	33.3%
3	1113	その他の消化器系の疾患	79,785,637	2,024	32.8%
4	0402	糖尿病	116,212,106	1,997	32.3%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	21,051,562	1,915	31.0%
6	0403	脂質異常症	78,264,428	1,823	29.5%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	15,189,080	1,659	26.9%
8	0703	屈折及び調節の障害	6,907,439	1,593	25.8%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	44,331,038	1,491	24.1%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	8,905,440	1,483	24.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	40,274,425	39	1,032,678
2	1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,704,559	2	852,280
3	1402 腎不全	83,072,949	100	830,729
4	0209 白血病	9,642,490	13	741,730
5	1502 妊娠高血圧症候群	2,129,192	4	532,298
6	0506 知的障害<精神遅滞>	6,010,724	12	500,894
7	0208 悪性リンパ腫	16,465,424	36	457,373
8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	82,230,006	217	378,940
9	1701 心臓の先天奇形	3,365,108	10	336,511
10	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	65,660,266	255	257,491

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数(件) ※2			患者数(人) ※3		
	1,979,594,060			87,602			6,175		

疾病分類	医療費(円) ※1	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※2	構成比 (%)	順位	患者数 ※3	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	55,736,262	2.8%		6,618	7.6%		1,992	32.3%		27,980	
0101 腸管感染症	5,379,131	0.3%	71	1,518	1.7%	49	680	11.0%	29	7,910	103
0102 結核	984,599	0.0%	101	170	0.2%	98	66	1.1%	92	14,918	82
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	544,915	0.0%	108	262	0.3%	91	166	2.7%	70	3,283	118
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	4,322,339	0.2%	77	1,061	1.2%	56	408	6.6%	45	10,594	92
0105 ウイルス性肝炎	26,557,995	1.3%	23	938	1.1%	59	263	4.3%	58	100,981	23
0106 その他のウイルス性疾患	4,981,653	0.3%	73	102	0.1%	102	38	0.6%	99	131,096	17
0107 真菌症	7,073,069	0.4%	60	1,875	2.1%	43	538	8.7%	36	13,147	86
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	23,422	0.0%	119	20	0.0%	112	4	0.1%	115	5,856	110
0109 その他の感染症及び寄生虫症	5,869,139	0.3%	70	1,671	1.9%	47	640	10.4%	32	9,171	95
II. 新生物<腫瘍>	287,122,142	14.5%		6,194	7.1%		1,767	28.6%		162,491	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	6,676,626	0.3%	64	726	0.8%	64	296	4.8%	57	22,556	65
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	26,496,451	1.3%	24	904	1.0%	61	319	5.2%	53	83,061	30
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	40,274,425	2.0%	15	239	0.3%	93	39	0.6%	97	1,032,678	1
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	3,082,396	0.2%	85	300	0.3%	87	98	1.6%	84	31,453	52
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	65,660,266	3.3%	9	719	0.8%	65	255	4.1%	60	257,491	10
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	15,928,020	0.8%	37	513	0.6%	77	96	1.6%	85	165,917	14
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	6,310,363	0.3%	66	206	0.2%	97	121	2.0%	79	52,152	40
0208 悪性リンパ腫	16,465,424	0.8%	35	228	0.3%	95	36	0.6%	100	457,373	7
0209 白血病	9,642,490	0.5%	48	72	0.1%	106	13	0.2%	109	741,730	4
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	76,445,265	3.9%	7	2,579	2.9%	33	773	12.5%	25	98,894	25
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	20,140,416	1.0%	29	1,709	2.0%	46	796	12.9%	24	25,302	57
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,417,956	0.9%		2,035	2.3%		640	10.4%		28,778	
0301 貧血	7,183,042	0.4%	59	1,341	1.5%	52	421	6.8%	44	17,062	77
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	11,234,914	0.6%	45	831	0.9%	63	335	5.4%	50	33,537	48
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	220,547,005	11.1%		30,922	35.3%		3,107	50.3%		70,984	
0401 甲状腺障害	8,140,458	0.4%	52	1,877	2.1%	42	406	6.6%	46	20,050	68
0402 糖尿病	116,212,106	5.9%	2	14,422	16.5%	4	1,997	32.3%	4	58,193	37
0403 脂質異常症	78,264,428	4.0%	6	20,452	23.3%	2	1,823	29.5%	6	42,932	44
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	17,930,013	0.9%	32	5,262	6.0%	15	845	13.7%	21	21,219	67
V. 精神及び行動の障害	157,956,313	8.0%		8,401	9.6%		811	13.1%		194,767	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	447,292	0.0%	111	50	0.1%	111	15	0.2%	107	29,819	54
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	597,269	0.0%	105	107	0.1%	101	26	0.4%	106	22,972	63
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	82,230,006	4.2%	4	2,779	3.2%	31	217	3.5%	65	378,940	8

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※2	患者数(人) ※3
	1,979,594,060	87,602	6,175

疾病分類		医療費(円) ※1	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※2	構成比 (%)	順位	患者数 ※3	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	40,683,224	2.1%	14	3,817	4.4%	25	357	5.8%	47	113,959	21
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	12,459,621	0.6%	42	4,764	5.4%	19	494	8.0%	41	25,222	58
0506	知的障害<精神遅滞>	6,010,724	0.3%	68	95	0.1%	103	12	0.2%	110	500,894	6
0507	その他の精神及び行動の障害	15,528,177	0.8%	38	605	0.7%	72	74	1.2%	89	209,840	12
VI. 神経系の疾患		73,561,467	3.7%		12,659	14.5%		1,384	22.4%		53,151	
0601	パーキンソン病	7,043,734	0.4%	61	585	0.7%	73	45	0.7%	96	156,527	15
0602	アルツハイマー病	3,606,340	0.2%	81	346	0.4%	84	31	0.5%	103	116,334	20
0603	てんかん	9,334,097	0.5%	50	1,420	1.6%	51	153	2.5%	72	61,007	35
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,913,114	0.3%	62	108	0.1%	100	28	0.5%	104	246,897	11
0605	自律神経系の障害	442,603	0.0%	112	453	0.5%	80	51	0.8%	94	8,678	99
0606	その他の神経系の疾患	46,221,579	2.3%	11	10,968	12.5%	5	1,227	19.9%	15	37,670	47
VII. 眼及び付属器の疾患		81,871,181	4.1%		11,827	13.5%		2,219	35.9%		36,896	
0701	結膜炎	7,693,252	0.4%	58	5,633	6.4%	13	1,252	20.3%	14	6,145	107
0702	白内障	22,939,452	1.2%	27	5,095	5.8%	17	706	11.4%	26	32,492	51
0703	屈折及び調節の障害	6,907,439	0.3%	63	7,538	8.6%	9	1,593	25.8%	8	4,336	114
0704	その他の眼及び付属器の疾患	44,331,038	2.2%	13	8,655	9.9%	7	1,491	24.1%	9	29,732	55
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		6,200,579	0.3%		1,825	2.1%		598	9.7%		10,369	
0801	外耳炎	685,110	0.0%	103	395	0.5%	82	145	2.3%	74	4,725	111
0802	その他の外耳疾患	608,842	0.0%	104	262	0.3%	91	155	2.5%	71	3,928	115
0803	中耳炎	1,499,884	0.1%	97	526	0.6%	75	139	2.3%	75	10,791	91
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	538,316	0.0%	109	231	0.3%	94	67	1.1%	91	8,035	102
0805	メニエール病	583,981	0.0%	106	294	0.3%	88	74	1.2%	89	7,892	104
0806	その他の内耳疾患	576,607	0.0%	107	74	0.1%	105	32	0.5%	102	18,019	75
0807	その他の耳疾患	1,707,839	0.1%	94	519	0.6%	76	232	3.8%	61	7,361	106
IX. 循環器系の疾患		354,253,108	17.9%		32,329	36.9%		3,012	48.8%		117,614	
0901	高血圧性疾患	122,193,731	6.2%	1	26,982	30.8%	1	2,174	35.2%	1	56,207	39
0902	虚血性心疾患	73,118,984	3.7%	8	4,742	5.4%	20	614	9.9%	35	119,086	19
0903	その他の心疾患	50,823,648	2.6%	10	5,209	5.9%	16	828	13.4%	22	61,381	34
0904	くも膜下出血	2,433,356	0.1%	88	18	0.0%	114	14	0.2%	108	173,811	13
0905	脳内出血	10,638,896	0.5%	46	277	0.3%	89	101	1.6%	82	105,336	22
0906	脳梗塞	31,793,122	1.6%	19	2,081	2.4%	40	333	5.4%	51	95,475	27
0907	脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908	その他の脳血管疾患	6,611,347	0.3%	65	695	0.8%	68	201	3.3%	67	32,892	50
0909	動脈硬化(症)	11,783,277	0.6%	44	2,220	2.5%	39	696	11.3%	27	16,930	78
0911	低血圧(症)	247,848	0.0%	115	62	0.1%	109	10	0.2%	111	24,785	59
0912	その他の循環器系の疾患	44,608,899	2.3%	12	1,622	1.9%	48	337	5.5%	49	132,371	16
X. 呼吸器系の疾患		104,673,480	5.3%		15,256	17.4%		3,361	54.4%		31,144	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	1,112,893	0.1%	99	659	0.8%	70	313	5.1%	54	3,556	116
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	3,933,828	0.2%	79	1,827	2.1%	44	854	13.8%	20	4,606	112
1003	その他の急性上気道感染症	7,838,748	0.4%	55	3,067	3.5%	29	1,064	17.2%	17	7,367	105

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※2	患者数(人) ※3
	1,979,594,060	87,602	6,175

疾病分類		医療費(円) ※1	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※2	構成比 (%)	順位	患者数 ※3	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004	肺炎	7,876,627	0.4%	54	653	0.7%	71	321	5.2%	52	24,538	61
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	8,905,440	0.4%	51	3,360	3.8%	26	1,483	24.0%	10	6,005	108
1006	アレルギー性鼻炎	17,471,462	0.9%	34	5,535	6.3%	14	1,313	21.3%	12	13,307	85
1007	慢性副鼻腔炎	4,801,217	0.2%	74	1,927	2.2%	41	459	7.4%	43	10,460	93
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	990,152	0.1%	100	449	0.5%	81	169	2.7%	69	5,859	109
1009	慢性閉塞性肺疾患	7,757,809	0.4%	56	1,478	1.7%	50	256	4.1%	59	30,304	53
1010	喘息	18,666,965	0.9%	31	3,251	3.7%	27	646	10.5%	31	28,896	56
1011	その他の呼吸器系の疾患	25,318,339	1.3%	25	2,960	3.4%	30	1,299	21.0%	13	19,491	72
X I . 消化器系の疾患		146,281,198	7.4%		25,208	28.8%		3,357	54.4%		43,575	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	2,146	0.0%	121	2	0.0%	121	2	0.0%	120	1,073	121
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	30,837	0.0%	118	13	0.0%	115	10	0.2%	111	3,084	119
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	17,740,894	0.9%	33	6,156	7.0%	11	820	13.3%	23	21,635	66
1105	胃炎及び十二指腸炎	21,051,562	1.1%	28	9,308	10.6%	6	1,915	31.0%	5	10,993	90
1106	痔核	1,632,513	0.1%	96	486	0.6%	79	126	2.0%	77	12,956	87
1107	アルコール性肝疾患	485,600	0.0%	110	217	0.2%	96	27	0.4%	105	17,985	76
1108	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	1,801,716	0.1%	93	927	1.1%	60	117	1.9%	81	15,399	80
1109	肝硬変(アルコール性のものを除く)	1,178,263	0.1%	98	331	0.4%	85	60	1.0%	93	19,638	70
1110	その他の肝疾患	5,940,320	0.3%	69	2,480	2.8%	35	689	11.2%	28	8,622	100
1111	胆石症及び胆のう炎	14,442,011	0.7%	40	875	1.0%	62	204	3.3%	66	70,794	31
1112	膵疾患	2,189,699	0.1%	90	509	0.6%	78	225	3.6%	63	9,732	94
1113	その他の消化器系の疾患	79,785,637	4.0%	5	16,790	19.2%	3	2,024	32.8%	3	39,420	46
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		35,875,124	1.8%		9,135	10.4%		2,233	36.2%		16,066	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	4,567,800	0.2%	76	1,259	1.4%	53	499	8.1%	40	9,154	97
1202	皮膚炎及び湿疹	15,189,080	0.8%	39	6,505	7.4%	10	1,659	26.9%	7	9,156	96
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	16,118,244	0.8%	36	4,478	5.1%	21	1,208	19.6%	16	13,343	84
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		173,763,009	8.8%		18,518	21.1%		2,621	42.4%		66,296	
1301	炎症性多発性関節障害	31,712,863	1.6%	20	3,228	3.7%	28	509	8.2%	38	62,304	33
1302	関節症	36,316,902	1.8%	18	3,843	4.4%	24	638	10.3%	33	56,923	38
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	26,831,358	1.4%	22	3,948	4.5%	23	668	10.8%	30	40,167	45
1304	椎間板障害	9,572,562	0.5%	49	2,313	2.6%	38	488	7.9%	42	19,616	71
1305	頸腕症候群	2,705,937	0.1%	87	1,141	1.3%	54	232	3.8%	61	11,664	89
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	14,282,063	0.7%	41	5,060	5.8%	18	940	15.2%	18	15,194	81
1307	その他の脊柱障害	3,356,956	0.2%	84	698	0.8%	67	148	2.4%	73	22,682	64
1308	肩の傷害<損傷>	6,183,185	0.3%	67	2,721	3.1%	32	502	8.1%	39	12,317	88
1309	骨の密度及び構造の障害	23,364,476	1.2%	26	4,239	4.8%	22	520	8.4%	37	44,932	42
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	19,436,707	1.0%	30	6,102	7.0%	12	1,355	21.9%	11	14,344	83

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※2	患者数(人) ※3
	1,979,594,060	87,602	6,175

疾病分類	医療費(円) ※1	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※2	構成比 (%)	順位	患者数 ※3	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	129,022,069	6.5%		6,653	7.6%		1,261	20.4%		102,317	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	8,000,376	0.4%	53	579	0.7%	74	135	2.2%	76	59,262	36
1402 腎不全	83,072,949	4.2%	3	983	1.1%	57	100	1.6%	83	830,729	3
1403 尿路結石症	1,953,751	0.1%	92	363	0.4%	83	118	1.9%	80	16,557	79
1404 その他の腎尿路系の疾患	12,157,159	0.6%	43	2,555	2.9%	34	632	10.2%	34	19,236	73
1405 前立腺肥大(症)	10,030,140	0.5%	47	1,812	2.1%	45	225	3.6%	63	44,578	43
1406 その他の男性生殖器の疾患	3,654,417	0.2%	80	313	0.4%	86	75	1.2%	88	48,726	41
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,410,344	0.1%	89	705	0.8%	66	122	2.0%	78	19,757	69
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	7,742,933	0.4%	57	670	0.8%	69	313	5.1%	54	24,738	60
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	6,676,016	0.3%		95	0.1%		45	0.7%		148,356	
1501 流産	974,188	0.0%	102	19	0.0%	113	10	0.2%	111	97,419	26
1502 妊娠高血圧症候群	2,129,192	0.1%	91	8	0.0%	117	4	0.1%	115	532,298	5
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	3,572,636	0.2%	82	78	0.1%	104	39	0.6%	97	91,606	28
XVI. 周産期に発生した病態	2,105,699	0.1%		6	0.0%		5	0.1%		421,140	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	1,704,559	0.1%	95	3	0.0%	120	2	0.0%	120	852,280	2
1602 その他の周産期に発生した病態	401,140	0.0%	113	4	0.0%	118	4	0.1%	115	100,285	24
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	8,534,755	0.4%		288	0.3%		82	1.3%		104,082	
1701 心臓の先天奇形	3,365,108	0.2%	83	51	0.1%	110	10	0.2%	111	336,511	9
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	5,169,647	0.3%	72	265	0.3%	90	76	1.2%	87	68,022	32
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	37,361,910	1.9%		8,079	9.2%		2,055	33.3%		18,181	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	37,361,910	1.9%	16	8,079	9.2%	8	2,055	33.3%	2	18,181	74
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	71,802,096	3.6%		3,386	3.9%		1,160	18.8%		61,898	
1901 骨折	36,971,333	1.9%	17	1,078	1.2%	55	307	5.0%	56	120,428	18
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	4,252,020	0.2%	78	67	0.1%	107	47	0.8%	95	90,469	29
1903 熱傷及び腐食	146,696	0.0%	116	64	0.1%	108	33	0.5%	101	4,445	113
1904 中毒	317,827	0.0%	114	130	0.1%	99	91	1.5%	86	3,493	117
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	30,114,220	1.5%	21	2,400	2.7%	37	914	14.8%	19	32,948	49
XX I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,082,834	0.2%		2,434	2.8%		349	5.7%		8,833	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	32,737	0.0%	117	11	0.0%	116	4	0.1%	115	8,184	101
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	7,267	0.0%	120	4	0.0%	118	3	0.0%	119	2,422	120
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※2	患者数(人) ※3
	1,979,594,060	87,602	6,175

疾病分類		医療費(円) ※1	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※2	構成比 (%)	順位	患者数 ※3	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	3,042,830	0.2%	86	2,419	2.8%	36	342	5.5%	48	8,897	98
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		4,749,857	0.2%		941	1.1%		194	3.1%		24,484	
9999	分類外	4,749,857	0.2%	75	941	1.1%	58	194	3.1%	68	24,484	62

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12ヵ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※1 医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。

そのため他統計と一致しない。

※2 レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※3 患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※4 う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②地区比較

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を以下に示す。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【宝石台】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	6,345,470	8.0%	96
2	0901 高血圧性疾患	5,786,587	7.3%	100
3	0105 ウイルス性肝炎	4,647,810	5.8%	17
4	0403 脂質異常症	3,843,907	4.8%	90
5	0903 その他の心疾患	3,648,072	4.6%	31
6	1113 その他の消化器系の疾患	3,499,084	4.4%	99
7	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,446,833	4.3%	14
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,009,436	3.8%	83
9	0606 その他の神経系の疾患	2,839,766	3.6%	64
10	0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	2,597,729	3.3%	53

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【光陽台】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	8,902,708	7.3%	23
2	0209 白血病	8,670,311	7.2%	2
3	0912 その他の循環器系の疾患	8,259,175	6.8%	14
4	0903 その他の心疾患	8,070,962	6.7%	49
5	0901 高血圧性疾患	6,961,116	5.7%	136
6	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	6,426,438	5.3%	39
7	0402 糖尿病	5,840,757	4.8%	119
8	0403 脂質異常症	5,445,992	4.5%	121
9	1113 その他の消化器系の疾患	5,244,179	4.3%	138
10	1402 腎不全	4,948,624	4.1%	4

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【宝積寺地域】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	35,548,130	6.3%	30
2	0901 高血圧性疾患	31,009,908	5.5%	610
3	0402 糖尿病	29,160,092	5.2%	578
4	0902 虚血性心疾患	25,615,100	4.6%	169
5	0403 脂質異常症	24,658,855	4.4%	546
6	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	22,632,521	4.0%	11
7	1113 その他の消化器系の疾患	20,832,918	3.7%	557
8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	18,292,226	3.3%	63
9	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	17,573,964	3.1%	75
10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	17,561,602	3.1%	215

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【石末】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	18,936,893	7.5%	27
2	0901 高血圧性疾患	18,526,842	7.3%	235
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	14,535,878	5.7%	24
4	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	13,136,977	5.2%	6
5	1402 腎不全	12,768,062	5.0%	11
6	1901 骨折	11,619,324	4.6%	39
7	0402 糖尿病	10,695,532	4.2%	220
8	1113 その他の消化器系の疾患	9,466,277	3.7%	226
9	0403 脂質異常症	8,947,561	3.5%	199
10	0902 虚血性心疾患	8,817,400	3.5%	70

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【大谷】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	6,900,040	9.9%	35
2	0901 高血圧性疾患	5,489,663	7.8%	83
3	0909 動脈硬化(症)	4,486,102	6.4%	17
4	0402 糖尿病	3,718,896	5.3%	67
5	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,478,345	5.0%	3
6	1302 関節症	2,932,932	4.2%	14
7	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,693,035	3.8%	35
8	1306 腰痛症及び坐骨神経痛	2,341,097	3.3%	32
9	1113 その他の消化器系の疾患	2,136,162	3.1%	56
10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	2,122,013	3.0%	24

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【花岡・西高谷】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	11,573,694	8.1%	147
2	0906 脳梗塞	11,497,504	8.0%	29
3	0606 その他の神経系の疾患	9,529,015	6.6%	77
4	0901 高血圧性疾患	8,254,791	5.7%	161
5	0912 その他の循環器系の疾患	8,010,168	5.6%	21
6	1113 その他の消化器系の疾患	7,419,778	5.2%	162
7	0902 虚血性心疾患	6,216,098	4.3%	49
8	1301 炎症性多発性関節障害	5,660,138	3.9%	42
9	0403 脂質異常症	5,495,348	3.8%	133
10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	5,207,702	3.6%	62

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【北部地域】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402 糖尿病	27,169,274	8.6%	335
2	0902 虚血性心疾患	19,866,331	6.3%	89
3	0901 高血圧性疾患	19,561,212	6.2%	361
4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	15,805,899	5.0%	33
5	1113 その他の消化器系の疾患	13,953,919	4.4%	348
6	0403 脂質異常症	12,635,313	4.0%	298
7	0912 その他の循環器系の疾患	12,388,529	3.9%	66
8	1402 腎不全	12,073,100	3.8%	10
9	1301 炎症性多発性関節障害	10,463,390	3.3%	95
10	1800 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,973,635	2.5%	336

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【上高根沢】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0901 高血圧性疾患	12,400,609	8.2%	222
2	0402 糖尿病	11,583,058	7.7%	197
3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	7,773,254	5.2%	15
4	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	7,590,493	5.0%	83
5	0403 脂質異常症	7,347,299	4.9%	170
6	1113 その他の消化器系の疾患	7,119,794	4.7%	191
7	0704 その他の眼及び付属器の疾患	4,706,307	3.1%	142
8	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	4,129,374	2.7%	29
9	1901 骨折	3,901,612	2.6%	19
10	1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	3,890,930	2.6%	57

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【東部地域】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	13,574,973	8.7%	10
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	13,127,976	8.4%	72
3	0901 高血圧性疾患	12,279,140	7.8%	213
4	0402 糖尿病	8,641,123	5.5%	180
5	0403 脂質異常症	6,834,519	4.4%	164
6	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	6,707,649	4.3%	21
7	0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	5,752,694	3.7%	26
8	1113 その他の消化器系の疾患	5,301,567	3.4%	176
9	0902 虚血性心疾患	4,923,465	3.1%	62
10	0105 ウイルス性肝炎	4,137,389	2.6%	24

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	14,487,120	11.6%	25
2	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	14,053,531	11.2%	18
3	0507 その他の精神及び行動の障害	8,940,340	7.2%	5
4	0903 その他の心疾患	8,007,223	6.4%	44
5	0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,917,378	4.7%	20
6	0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	4,824,125	3.9%	8
7	1113 その他の消化器系の疾患	4,811,959	3.9%	71
8	1011 その他の呼吸器系の疾患	4,802,859	3.8%	60
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	3,926,316	3.1%	11
10	0301 貧血	3,573,317	2.9%	23

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を以下に示す。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【宝石台】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,366,281	128	36.7%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,746,276	117	33.5%
3	1202 皮膚炎及び湿疹	711,146	110	31.5%
4	0901 高血圧性疾患	5,786,587	100	28.7%
5	1113 その他の消化器系の疾患	3,499,084	99	28.4%
6	0402 糖尿病	6,345,470	96	27.5%
7	0403 脂質異常症	3,843,907	90	25.8%
8	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	718,560	84	24.1%
8	0703 屈折及び調節の障害	352,458	84	24.1%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,009,436	83	23.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【光陽台】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,345,515	157	33.4%
2	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,414,567	142	30.2%
3	1113 その他の消化器系の疾患	5,244,179	138	29.4%
4	0901 高血圧性疾患	6,961,116	136	28.9%
5	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	934,038	125	26.6%
6	1202 皮膚炎及び湿疹	964,385	123	26.2%
7	0403 脂質異常症	5,445,992	121	25.7%
8	0402 糖尿病	5,840,757	119	25.3%
9	1006 アレルギー性鼻炎	1,245,031	113	24.0%
10	1011 その他の呼吸器系の疾患	1,201,223	108	23.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【宝積寺地域】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	31,009,908	610	35.5%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,256,609	593	34.5%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	6,216,412	584	34.0%
4	0402 糖尿病	29,160,092	578	33.6%
5	1113 その他の消化器系の疾患	20,832,918	557	32.4%
6	0403 脂質異常症	24,658,855	546	31.7%
7	0703 屈折及び調節の障害	2,154,226	494	28.7%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	4,987,591	471	27.4%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	2,353,067	467	27.2%
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	14,808,836	461	26.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【石末】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	18,526,842	235	37.1%
2	1113 その他の消化器系の疾患	9,466,277	226	35.7%
3	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,537,467	225	35.5%
4	0402 糖尿病	10,695,532	220	34.8%
5	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,268,736	206	32.5%
6	0403 脂質異常症	8,947,561	199	31.4%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	1,553,567	186	29.4%
8	0703 屈折及び調節の障害	772,333	178	28.1%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	4,561,726	160	25.3%
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	677,478	155	24.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【大谷】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	5,489,663	83	39.2%
2	0402 糖尿病	3,718,896	67	31.6%
3	1003 その他の急性上気道感染症	573,438	63	29.7%
4	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,191,888	60	28.3%
5	0403 脂質異常症	1,976,224	57	26.9%
6	1113 その他の消化器系の疾患	2,136,162	56	26.4%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	620,891	53	25.0%
8	0606 その他の神経系の疾患	1,832,732	49	23.1%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	1,318,412	49	23.1%
10	1011 その他の呼吸器系の疾患	443,752	48	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【花岡・西高谷】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113 その他の消化器系の疾患	7,419,778	162	37.9%
2	0901 高血圧性疾患	8,254,791	161	37.6%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,452,381	150	35.0%
4	0402 糖尿病	11,573,694	147	34.3%
5	0403 脂質異常症	5,495,348	133	31.1%
6	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,724,236	118	27.6%
7	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,475,292	117	27.3%
8	1202 皮膚炎及び湿疹	814,124	110	25.7%
9	0703 屈折及び調節の障害	483,864	100	23.4%
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	578,702	97	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【北部地域】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	19,561,212	361	37.5%
2	1113 その他の消化器系の疾患	13,953,919	348	36.2%
3	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,973,635	336	34.9%
4	0402 糖尿病	27,169,274	335	34.8%
5	0403 脂質異常症	12,635,313	298	31.0%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	3,199,689	260	27.0%
7	0703 屈折及び調節の障害	1,082,635	246	25.6%
8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	7,853,185	238	24.7%
9	1202 皮膚炎及び湿疹	2,307,409	237	24.6%
10	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	2,435,208	233	24.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【上高根沢】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	12,400,609	222	40.1%
2	0402 糖尿病	11,583,058	197	35.6%
3	1113 その他の消化器系の疾患	7,119,794	191	34.5%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	2,396,884	189	34.1%
5	0403 脂質異常症	7,347,299	170	30.7%
6	1202 皮膚炎及び湿疹	1,767,303	164	29.6%
7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,221,721	163	29.4%
8	0703 屈折及び調節の障害	686,272	156	28.2%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	4,706,307	142	25.6%
10	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,166,164	130	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

宝石台	光陽台	宝積寺地域	石末	大谷
花岡・西高谷	北部地域	上高根沢	東部地域	その他

【東部地域】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901 高血圧性疾患	12,279,140	213	37.5%
2	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,851,703	187	32.9%
3	0402 糖尿病	8,641,123	180	31.7%
4	1113 その他の消化器系の疾患	5,301,567	176	31.0%
5	0403 脂質異常症	6,834,519	164	28.9%
6	1105 胃炎及び十二指腸炎	1,512,052	155	27.3%
7	1202 皮膚炎及び湿疹	899,504	130	22.9%
8	0703 屈折及び調節の障害	467,073	125	22.0%
9	0704 その他の眼及び付属器の疾患	3,132,731	119	21.0%
9	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	500,813	119	21.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,053,446	86	30.8%
2	1202 皮膚炎及び湿疹	563,160	75	26.9%
3	1113 その他の消化器系の疾患	4,811,959	71	25.4%
4	1105 胃炎及び十二指腸炎	484,523	68	24.4%
5	0703 屈折及び調節の障害	215,471	62	22.2%
6	1011 その他の呼吸器系の疾患	4,802,859	60	21.5%
6	1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	291,759	60	21.5%
8	0402 糖尿病	1,484,210	58	20.8%
9	1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,430,020	57	20.4%
10	0901 高血圧性疾患	1,923,863	53	19.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

2. メンタル疾患の分析

健康寿命の延伸を実現するために、身体健康と共に重要とされるのが、メンタル疾患を予防しこころの健康を維持することである。厚生労働省は健康日本21(第二次)において、「社会生活を営むために必要な機能の維持・向上に関する目標」を定め、自殺者の減少や、メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の増加を目指している。

メンタル疾患として代表的な、うつ病を含む気分障害の患者は、厚生労働省の患者調査において近年急速に増加していることが指摘されている。また、うつ病やうつ状態になると、喫煙率が高くなる・肥満になる・服薬をしなくなる等健康的な生活習慣が妨げられる傾向があり、その結果、脳卒中・心筋梗塞等の予後が悪化することが明らかとなっている。

ここでは、疾病分類の中分類における「0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」及び「0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害」(以下、「神経症、ストレス関連等」と言う)、うつ病と関係性が高い「睡眠障害」「アルコール使用障害」を“メンタル疾患”とし、分析する。

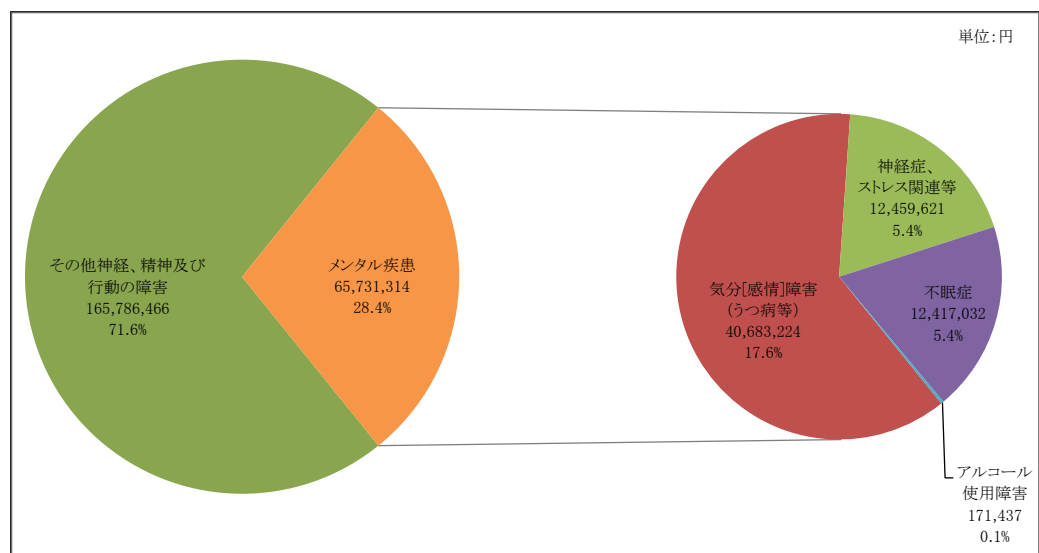
出典:「健康日本21(第二次)の推進に関する参考資料」厚生労働省 平成24年

(1) 医療費全体におけるメンタル疾患の割合

大分類による疾病別医療費をみると、医療費全体における「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」の割合は11.7%であった。このうち“メンタル疾患”の割合を集計すると28.4%であった。(※)「気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」が多くを占めており、対策が必要な疾病であると考えられる。

※…「V. 精神及び行動の障害」分類には認知症、統合失調症、知的障害等が含まれ、「VI. 神経系の疾患」分類にはパーキンソン病、アルツハイマー病、てんかん等含まれる疾病が多岐にわたる。

「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」のうち“メンタル疾患”の占める医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

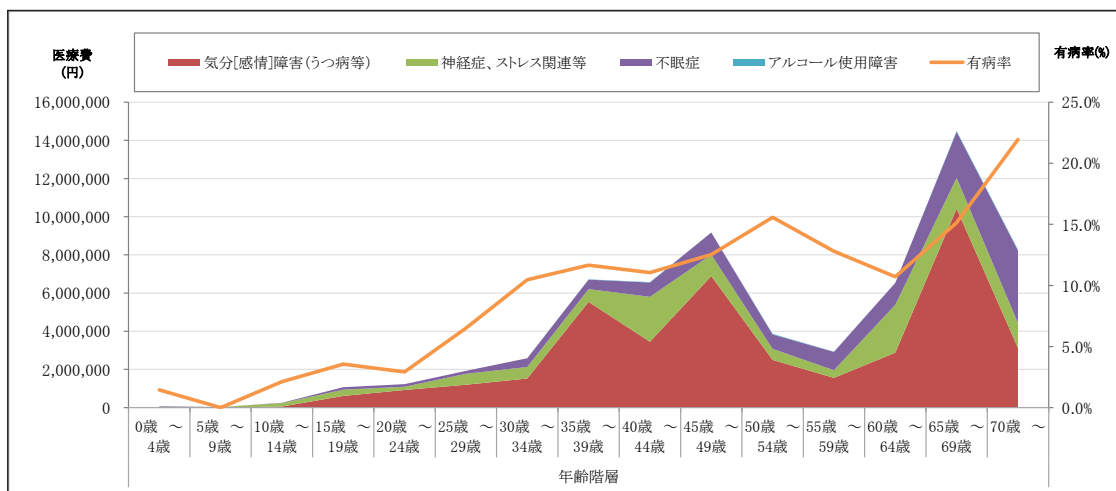
データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(2) 年齢階層別の有病率と医療費

次に、年齢階層別のメンタル疾患有病率ならびに医療費を以下に示す。

年齢階層別被保険者における“メンタル疾患”疾病別医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

データ化範囲(分析対象)期間内の「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に医療費を集計。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※有病率…データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する投薬がある患者を対象に集計。

患者の地区別内訳

順位	地区名	被保険者(人)		合計(人)
		男性	女性	
1	宝積寺地域	99	159	258
2	北部地域	51	94	145
3	上高根沢	45	48	93
4	石末	29	57	86
5	東部地域	24	44	68
6	光陽台	32	30	62
7	花岡・西高谷	32	28	60
8	宝石台	23	32	55
9	大谷	10	20	30
10				
その他		4	15	19
総計		349	527	876

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

3. COPD患者の実態

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、主に長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で咳・痰・息切れ等の症状があり、緩徐に呼吸障害が進行する疾患である。世界的にみるとCOPDによる死亡者は年間300万人と推定され、死因順位4位である。日本においてもCOPDによる死亡者は増加傾向にあり、平成26年は1万5千人以上となり死因順位10位である。日本の煙草消費量は近年減少傾向にあるが、過去の喫煙習慣による長期的な影響と急速な高齢化により、今後さらに罹患率、有病率、死亡率の増加が続くと予想される。

日本における40歳以上のCOPD患者は、530万人と推定されているが、実際に治療を行っている患者は約26万1千人に過ぎない。認知度の低さから医療機関にかからないまま重症化しており、早期発見ができていないと推測される。

COPDの認知度を向上させるため、医療機関と連携し、ハイリスク者への医療機関受診勧奨を行い、早期発見を促す必要がある。

(1)COPD患者の実態と潜在患者

COPD患者の実態と潜在患者について以下の通り示す。日本においてCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されている。一方、高根沢町国民健康保険の被保険者を対象に平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は43人であった。日本における治療中患者と潜在患者の比率を参考に、高根沢町国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は860人程度と想定する。

COPD患者の治療状況と潜在患者数

対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
高根沢町国民健康保険 被保険者	43人 内訳:男性28人 (65%) 女性15人 (35%)	推定860人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

参考資料

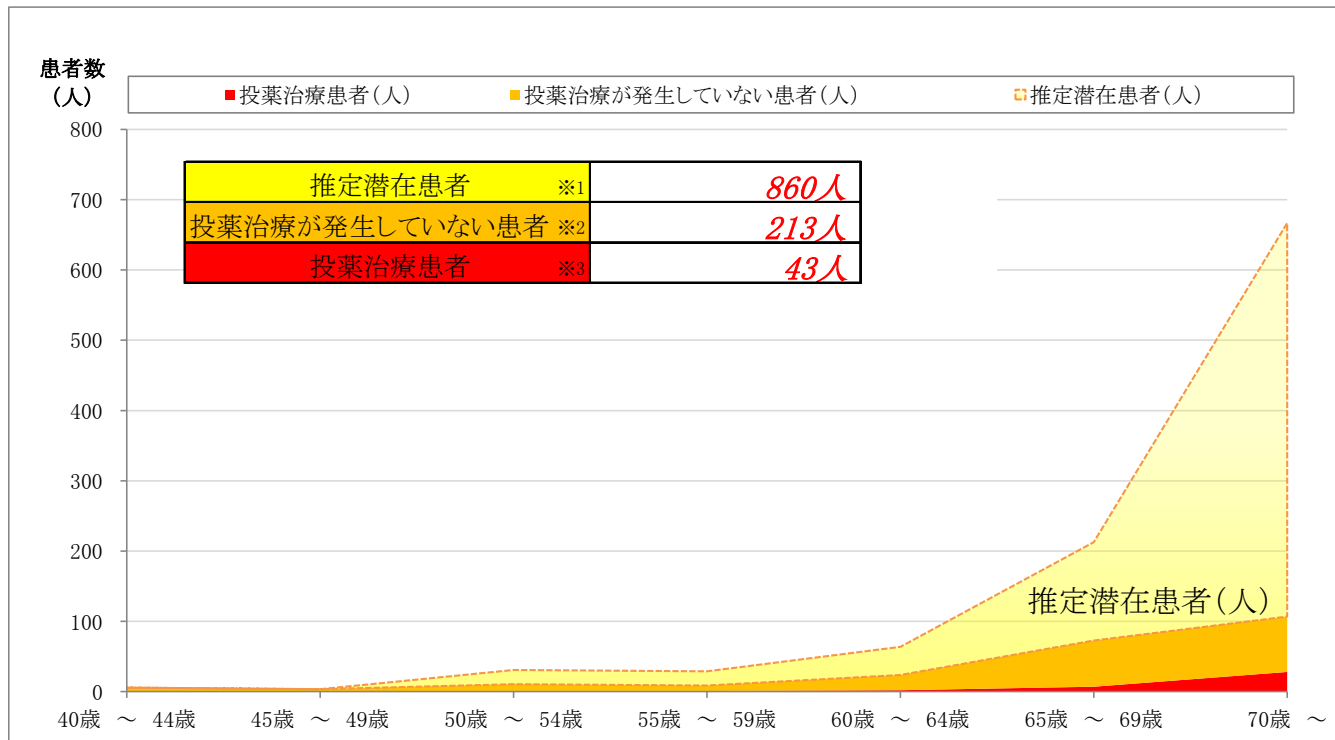
※治療患者数…平成26年患者調査(総患者数、性・年齢階層×傷病小分類別)

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_listID=000001141596(アクセス日:平成28年6月1日)

※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, *Respirology*.2004Nov;9(4):458-65

以下の通り、COPD患者の年齢階層別「投薬治療患者」「投薬治療が発生していない患者」「推定潜在患者」を示す。

COPD患者の治療状況と潜在患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

※1 推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。

※2 投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。

※3 投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

また、COPD患者43人の医療費を分析したところ、以下の通りとなった。12カ月間での患者一人当たりの医療費平均は121万円程度、このうちCOPD関連の医療費が3万円程度、COPD関連以外の医療費が118万円程度である。COPD関連の医療費自体は高額ではないが、患者毎に見ると、生活習慣病である糖尿病・高血圧・脂質異常等を併存している患者が多い。

COPD患者の医療費平均

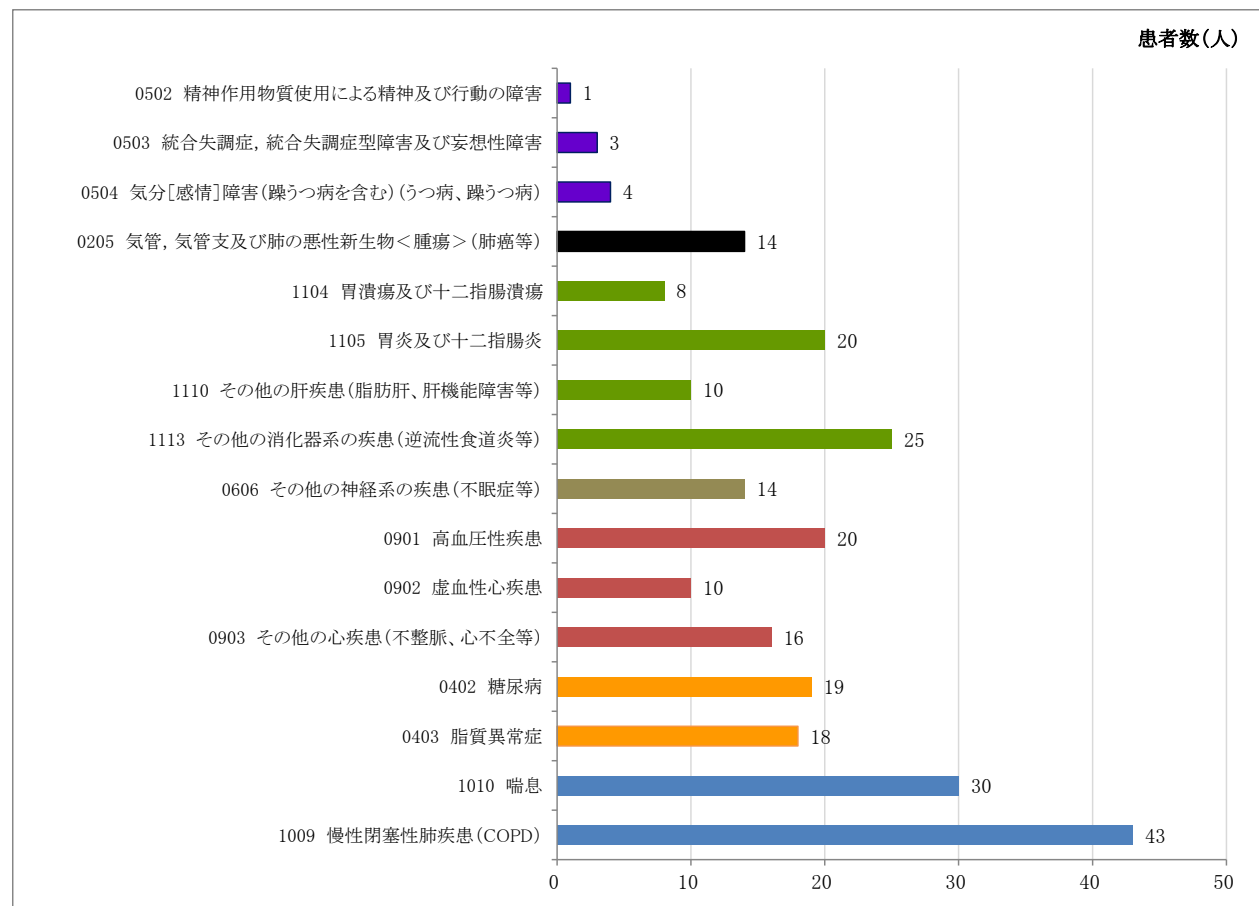
	一人当たり医療費(円)
医療費合計	1,214,638
COPD関連	30,304
COPD関連以外	1,184,334

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

COPD患者43人が併存している疾患を以下の通り示す。COPD患者は高血圧・心疾患等の循環器系疾患や、糖尿病及び脂質異常等の生活習慣病を併存している。また、肺がんは43人のうち32.6%の14人が併存している。肺がん等の悪性新生物、うつ病・躁うつ病、統合失調症については、患者一人当たりの医療費が高額な疾病である。

COPD患者の併存疾患



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

COPDの併存疾患		COPDの合併疾患
●全身性炎症	●抑うつ	●肺がん
●栄養障害	●糖尿病	●喘息
●骨格筋機能障害	●睡眠障害	
●心・血管疾患(心筋梗塞・狭心症・脳血管障害)	●緑内障	
●骨粗鬆症	●貧血	

出典: 日本呼吸器学会COPDガイドライン第3版作成委員会
「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第3版」全身の併存疾患、合併疾患
日本呼吸器学会 平成20年6月 ISBN:978-4-7792-0431-9

(2) COPDの認知度及び医療機関の現状

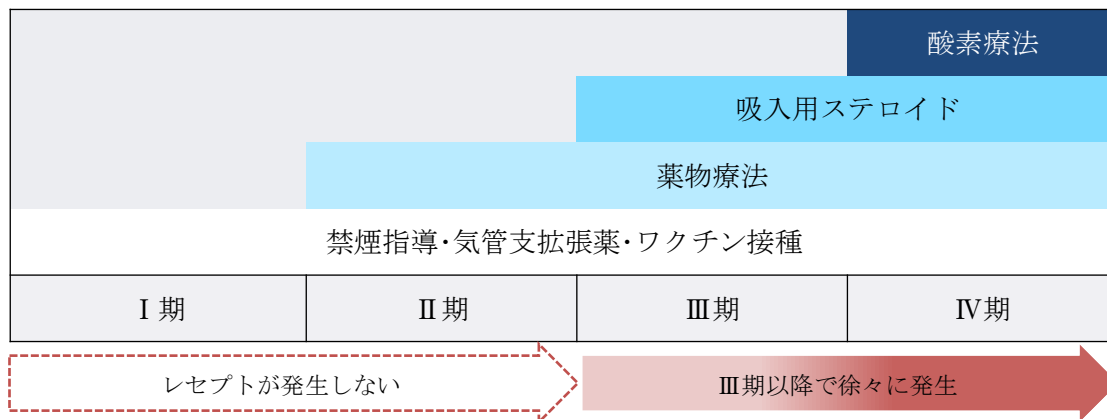
COPDの認知度は、「どんな病気かよく知っている」人が9.0%、「名前は聞いたことがある」人が16.0%で合計25.0%と低く、厚生労働省は健康日本21(第二次)において平成34年度までに認知度を80%に向上させる目標を明らかにしている。COPDの病期は軽度のⅠ期から重度のⅣ期までであるが、Ⅰ期・Ⅱ期の段階ではレセプトはほとんど発生せず、Ⅲ期・Ⅳ期からレセプトが発生することが多い。これは早期に医療機関にかからず、重症化してからようやく医療機関にかかっていることを示している。

COPDの認知度状況

設問：あなたはCOPDという病気を知っていますか？		
どんな病気かよく知っている	903人	9.0%
名前は聞いたことがある	1,600人	16.0%
知らない	7,497人	75.0%

出典:GOLD(The Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease) 日本委員会調査
http://www.gold-jac.jp/copd_facts_in_japan/copd_degree_of_recognition.html(アクセス日:平成29年2月9日)
 1万人を対象とした調査。(平成28年12月調査)

COPDの病期とレセプト発生状況



株式会社データホライゾン調べ

COPDの診断はスパイロメータ(呼吸機能を検査するための医療機器)による検査で行える。しかし、スパイロメータが設置されている医療機関は、呼吸器内科等ある程度限られているのが現状である。平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)のレセプトにおいて、スパイロメータの診療行為が発生している医療機関は30施設存在する。これらの医療機関と連携し、早期発見に向けた医療機関受診勧奨を行う必要がある。

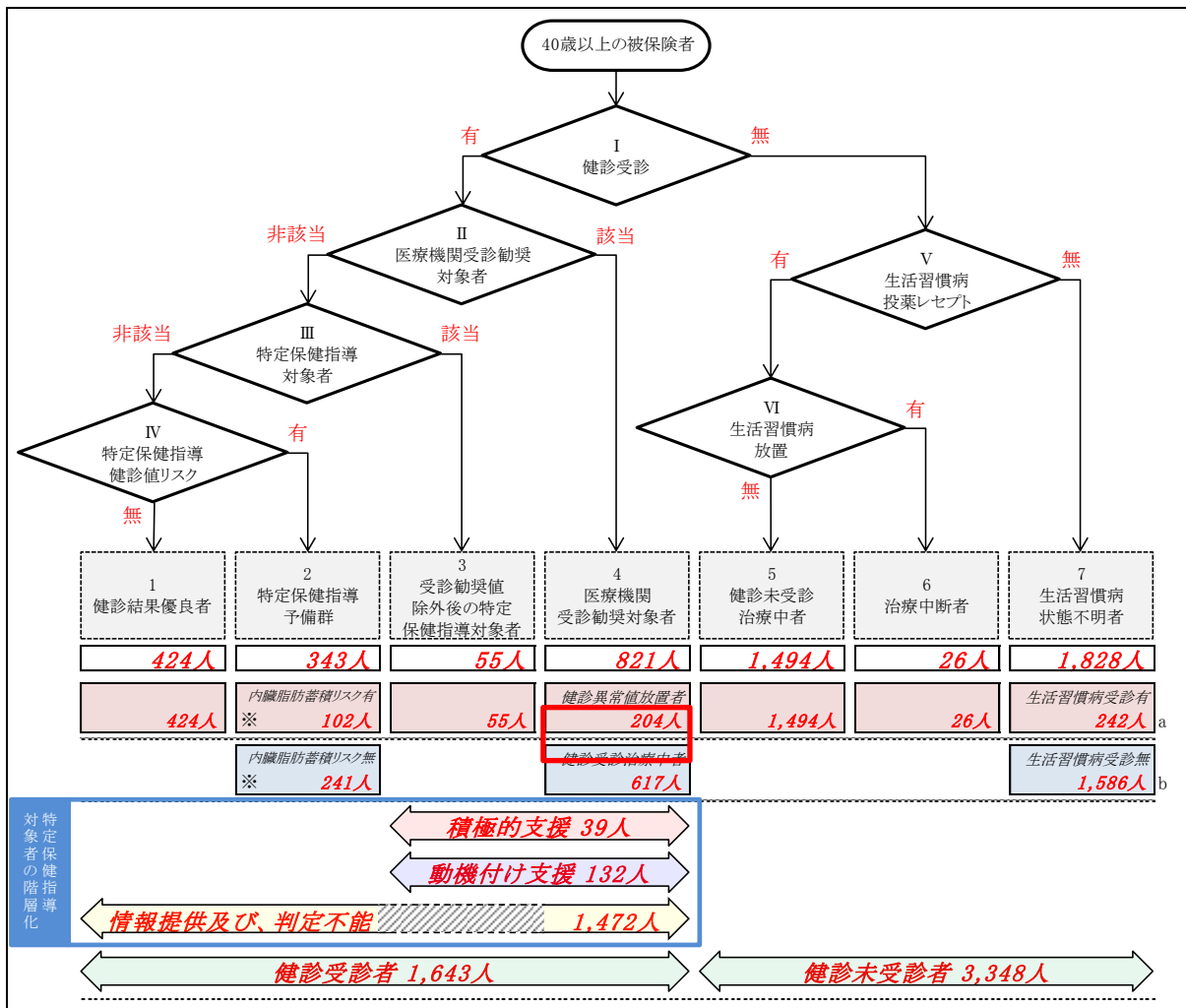
4. 健診異常値放置者の実態

健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。これらの対象者をレセプトにより見極める。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「受診勧奨対象者のグループ化」「対象者集団の特定を明確にする。

(1) 受診勧奨対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 健診異常値放置者集団の特定

前項の分析において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する204人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 …健診受診後、4カ月以上医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	204 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「難病患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためである。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病等	51 人
除外患者を除いた候補者数		153 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…平成29年3月31日時点。

次に、残る対象者153人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。健診異常値放置受診勧奨対象者の判定は、厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を特定する。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ.優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1人	候補者C 3人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 5人	候補者D 30人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 18人	候補者F 96人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			153人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

5. 薬剤併用禁忌の実態

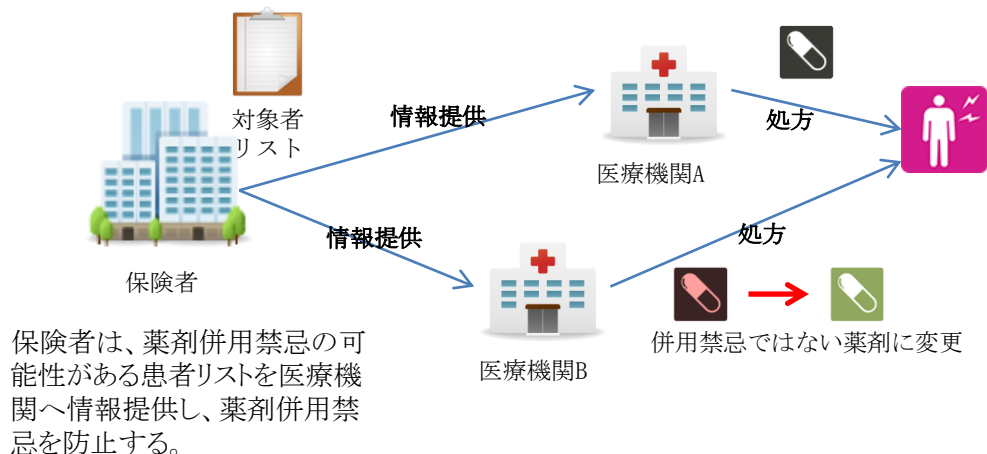
薬剤の相互作用は、効果の増強または減弱、副作用などを生じさせ、時に患者に重大な影響を与える可能性がある。通常、薬剤師がお薬手帳等で薬剤の相互作用等を確認するが、患者がお薬手帳を持たず、さらに処方箋発行医療機関と処方する調剤薬局も異なる場合、すでに処方された薬と新たに処方される薬とで併用禁忌の状態になる可能性がある。

以下の通り薬剤併用禁忌対象者数を集計した。ひと月平均29人程度の薬剤併用禁忌対象者が確認できる。

薬剤併用禁忌対象者数

	平成28年4月	平成28年5月	平成28年6月	平成28年7月	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月
薬剤併用禁忌対象者数(人) ※	27	21	18	24	13	20	32	31	47	41	36	38
12カ月間の延べ人数											348	
12カ月間の実人数											234	

データ化範囲(分析対象)...入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。
 ※薬剤併用禁忌対象者・・・1カ月間に併用禁忌とされる薬剤を処方された人を対象とする。



●薬剤併用禁忌の組み合わせの特定

平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)で発生した併用禁忌は、511件、234人が該当する。主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

以下、No.ごとの(A)群と(B)群の組み合わせが併用禁忌の薬剤。

表人数(人)	234
件数合計(件)	511

No.	(A) 剤型名	(A) 医薬品コード	(A) 医薬品名	(B) 剤型名	(B) 医薬品コード	(B) 医薬品名	件数
1	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	42
2	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	28
3	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	27
4	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	25
5	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	24
6	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	19
7	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	17
8	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	622010601	フルボキサミンマレイン酸塩錠25mg「サワイ」	14
9	内服	620002038	コカール錠200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	14
10	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	611170050	ウインタミン細粒(10%)	13
11	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620141915	ハロペリドール細粒1%「アメル」	13
12	内服	611170064	オーラップ錠1mg	内服	620144505	ハロペリドール錠1.5mg「IG」	13
13	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	610462014	リスパダール内用液1mg/mL 0.1%	13
14	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	611170428	リントン錠(3mg)	11
15	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622278201	フルティフォーム125εアンロール120吸入用	11
16	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	621558101	SG配合顆粒	10
17	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	10
18	内服	621981001	バチール錠50mg	内服	620143704	ハロペリドール錠1mg「IG」	10
19	内服	621981001	バチール錠50mg	内服	620131101	レボメプロマジン錠25mg「アメル」	10
20	内服	622028301	インヴェガ錠6mg	内服	620005613	リスベリドン錠1mg「ヨシトミ」	9
21	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620161401	ビーエイ配合錠	9
22	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	611170749	コントミン糖衣錠100mg	8
23	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	621558101	SG配合顆粒	8
24	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421116	ホクナリンテープ1mg	8
25	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160501	PL配合顆粒	7
26	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	611170743	コントミン糖衣錠50mg	7
27	内服	621520803	アセトアミノフェン錠200mg「IG」	内服	622081101	トラムセット配合錠	5
28	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	5
29	内服	622040901	シュアポスト錠0.25mg	内服	621982701	アマリール0.5mg錠	5
30	内服	622040901	シュアポスト錠0.25mg	内服	610443002	アマリール1mg錠	5
31	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	5
32	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	611170638	インプロメン錠6mg	5
33	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	660421117	ホクナリンテープ2mg	5
34	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	4
35	内服	622028401	インヴェガ錠9mg	内服	620008165	リスベリドン内用液1mg/mL「タカタ」0.1%	4
36	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	4
37	内服	621981001	バチール錠50mg	内服	610462014	リスパダール内用液1mg/mL 0.1%	4
38	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	610409341	リスパダール錠2mg	4
39	内服	620161401	ビーエイ配合錠	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	4
40	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	621950801	シムピコートタービュヘイラー60吸入	4
41	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622279201	レルベア100エリプタ14吸入用	4
42	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	622375601	レルベア200エリプタ30吸入用	4
43	内服	620160501	PL配合顆粒	内服	620161401	ビーエイ配合錠	3
44	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	3
45	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	3
46	外用	620518102	ボスミン外用液0.1%	外用	620009062	ベネトリン吸入液0.5%	3
47	内服	622525401	ミチグリニドCa・OD錠10mg「IG」	内服	620872002	グリベンクラミド錠2.5mg「サワイ」	3
48	内服	621558101	SG配合顆粒	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	2
49	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002038	コカール錠200mg	2
50	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620160801	トワチーム配合顆粒	2

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成29年3月31日時点。

※リストは51件以上省略

6. ロコモティブシンドロームの実態

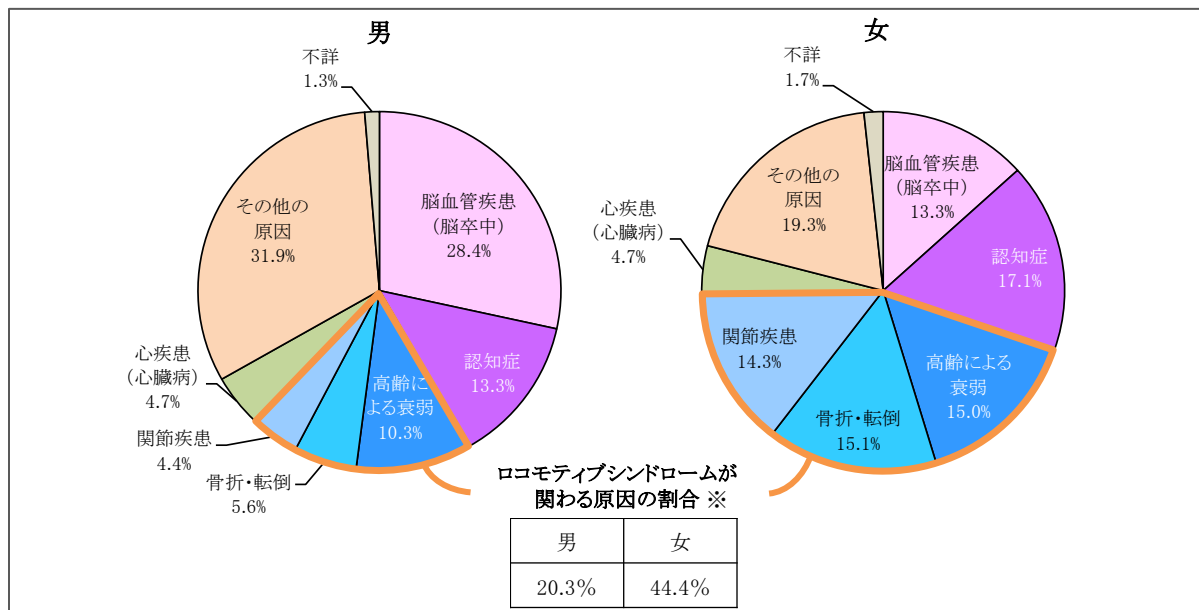
ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、筋肉・骨・関節・軟骨・椎間板といった運動器の障害により、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態、または、そうなるリスクが高い状態をいう。和名は「運動器症候群」である。自立度が低下し、要介護状態となる危険性が高い。

増え続ける要介護人口の歯止めとして、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。

ここでは、「ロコモティブシンドロームの現状」として、全国における「介護が必要となった主な原因とロコモティブシンドロームの関係」を示し、続けて「ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態」、「適切な指導実施方法の確立」、「成果の確認方法」について明確にする。

(1) ロコモティブシンドロームの現状

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成25年

※「高齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

(単位:%)

要介護度	第1位		第2位		第3位	
	原因	割合	原因	割合	原因	割合
総数	脳血管疾患(脳卒中)	18.5	認知症	15.8	高齢による衰弱	13.4
要支援者	関節疾患	20.7	高齢による衰弱	15.4	骨折・転倒	14.6
要支援1	関節疾患	23.5	高齢による衰弱	17.3	骨折・転倒	11.3
要支援2	関節疾患	18.2	骨折・転倒	17.6	脳血管疾患(脳卒中)	14.1
要介護者	脳血管疾患(脳卒中)	21.7	認知症	21.4	高齢による衰弱	12.6
要介護1	認知症	22.6	高齢による衰弱	16.1	脳血管疾患(脳卒中)	13.9
要介護2	認知症	19.2	脳血管疾患(脳卒中)	18.9	高齢による衰弱	13.8
要介護3	認知症	24.8	脳血管疾患(脳卒中)	23.5	高齢による衰弱	10.2
要介護4	脳血管疾患(脳卒中)	30.9	認知症	17.3	骨折・転倒	14.0
要介護5	脳血管疾患(脳卒中)	34.5	認知症	23.7	高齢による衰弱	8.7

出典:「国民生活基礎調査」厚生労働省 平成25年

(2) ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態

高根沢町国民健康保険におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数を示す。40歳以上の男女が対象者である。

条件設定による指導対象者の特定(ロコモティブシンドローム)

I.条件設定による指導対象者の特定

原因疾患のレセプトは存在し、候補者となった患者数

1,153人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

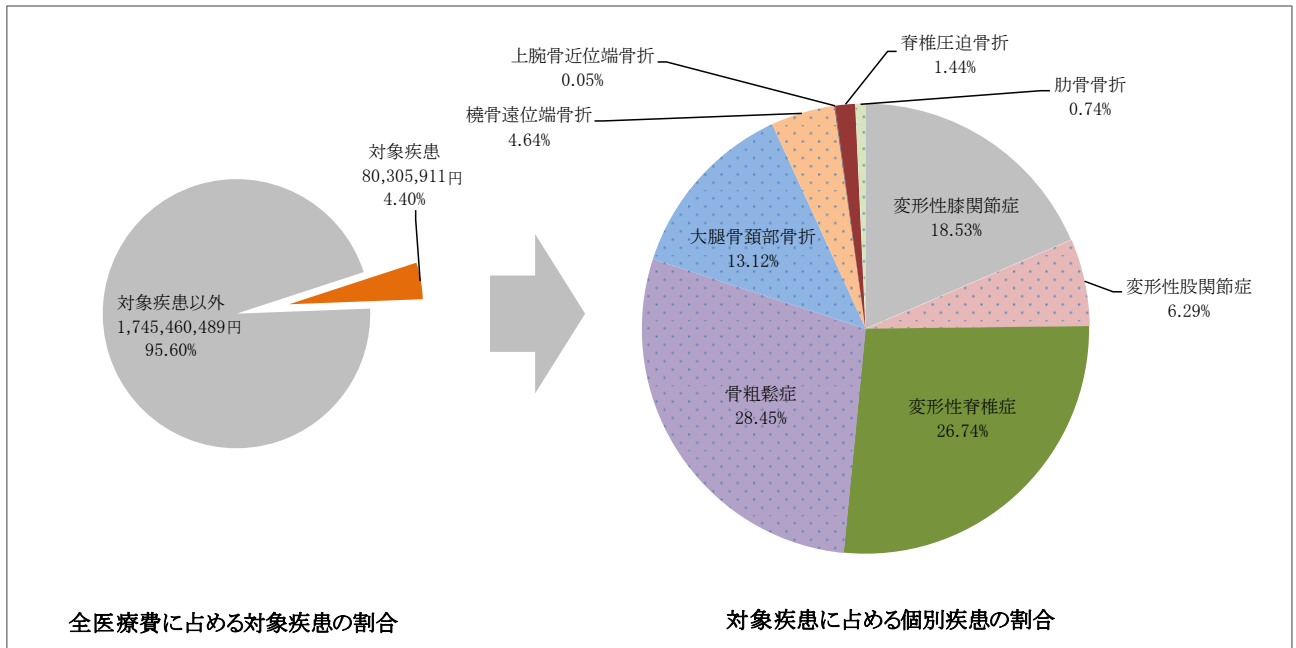
※ロコモティブシンドローム原因疾患は「ロコモティブシンドローム診療ガイド2010(日本整形外科学会 編)」に基づき、株式会社データホライズンにて以下関連疾病を選定。

※原因疾患…変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症(頰椎症、腰部脊柱管狭窄症)、骨粗鬆症、骨折(大腿部頸部(近位部)骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎(圧迫)骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折)、サルコペニア

※サルコペニア…筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約4.4%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



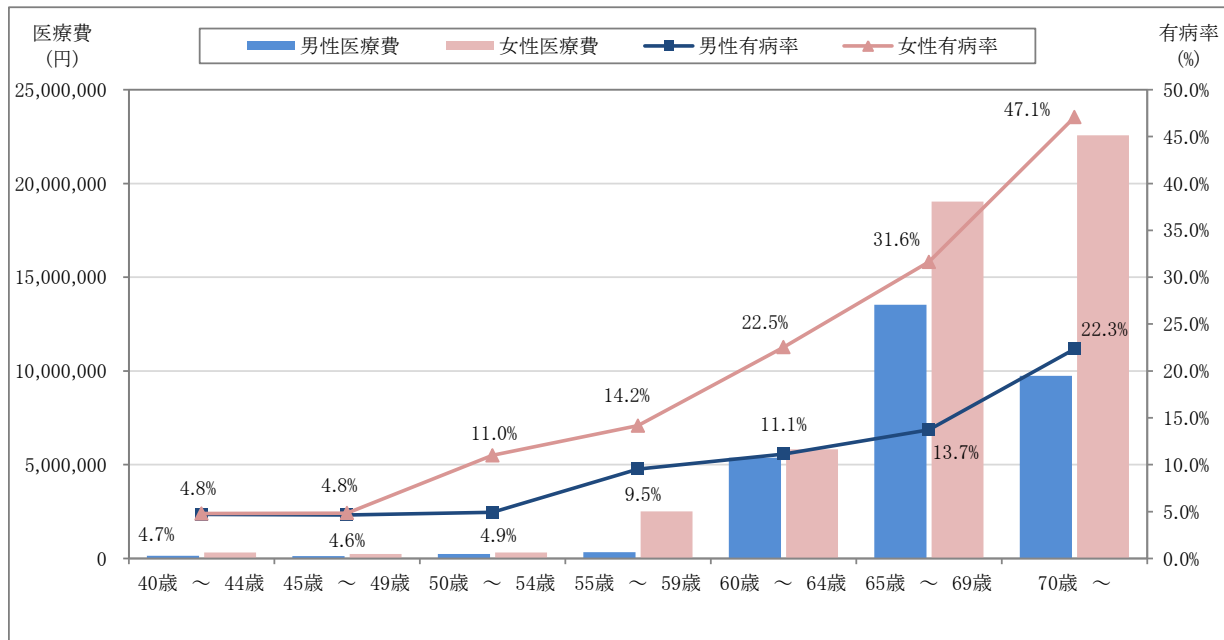
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大する傾向にある。

年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成29年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…各月、1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 適切な指導実施方法の確立

データ分析会社への業者委託を前提とした実施例を、ひとつの方法として説明する。指導実施方法のフローは以下の通りである。

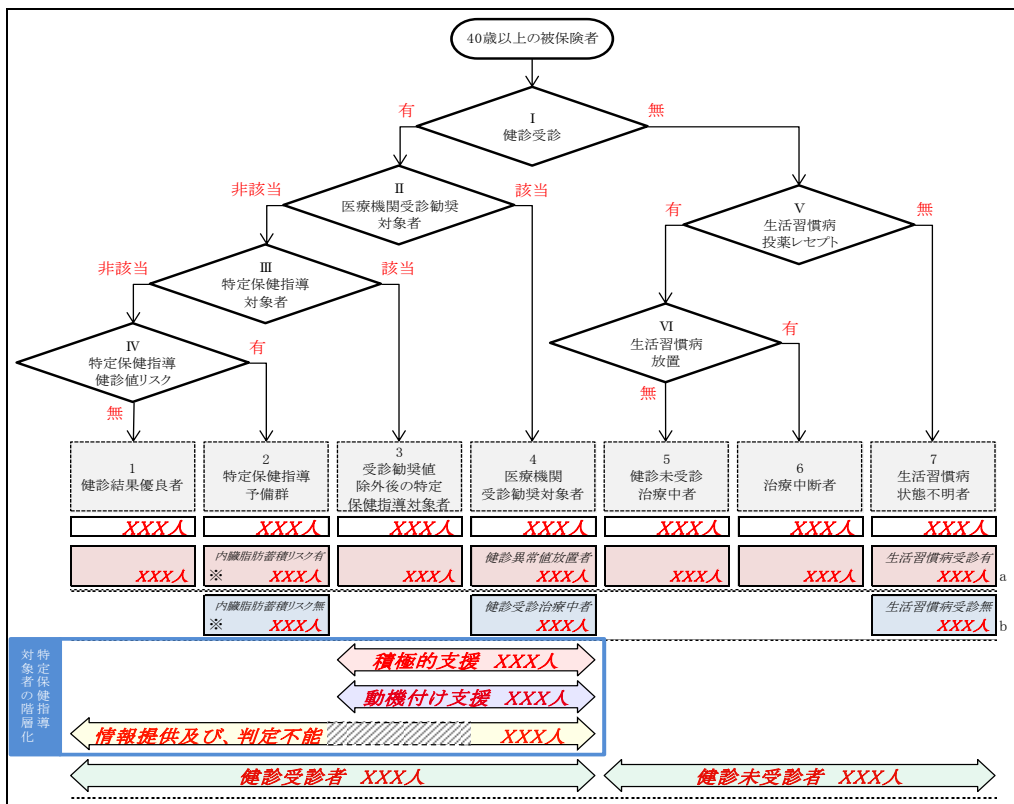
保険者はレセプトデータ等をデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は受領したデータからロコモティブシンドローム対策事業に適切な対象者を特定する。保険者はこれら対象者に対し、本事業の案内及び運動機能測定会への参加を促す通知を行い、測定会を実施する。測定会参加者は自宅にて3カ月間、ロコモティブシンドローム対策の簡易な運動を実施する。運動期間終了後、保険者は終了測定会を実施し、その結果を分析会社に提出する。データ分析会社はこれらのデータとレセプトデータ等を使用し分析を行い、分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

成果の確認方法については、測定会の参加者数より測定会参加率を算出する。また、自宅での運動実施者について、測定会における数値を基に運動機能改善率を算出する。さらに、レセプトを使用し、自宅での運動実施者と非実施者の翌年度における原因疾患医療費を確認する。

「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 …健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 …健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 …厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク …厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 …生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 …保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 …「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 …受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者
 - 健診異常値放置者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - 健診受診治療中者 …「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため病院受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 …生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 …過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 …生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 …「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。